

宵 振

37号

2018年12月



福岡歯科大学同窓会

《巻頭フォト》

『空から見た角島大橋』

いつも見ている角島大橋、高いところから見ると角島もはっきりと…
皆さんが通った時は大渋滞だったと思いますが、この日は車は1台もいません。

下関市 佐々木 猛 (1期)



撮影場所：下関市豊北町角島

撮影日時：2018年7月31日

撮影機器：DJI ファントム4

カメラはソニーのRX100（撮像素子は1インチCMOSセンサー）相当が搭載されていますがオートで撮影しています。

「表紙題字：故 松本洋一名誉学長 書」

目 次

巻 頭 言	ご挨拶	福岡歯科大学同窓会会長	宮 口 厳……	1
挨 拶	ご挨拶	福岡学園理事長	水 田 祥 代……	2
就 任 挨 拶	福岡学園常務理事就任のご挨拶	福岡学園常務理事	石 川 博 之……	3
〃	ご挨拶	福岡歯科大学長	高 橋 裕……	4
〃	内視鏡センター教授就任のご挨拶	内視鏡センター教授	池 田 哲 夫……	5
〃	教授就任のご挨拶	生化学分野教授	藤 田 亜 美……	6
〃	訪問歯科センターのご紹介とセンター長着任のご挨拶	訪問歯科センター長	森 田 浩 光……	7
〃	歯科衛生士長就任のご挨拶	歯科衛生士長	手 嶋 直 美……	8
退 職 の 挨 拶	ありがとうございました	感染生物学分野教授	長 環……	9
〃	福岡（歯科）学園でのバイオグラフィー	福岡医療短期大学教授	升 井 一 朗……	10
w a t c h	視線の位置	佐賀県歯科医師会会長	寺 尾 隆 治……	13
学 園 紹 介	口腔外科学分野の紹介	口腔外科学分野	泉 喜和子……	14
誌 上 講 座	乳歯の歯内療法について	成育小児歯科学分野	馬 場 篤 子……	15
私 の 臨 床	マイクロスコープの有効利用について	あおき歯科クリニック	青 木 隆 宜……	23
〃	MTA を用いた保存療法	はやま歯科医院	葉 山 揚 介……	32
学 会 報 告	第39回日本歯内療法学会学術大会報告	歯科保存学分野教授	阿 南 壽……	39
〃	第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の報告	成育小児歯科学分野教授	尾 崎 正 雄……	40
国 際 学 会 報 告	American Academy of Periodontology Annual Meeting 2018	冠橋義歯学分野	藤 本 啓 貴……	41
〃	初めての海外発表		井 上 庸 子……	43
同 窓 会 だ よ り	京・滋同窓会会長就任挨拶		野 村 信 人……	45
〃	福岡県東同窓会会長就任挨拶		杉 本 直 樹……	45
〃	平成30年7月豪雨による広島県の災害について		村 上 誠 一……	46
〃	大阪府北部地震体験記		竹 田 具 弘……	47
九地連・九州地区会議	福岡歯科大学同窓会福岡県地区会・九州地区会合同会議および懇親会		小 柳 進 祐……	48
学 園 通 信	福岡学園はいま		企 画 課……	50
学 生 だ よ り	「健康まるごと福岡学園」第44回田の歯科祭を終えて	学園祭実行委員長	白 山 大 希……	62
O B 会 だ よ り	ラグビーと楯円球	ラグビー部 OB 会長	岩 本 憲 明……	64
同 窓 生 トーク	熊本地震―震度7の恐怖―	小楠歯科医院	宇 治 保 義……	66
k o m a c h i	「女性歯科医師が本気で臨床を研鑽する場」	歯科・林美穂医院	柳 川 淳 子……	67
〃	「2つの母校」	歯科衛生学科	貴 島 聡 子……	68
親子で頑張る同窓生	「感謝」	中	四 良／雄平……	69
〃	「父娘共々お世話になり有難うございました」	平田一浩／しおり	……	70
昇格・称号者・学位取得者・他大学学位取得者紹介			……	71
本 部 会 務 報 告	平成29年度定時評議員会・総会・特別講演会・高橋裕大学長就任祝賀懇親会	持 山 達 郎……	……	77
〃	第65回全国歯科大学同窓・校友会懇話会報告	高 嶺 明 彦……	……	78
〃	平成29年度九州5大学歯学部同窓会連絡協議会	小 柳 進 祐……	……	79
〃	第34回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会	枡 浩 一……	……	79
〃	福岡歯科大学同窓会主催第35回臨床セミナー	津 江 文 武……	……	80
〃	福岡歯科大学同窓会主催第30回学術講演会2018年度臨床スキルアップセミナー	葛 西 秀 夫……	……	81
〃	自然災害見舞金のお礼	北 村 勝 文……	……	82
〃	同窓会の皆様へ御礼と災害後の現状報告	村 上 誠 一……	……	82
〃	同窓会の皆様への感謝とお礼	石 田 哲 也……	……	83
〃	会計からのお願い	馬 場 篤 子……	……	84
〃	ご逝去のお知らせ	……	……	84
福岡歯科大学同窓会役員名簿（本部役員、地区会会長、学内・府県同窓会会長・評議員）				85
会 務 報 告				90
会 計 報 告				93
福岡歯科大学同窓会会則・諸規則				96
編 集 後 記		後藤加寿子／劉 中憲……	……	111

ご 挨 拶



福岡歯科大学同窓会
会 長 宮 口 巖

福岡歯科大学同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本会の会務運営に対しまして多大のご協力を賜っていますことに深く感謝しお礼申し上げます。

本年まず皆様と共に祝したいことがございます。同窓生として初めて教授になられた咬合修復学講座有床義歯学分野の高橋裕先生が平成30年2月に福岡歯科大学長にご就任されたことです。この事は、我々同窓生にとって大変名誉なことで誇りであります。先生には現在本学が抱える諸問題に果敢に挑戦して頂けるものと信じております。同窓会としてもできる限りの協力を今後とも行っていくことが益々必要になると決意しているところです。

また皆さんご存知と思いますが、新病院建設工事が始まりました。新病院は昔のテニスコートあたりに建設されます。完成は2020年7月ごろの予定とされています。本年の総会において水田理事長よりその概要と完成予想図が示されました。現在の病院が開院以来40数年を数え医科歯科病院として発展してまいりましたが、来院された皆様にとって快適とは言いがたく、手狭となっている等さまざまな問題が解消され大変感動的でした。是非皆様と完成をお祝いしたいと期待しているところです。

本年6月18日大阪府北部地震、7月西日本を中心として豪雨災害と自然災害が相次ぎ本部同窓会とし

ては先の熊本地震の際と同様に会員の皆様に見舞金の募集を行いました。今回個人74名、各地区20件と温かいご支援がございました。本当にありがとうございます。心より感謝いたします。今後とも自然災害が頻発することが予想されますので災害に向けての対応策を今後に備えて再検討する必要があると思っていますところ。

まもなく学校法人福岡歯科学園・福岡歯科大学は創立50周年を迎えます。記念事業として「記念講堂」の建設が2022年完成に向けて計画されています。すでに皆様方には連絡があったと思いますが、卒業生皆様に記念事業に対するご寄付のお願いがされているところです。同窓会としましては節目となりますこの事業に対して、最大限の協力を行っていくことが福岡歯科大学卒業生の務めと考えています。今後同窓会からのお願いとしても連絡があると思いますのでよろしくお願い致します。

最後になりますが母校が50周年に向けて更なる飛躍を目指して努力していることに対しまして一人の卒業生として誇らしく思うとともに、皆様の福岡歯科大学同窓会に対する温かいご支援に感謝して、私のご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶



学校法人 福岡学園

理事長 水田 祥代

福岡歯科大学同窓会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

秋も深まり、学園祭も盛会に終わり、学生たちにとりましては勉強へのラストスパートの季節となりました。高橋学長の強いリーダーシップのもと、教職員が一丸となって学生たちが勉強に力を出せるように頑張っております。6年生も先日の模擬試験で昨年より良い結果が出ているとのことで、今年こそ紅白饅頭を配れるように期待しています。

研究も昨年から始めました「リサーチ・スチューデント制度」を続けており、希望者も増えております。教員の研究もそれぞれの専門学会での受賞報告が多くなり、嬉しいことです。今年からこのような研究者は開学記念日に表彰することにしていきます。また、今まで採用率が10%台であった科研費の採用率が平成30年度は20%を超えました。これは皆さんの努力は言うまでもありませんが、平田雅人客員教授のご指導に負うところが大きいと感謝しております。

診療に関しては、少しずつですが患者数も増えております。しかし、週の半分だけで、週末の木・金曜日はいつも減少しているのを懸念しています。

昨年開設しました訪問歯科センターや内視鏡センターは、おかげさまで順調です。また、今年は「小児口腔外傷センター」を院内処置として10月に開設しました。これは、スポーツ中や学校行事中に子どもたちが口腔外傷を負うことが多くなりましたので、小児歯科、口腔外科を中心に、保存科、小児科、放射線科、麻酔科などの関連各科が連携して小児口腔外傷治療に携わってほしいと願っております。今までも口腔外傷児の治療はこれら各科が連携しながら行っておりましたので、実際の治療としての変わりはありませんが、体制を整えるためにセンターとしました。

教職員や学生のための就業環境の改善と、地域社会への貢献のために開園しましたペンギン保育園は

入園者も増えて、かわいい園児たちが敬老の日の老健施設訪問や年末の学園のお餅つきなどに参加し、学園中のアイドルとなっております。

2020年秋にオープン予定の新病院への建て替えも各科・各部門のヒアリング調査に基づいた基礎設計も終わり、10月から電気、水道、ガスなどの基礎工事に取りかかりました。現在は病院正門前の整地のために、駐車場などの移動が始まっております。敷地内にございます多くの木などは植え替えが無理なものは伐採せざるを得ませんが、同窓生の方々からの卒業記念樹などは食堂の横の庭などに移し替えることになっております。うまく移植ができることを願っております。

先日は「むし歯地蔵」さまの遷仏法要を明法寺のご住職においでいただきまして執り行いました。このお地蔵さまは、皆様ご存知のように昭和46年に福岡歯科大学の認可を願って理事の大谷哲平先生の御発案から本学関係者の寄付により昭和47年2月に建てられたもので、その甲斐あって同年7月には文部省から認可され本学が開学したという経緯がございます。その後お地蔵さまは、私たちをずっと見守っていただいておりますが、この度の新病院建築に際して本館玄関の横に移っていただくことになりましたので、遷仏法要をいたしました。赤い前掛けも新調し、雨に濡れないように屋根もつけることにいたしました。また、どなたが何時持ってこれたのかは不明ですが、むし歯地蔵さまの横に小さいお地蔵さまがいらっしゃいます。何かのご縁と思いますので一緒に移っていただくことにいたしました。お名前は先日の同窓会でどなたかがおっしゃいました『口福（こうふく）地蔵さま』と呼ばせていただくこととしました。これからは「むし歯地蔵」さまと「口福地蔵」さまが福岡学園を末永くお守りいただけることを願っております。

病院が完成するまでには皆様にも色々とお迷惑をおかけいたしますが、良い病院ができることを願って何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

また、7月からお願いしております創立50周年に対しますご寄付も、9月末で約1,700万円いただいております。ご寄付いただく期間は4年間ございますのでまだまだ時間はございますが、引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

同窓生が誇れる、学生が学びたいと思う福岡歯科大学を目指して、教職員全員がATM（明るく、楽しく、前向き）で、頑張っております。

最後になりましたが、同窓会の皆様にはこれからも変わらぬご支援・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

福岡学園常務理事就任のご挨拶



学校法人 福岡学園
常務理事 石川 博之

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、大学長の在任中には、多大なご協力を賜りまして、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

私こと、平成30年2月1日付で福岡学園常務理事を拝命いたしました。現在、福岡医療短期大学学長を務められている北村憲司先生の後任となります。水田祥代理事長から、介護老人保健施設の活性化、および学園・歯科大学創立50周年記念事業について、職務分担として取り組むようご指示をいただきました。

介護老人保健施設サンシャインシティの活性化については、北村前常務理事からの引き継ぎとなります。ご存知のように、介護老人保健施設は、病状が安定してリハビリや看護・介護を必要とする高齢者の方々に、自宅に復帰するための医療的なケアと生活サービスの両方を提供しています。さらにサンシャインシティでは、福岡歯科大学、福岡医療短期大学、福岡看護大学の学生をはじめ、近隣大学学生の教育の場としても大きな役割を担っております。団塊の世代が後期高齢者となる2025年まであと7年。我が国の社会保障が岐路を迎え、医療・介護サービスの様々な改革が推進される中で、介護施設では良質な経営によって、良質なサービスを地域に展開することが、最も大切なこととなっています。サンシャインシティが職員にとって魅力的な職場となり、地域の方々により一層良質なサービスを提供できるように、職員の方々とともに様々な課題に取り組んでいきたいと考えております。また、学園・

歯科大学創立50周年記念事業につきましては、半世紀にわたる歴史と伝統を振り返り、それを次世代へつなぐ大きな意義をもつ事業であります。学園・歯科大学の歴史を鮮やかに彩る事業となるべく、水田理事長を委員長とする準備委員会がすでに活動しています。今夏から募金事業が開始となり、各種イベントや記念誌の編纂についても検討が始まりました。委員会のメンバーの一員として、まずは募金活動や広報活動において与えられた役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。

さて、これから2020年には新病院の竣工と診療開始、2022年には50周年記念式典・祝賀会の開催および記念講堂の落成が予定されております。水田祥代理事長の指導のもと、福岡学園・福岡歯科大学は、新たな半世紀に向けて着々と歩みを進めています。平成20年度から、故田中健藏前理事長が提唱し、本学が代表校となって全国8大学で進めてきました文部科学省戦略的大学連携支援事業「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」は、平成29年度で当初計画の最終年度を迎えました。この10年間にわたる事業では、「口腔の健康から全身の健康を守る」という理念のもと、全身を理解し、医科歯科連携・多職種連携能力を有する歯科医師を育成する教育体制の構築によって、歯科教育にパラダイムシフトをもたらしました。次の段階として、この口腔医学の地域社会への展開を目指して、平成29年度から「高齢者ヘルスプロモーションと地域包括ケアへの口腔医学の展開～要介護化阻止と誤嚥性肺炎ゼロを目指して～」と題した研究ブランディング事業を開始しております。学園・歯科大学が創立50周年を迎える2022年には、このキャンパスは口腔の健康から全身の健康を守る医療・保健・介護・福祉が高度に実践され、またそれらを担う医療人を育成・輩出する地として、我が国における健康長寿社会の実現に大きな役割を果たしていることと思います。最後になりましたが、同窓会の皆様のますますのご活躍を心よりお祈りいたしますとともに、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

ご挨拶



福岡歯科大学
学 長 高橋 裕

福岡歯科大学同窓生の皆様方には、いつもご協力をいただきましてまことにありがとうございます。

平成30年（2018年）2月1日付けで第11代福岡歯科大学長に就任をいたしました3期生の高橋です。福岡歯科大学は創立45周年が過ぎ、4,438人の卒業生を輩出している西日本唯一の私立歯科大学です。この福岡歯科大学の学長を務めさせていただくことは大変光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

私は昭和50年（1975年）に本学に入学し、卒業後は本学の助手、講師、助教授を経て、平成15年（2003年）から咬合修復学講座有床義歯学分野の教授として、主に有床義歯補綴学の教育、診療、研究に携わってきました。入学から現在までの43年間、私は福岡歯科大学を見てきました。この間いろいろなことがありました。良い時もあり、つらい時もありました。今日の私立歯科大学は少子化、歯科医師需給問題等で大変厳しい状況にあります。しかし、このような時代だからこそ、福岡歯科大学は社会から信頼される大学として将来に活路を見いだす必要があります。

本学には、素直で優しい学生が昔から多いように感じています。このような学生を「穏やかな学生」に育て、歯科医学の専門教育をして有能な歯科医師に育てたいと思っています。そして、多くの歯科医師を本学から送り出すことができれば、福岡歯科大学は学生にとって「夢が実現する大学」になります。また、教員は皆さん教育熱心で協力的です。いろいろな工夫をしながら教育し学生と接していま

す。学生を、医局員を、そして後輩を教え育てる、「人を育てる大学」にしたいと考えています。

学長に就任して半年が過ぎました。現在、本学の喫緊の課題である歯科医師国家試験の成績向上に向けて全学で取り組んでいます。見かけの合格率の順位に踊らされることなく、しっかりと地に足をつけて、一人でも多くの学生が歯科医師となれるように、歯科医師国家試験の合格者数の増加に努めたいと考えています。

福岡歯科大学医科歯科総合病院は建替え工事が始まり、2020年秋には新病院の開院を予定しています。また、来る2022年には福岡歯科大学は創立50周年を迎えます。「福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念講堂（仮称）」も2022年完成に向けて計画中です。大学はこれからも発展を続け、歯科医学を通じて社会に貢献できる大学であり続けるように努めます。

同窓生の皆様には、大学、学生そして教職員に対しまして、これからも今まで以上にご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



内視鏡センター教授就任のご挨拶



総合医学講座
内視鏡センター
教授 池田 哲夫

平成29年11月1日付けで福岡歯科大学全身管理、医歯学部門総合医学講座、内視鏡センターの教授を拝命しました池田哲夫（いけだてつお）と申します。

私の専門は消化器内視鏡と内視鏡外科治療で、九州大学病院では消化器、肝胆膵疾患の内視鏡外科治療そしてメタボリック手術を中心に診療を行っておりました。福岡歯科大学同窓会の皆様にあらためてご挨拶申し上げます。

私は福岡市の出身で七隈に住んでおりましたので、入学したのは原小学校です。また、高校入学して直ぐの頃には親戚が福岡歯科大学に勤務していたこともあって、歯の治療に通った経験があります。お名前は忘れてしまいましたが、ラグビー部で立派な体格の若い先生に右の下のお歯を治療して頂きました。被せた銀歯は40年たった今でも立派に残っております、ありがとうございました。

大学を卒業後に1985年九州大学消化器総合外科（第二外科）に入局。外科医としての修練と同時に研修医時代から消化器内視鏡のトレーニングを受ける機会に恵まれました。その後大学に戻り肝臓移植の研究グループに所属し、肝臓移植の研究で学位を取得しましたが、日本では臓器移植がスタートできない状況だった1992年、世界でも始まったばかりの内視鏡外科手術を目の当たりにして自分の進む道を決めました。それから26年の間、内視鏡治療と内視鏡外科手術に携わっております。このような経歴をかっていただき、この度（平成29年11月1日）福岡歯科大学内視鏡センター長（教授）に就任いたします。

した。

内視鏡は可能な限り体の正常な部分を傷つけずに行う検査です。内視鏡治療や内視鏡外科治療も同様に確実な治療成果と痛みや苦痛の軽減を追求した治療法です。このような検査と治療を多くの方に身近に感じていただき、本当の病気にならないうちに解決できるようにお手伝いいたします。“病気にさせないのも、我々医師の大切な仕事”との信念を持ち、予防医学に力を入れていく一方で、早期診断と食道・胃・大腸・胆道など消化器疾患の内視鏡治療、および食道がん、胃がんや大腸がん、胆石、ヘルニア、膵・肝腫瘍などの内視鏡外科手術を行います。

さて、研究面では福岡歯科大学に赴任する以前は九州大学の先端医工学教室の准教授を務めさせて頂いておりました。私の主な研究テーマは医工学つまりは医療機器の開発です。私の父は私と同じ外科医ですが、母方の家系はエンジニアで、子供の頃から物を作るのが大好きで、両方の血を受け継いだ研究が行える事を幸いと感じております。現在は近赤外光による生体イメージング装置、バイオマテリアルコラーゲンをを用いた生体接着機器、生体内無線電力伝送技術、形状記憶合金製屈曲鉗子などの開発をテーマとしております。また、我々の新たな臓器として、近年注目されている腸内細菌叢に大変興味を持ち研究を行うと共に、臨床面でも常に腸内細菌叢を意識した医療を心がけております。

現在の内視鏡センターのスタッフは工藤健介助教、木村光一助教と私の3名です。外科の篠原教授、別府講師、山下助教の三名と一体となって皆様の健康を守って参る所存であります、どうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



工藤健介



池田哲夫



木村光一

内視鏡センターのスタッフ一同

教授就任のご挨拶



機能生物化学講座

生化学分野

教授 藤田 亜美

平成30年10月1日付けで福岡歯科大学基礎医歯学部門機能生物化学講座生化学分野教授に着任いたしました。福岡歯科大学同窓会の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

私は北九州市の生まれで、高校までずっと八幡で過ごした後、九州大学理学部化学科に進学しました。学部4年生の時に生物化学講座に配属されてから修士課程と博士課程にかけて、「受容体は作動薬との間にどのような相互作用をすることで活性化されるか？」を解明するために、様々なペプチドを分子デザイン・化学合成しては受容体活性化能を解析していました。「トロンビン受容体とその内蔵リガンドSFLLRNPに関する構造活性相関研究」というテーマで学位を取得後、日本学術振興会特別研究員（PD）として今度は「作動薬と相互作用する受容体側の構造要因は何か？」について変異受容体を用いて探索しました。

平成13年9月に佐賀医科大学生理学講座（現 佐賀大学医学部生体構造機能学講座神経生理学分野）に助手として赴任し、助教、准教授として同じ研究室に約17年間おりました。

このときに取り組んだ研究テーマは、「皮膚から中枢へ伝達される痛み情報は生体内外の様々な生理活性物質によってどのように促進／抑制されるか？」の解明です。ラットの脊髄スライス標本にホールセル・パッチクランプ法を適用し、薬理的な解析を行いました。もう一つのテーマは、「神経線維における活動電位の伝導はどのような化学構造をもつ物質によって抑制されるか？」の解明です。殿様蛙の坐骨神経標本に細胞外記録法を適用し、薬理的に解析することで、どのような構造活性相関があるかを検討しました。

佐賀大学では教員として、学生の皆さんがよき医療人となるために必要な基礎医学の知識をしっかりと身につけられるよう、担当する教養科目や生理学関連科目の講義や実習などに工夫をこらしました。また、研究室には留学生を含む修士課程や博士課程の大学院生が在籍していましたので、研究に関する指導とともに日々の討論や学会発表等の機会を通じて論理的思考力やコミュニケーション能力を養うよう促しました。さらに留学生に対しては、充実した留学生活を送れるように日常生活を細やかにサポートし、よりよい国際交流の実現につながるよう心掛けました。

このたびご縁があり福岡歯科大学で化学教育に携わる機会をいただきました。これまでの基礎医学教育で培われた知識と経験を活かし、様々な物質や化学反応が「生体内でどのように作用しているのか」あるいは「日常生活や臨床でどのように利用されているのか」などについて、積極的に紹介していきたいと思います。化学は単なる暗記科目ではなく身の回りで見られる現象を理解するうえで有用であることを認識してもらえれば、化学に興味をもって自発的に学習する習慣が定着するのではないかと期待しています。さらに、化学に関する事柄を体系的に説明し、様々な工夫をこらして確実な理解を促すことで、歯科医師として必要な化学的知識や論理的思考力などを修得してもらえよう、日々の教育に真摯に取り組みたいと思います。

我が国は超高齢社会を迎えて多くの高齢者が慢性疼痛に苦しんでいます。痛みはQOL（生活の質）の低下や健康寿命の延長を鈍化させる要因となるため、より安全な鎮痛薬が必要です。そこで、様々な化学物質、とくに果物や野菜、嗜好品や香辛料などに含まれており日常的に食品として摂取する化学物質に注目し、これらがどのような構造要因を介して痛み情報伝達を促進／抑制するか？を解明することで、鎮痛薬としての可能性を探索する研究に取り組みたいです。これまでの電気生理学的・薬理的な手法だけではなく、周囲の先生方と共同研究をさせていただくことで多角的に研究を展開することができれば幸いです。

最後になりましたが、より良い教育や研究を行えるよう日々精進を重ね、微力ながら福岡歯科大学の更なる発展に力を尽くす所存です。ご指導ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

訪問歯科センターのご紹介と センター長着任のご挨拶



医科歯科総合病院
訪問歯科センター
センター長 森田 浩光

本学医科歯科総合病院訪問歯科は平成11年に活動を開始し、これまで主に総合・高齢者歯科及び障害者歯科により活動を行ってきました。しかしながら、平成29年10月にこれまでの単独診療科管理下での活動から病院全体の一つの組織として活動することになり、それに伴い本学の各専門診療科からメンバーを選出し、訪問歯科センターが開設されました。なお、当訪問歯科センターの開設に伴い、僭越ながら私がセンター長を拝命しましたので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、本院訪問歯科センターの活動内容をご紹介します。従来から行ってきました居宅や施設などのいわゆる慢性期・維持期における訪問歯科診療に加えて、平成26年度からは近隣の地域密着型急性期病院へ、さらに昨年10月からはがん診療連携拠点病院での周術期口腔機能管理を中心とした訪問歯科診療へと時代のニーズに合わせて事業を拡大して参りました。また、訪問歯科センターの主たる目的として、大学病院としての役割である歯科学生・研修歯科医及び歯科衛生士学生・専攻生の教育も含めて、急性期から回復期、慢性期・維持期、終末期に至る病期に合わせた歯科診療・口腔管理を専門診療科と連携して行うこととしております。本年4月からは、福岡市の僻地医療支援の一環として、済生会福岡総合病院の医師・看護師とともに月1回の小呂島への歯科医師派遣による診療を開始し、さらに、災害時歯科医療支援として、歯科医師会と連携して被災地での歯科医療支援を行うための歯科医師・歯科衛生士の派遣という任務も担っております。このよ

うに院外での歯科医療・口腔管理全般において、歯科医師会と連携しながら活動を行っております。

上述のがん診療連携拠点病院への周術期口腔機能管理を主とした訪問歯科診療については、福岡県・福岡市歯科医師会の協力のもと、かかりつけ歯科・がん診療連携歯科と協働し、入院前・入院後は開業歯科で、また入院中は当訪問歯科センターが口腔管理を行うという切れ目のない歯科医療の提供を目指して開始しました。なお、本事業はがん診療連携拠点病院、歯科医師会及び歯科大学が連携した全国に先駆けた取り組みでもあります。さらに、上述の病期に合わせた訪問歯科診療教育（実習・研修）も全国29大学の中で唯一の試みであり、来年度からは、本院歯科医師臨床研修プログラムの中に、回復期病院である福岡リハビリテーション病院や特定機能病院である九州大学病院での短期研修を追加し、さらなる地域医療連携についての理解を深める試みを行う予定です。

このように、訪問歯科センターは、あらゆる場所での歯科診療の実践はもちろんのこと、国策として2025年に完成を目指している地域包括ケアシステムの中で多職種と協働して活躍できる歯科医師・歯科衛生士の育成も目指しております。

同窓生の皆様におかれましては、訪問歯科センターの主旨をご理解いただき、ご指導・ご鞭撻を賜りますとともに、私どもに何かお役に立てることがございましたら、気兼ねなくご相談いただけますと幸甚に存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。



歯科衛生士長就任のご挨拶



医科歯科総合病院

歯科衛生士長 手嶋 直美

福岡歯科大学同窓会の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2018年4月1日付けで福岡歯科大学医科歯科総合病院歯科衛生士長を拝命いたしました。これまで、前歯科衛生士長が、昭和60年から33年間歯科衛生士長を務められ、病院運営・歯科衛生士の教育にご尽力くださり、大変感謝いたしております。歯科衛生士長の後任として早くも6ヶ月が経過いたしました。日々勉強をさせていただきながら病院長、副病院長にご指導いただき毎日の業務を遂行させていただいています。

1985年に福岡歯科大学附属歯科衛生専門学校（現福岡医療短期大学）に5期生として入学し、卒業後、福岡歯科大学附属病院（現福岡歯科大学医科歯科総合病院）に入職し、31年になります。入職後は、補綴科、矯正歯科、小児歯科、保存（むし歯）・歯周病科、口腔外科と配置され、保存（むし歯）・歯周病科、口腔外科で歯科衛生士リーダーに就くことになりました。保存（むし歯）・歯周病科で、歯周病について勉強させて頂いていた時期に、日本歯周病学会認定歯科衛生士制度が始まり、歯周病科の協力を得て認定を取得させていただきました。口腔外科では、腫瘍の患者に対し術後の感染予防を目的に術前・後に周術期口腔ケアを言語聴覚士や理学療法士と連携をとりながら行いました。腫瘍の患者は整形外科でリハビリを受けていることから、整形外科カンファレンスにも参加し、医科の患者に対して歯科が介入できるよう患者の意向に沿わせて歯科へ依頼をいたしました。口腔外科で多職種間との連携を図りながら業務を行うことの重要性を理解することができ、多職種との関わりが広がり貴重な経験や多くのことを学ばせていただきました。

本院が掲げる口腔医学の観点から、病棟には総合

歯科の歯科衛生士も関わっており、内科、外科、内視鏡センターのカンファレンスに参加し、医科の入院患者に対して歯科介入を出来るだけ多く勧められるように、歯科衛生士部で作成したパンフレットを利用して口腔疾患と全身の関わりについて説明を行っています。特に生活習慣病でもある歯周病は糖尿病など全身疾患と関わりがあるといわれていますので、糖尿病教育入院をされている患者へ説明を行い同意後に、歯周病科へ依頼をしています。また、2017年10月から訪問歯科センターが開設され、超急性期、急性期、慢性期、施設、居宅へ訪問しています。周術期の誤嚥性肺炎のリスクの軽減や口腔機能の維持・回復、摂食・嚥下機能の改善を目的とした口腔ケアを行い、施設やご家族、介護される方々へ指導も行っています。超急性期、急性期病院は短期間の入院のため、暫間的な歯科治療が主となることから、地域連携室の看護師やソーシャルワーカーと連携をとり、退院・転院後も継続した歯科治療や口腔ケアが受けられるように繋いでいます。

これから、超高齢社会へ向けて地域包括ケアシステムの構築が急がれています。高齢化に伴って孤食や人とのつながりが減少し、社会性の低下から口腔機能の低下、運動機能の衰えなどオーラルフレイルを招き、身体的フレイルそして生活に支障をきたす障害を持った状態へと移行していきます。歯科衛生士として患者の口腔、全身状態を把握し、口腔機能訓練を交えた保健指導を通して、咬める、飲み込める、活力が出る、意欲がわくなど前向きな生活が送れるような働きかけができ、さらなる専門性の確立が、社会や多職種から求められています。福岡歯科大学同窓会と福岡医療短期大学同窓会瑞樹会と一緒に臨床スキルアップセミナー第4回目に「歯科医師、歯科衛生士がともに輝けるように」をテーマに「口腔機能でイキイキ長寿を目指して」、「地域で果たす歯科衛生士の役割」、「院内コミュニケーションがうまくいく秘訣」の内容で開催されます。診療室の中から外へそして口腔から全身へ健康増進、活性化へ向けて歯科衛生士の活躍の場が広がってきています。2020年新病院の開院へ向けて、社会のニーズに合った歯科衛生士の育成に努めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、福岡歯科大学同窓会の発展と皆さまの今後の益々のご活躍を心より祈念して挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございました



機能生物化学講座
感染生物学分野
教授 長 環

昭和54年4月1日に、前年度に卒業された本学の1期生（全員男性で約40名ぐらい）と一緒に本学の助手になりました。外部からは私一人だけで、私は萩原義郷教授の口腔細菌学教室の助手として雇ってもらいました。1期生の中には福岡高校の同窓生である升井一朗さんも含まれていました。共に今年度で退職です。

長い長い時間を福岡歯科大学で過ごしました。その中で学生さんと私という切り口で総括すると、映画研究会と助言班および学位研究でしょう。

映画研究会は27期生の永井悠介さんが当時3年生の時に立ち上げた同好会です。立ち上げの理由は、永井さんが西日本シナリオライター賞を獲得するぐらい映画が好きという事と、大学が当時としては超高級な巨大スクリーンと音源を教室に設置した事です。永井さんは部員を集め、どのような活動をしたのかという計画書を持って、「先生、映画研究会の顧問になってください」と突然やってきました。私も映画はとても好きなので、快諾しました。永井さんを中心に自分たちでパロディー風の自作映像を撮り部活の飲み会などでよく披露していました。また、永井さんは学内で広く映画鑑賞会を行うために学務課と交渉し、映画内容のあらすじや日程のポスターを毎回作成し、学生のみならず職員の方々も見ていただきました。今年日本で話題になった邦画「カメラを止めるな」を観た時に、永井さん達がやっていたことを思い出して一人密かに懐かしんでいました。映画研究会には部員にちょっとした「良い意味での癖」がありました。それは芸術肌というか個性的な方が多く、物の見方や感じ方が私にとってとても新鮮であったということです。それで私もよく色々な悩みの相談を振ったりしていましたが、なかなか面白い見方や切り口の助言が戻ってきたりして、なるほどとよく感心したものです。当初から永

井さんと共に活動をした26期生の和田孝介さん、小笹成紀さん、白水仁大さん、27期生の白水一崇さん、29期生の加崎浩一郎さん、仲西宏介さん、國本俊雄さん、31期生の松本幸三さん、32期生の伊藤達郎さん、さらにはもっともっとたくさんの部員の皆さん、お名前の列挙は省略させていただきますが、楽しい時間を共有させていただき心から御礼申し上げます。

福岡歯科大学の助言班制度は学生さんにとって良い制度と思います。記憶に新しいところから紐解くと、今年度が6年生担当なので41期生、1年生の時から一緒に過ごしてきた40期生、34期生、28期生、さらには途中から助言担当になった23期生の秦野恵さんや35期生の福地浩文さんも私にいろいろな意味で勇気を与えてくれた学生さんでした。28期生では、熊本から福歯大に来られる折に教室に顔を出してくれる永井孝信さん、1年の時から助言班のまとめ役をずっとしてくれた崎田典男さんにくっついて助言班ではないけれどもよくコンパにきていた府川晃久さん、阪大の研修医、大学院に行くことを相談しにきた仲周平さん、さらには佐賀大学医学部で学位を取られた佐野直人さんも、日本細菌学会などで声をかけてきてくれました。西原哲世さんも福歯大で後輩の育成と臨床にと頑張っておられました。34期生には感染生物学で博士号を取られた橋本（内藤）麻利江さんがいます。嶺井（安松）香奈江さんは、インプラントの臨床経験を踏んだ後、現在感染生物学で博士過程を過ごしています。口腔外科の永瀧勝之さんや総合歯科の萩尾（井崎）佳那子さんも大学院に進みました。また西崎竜司さんや樋口拓哉さんは今もずっと福歯大の臨床を支えてくれています。今年の3月に卒業した40期生は、現在研修医として修行中です。今後が楽しみです。

私と一緒にカンジダや破骨細胞の研究をして博士号を取得された方に、3期生の小笠原榮希さん、5期生の松本晴仁さん、12期生の西田あずささん、13期生の萩原聖雄さん、15期生の久下隆さん、18期生の椿賢さん、加治木政彦さん、22期生の豊田（神代）美香さん、35期生の田崎園子さんがいます。皆さんと楽しく研究ができたことに心から感謝いたします。また学位とは関係なく自身の研究課題を持って研究室に出入りしていた7期生の村上誠一さんや12期生の福崎達夫さんも面白い存在でした。

最後になりましたが、私は学生さんから言葉には言い尽くせないほどの生きる勇気をいただけてきました。心から御礼申し上げますと共に皆様の益々のご発展を祈念致しております。

福岡（歯科）学園でのバイオグラフィー ～40年の教員生活を振り返って～



福岡医療短期大学
教授 升井 一郎（1期）

平成30年度末で定年を迎えます。母校を卒業し、昭和54年4月から口腔外科学第2講座助手として採用していただき、講師（昭和61年10月～）を経て、平成9年に新設された福岡医療短期大学教授に就任し今日に至ります。本学園では口腔外科医として、大学、短大の教員として通算40年間にわたり、多くの貴重な経験をさせていただきました。また、同窓会では創立当初から約30年もの長い間、副会長や理事の役職をいただき、微力ではございましたが多少の貢献をさせていただきました。学園の皆様や同窓の先生方には、公私にわたっていろいろとお世話になりましたことを深く感謝申し上げますとともに、心からお礼申し上げます。

さて、この40年を振り返りたいと思います。口腔外科に入局したのは、学生時代に講義で見た外科的矯正治療の術前後の側貌の変化が印象的で、私もこんな仕事ができればと秘かに想い、口腔外科学第2講座（初代教授：古本克磨先生）に入局させていただきました。当時の医局では、外科的矯正治療の手術は年に2～3例あるかないかで、術前後の矯正治療はなく、手術は下顎骨体部骨切り術が実施されていました。このままでは患者の増加は望めないと思い、外科的矯正治療では1歩も2歩もリードしていた東京歯科大学口腔外科学教室（高橋庄二郎教授）の門を叩き、当時（昭和60年）の鶴木 隆先生や齊藤 力先生から、Obwegeser 教授が開発した下顎枝矢状分割術や Le Fort I 型骨切術および自己血輸血を丁寧に教えていただきました。

医局に戻ると改革の第一歩として、下顎骨体部骨切り術から下顎枝矢状分割術に手術方針を変更し、矯正歯科の先生方の協力も得られるようになり、症例数は少し増えました。さらに外科矯正への想いは強くなり、顎矯正手術を日本のトップレベルに引き上げたいという希望を胸に、昭和63年9月、この分野では世界的に有名な Hugo Obwegeser 教授が開設し顎矯正手術のメッカと呼ばれていた、チューリッヒ大学医学部顎顔面外科（当時：H. F. Sailer 教授）に研修派遣していただき、上下顎同時移動術や補綴前外科手術およそ100症例を経験させていただきました。帰国（平成元年）してからは、日本では未だ発展途上であった外科的矯正治療とこの分野の臨床研究、とくに軟組織側貌の変化や審美的改善にファジィ推論を応用するなど、若手の医局員と勢力的に研究を進め、日本顎変形症学会では一目置かれる存在になっていたと自負しています。また、ヨーロッパや米国での国際学会のほか西日本地区の矯正歯科学会でも積極的に発表し、矯正歯科医対象の講演会などに出向いて紹介患者を増やす努力をしていました。当時一緒に仕事をした医局員は相当に多忙で充実した日々を送っていたと思いますが、よく頑張ってくださいました。感謝申し上げます。

その甲斐もあって紹介患者数は次第に増えていき、年に40～50例を数えるようになりました。当初は下顎単独の手術が多かったのですが、いつの間にか上下顎移動術が90%以上を占めるようになり、その割合は今も変わらないと思います。その間に、学園理事長は三宅芳郎先生から田中健藏先生に代わり、口腔外科の主任教授は古本克磨先生から2代目の本田武司先生に受け継がれました。また、講座改革により第Ⅰ講座と第Ⅱ講座が統合され、腫瘍学分野教授として大関 悟先生が着任されました。当時の医局では、宇治寿隆先生、下田恒久先生、住吉周平先生、高山義之先生、中山敬介先生らとともに外科的矯正治療の隆盛期を迎えます。私は平成12年に歯科衛生学科長に任命され、しばらくの間手術を後輩たちに任せることになりました。本田武司先生退

任後は顎顔面外科分野教授として池邊哲郎先生が着任され、現在は泉喜和子講師ら後輩へと外科的矯正治療の熱は受け継がれています。こうして、30年前に抱いた私の想いはおよそ叶ったと嬉しく思っております。

もう一つ口腔外科時代に忘れてならないのは、同期卒の林 升先生と、研究分野は異なりますが九州歯科大学口腔外科学講座（梶山教授）にそれぞれ論文を提出し、昭和61年に歯学博士の学位を授与いただいたことと、日本口腔外科学会の専門医試験と一緒に受験し、その後指導医の取得までできたことです。当時は医局の若い先生たちと毎日夜遅くまで、研究に臨床にと頑張っていたことを懐かしく思います。

平成9年4月福岡医療短大の開学と同時に、第一口腔外科の若江秀敏先生と共に初代教授として着任しました。当初は福岡大学長の青野一哉先生が短大学長を兼任され、短大副学長の森進一郎先生（前放射線科教授）が開学準備から創設期の短期大学運営に邁進されていて、歯科衛生士教育についても丁寧にご指導いただいたことをよく覚えております。歯学部複数の講座から歯科医師教員6人（若江秀敏先生、緒方稔泰先生、尾崎正雄先生、藤井東次郎先生、藤村哲之先生）と、歯科材料学の井上勇介先生、経済学の井田高之先生、物理学の知念正剛先生が着任し、前身の専門学校から歯科衛生士の東納先生、香月先生、堀部先生の3人が着任されました。当時は2年制教育で、西日本唯一の短大として新体制でカリキュラムに取り組んだ創設期が懐かしく思い出されます。

平成14年4月、福岡歯科大学を退任された栢 豪洋先生が短大学長に着任され、翌15年度からの3年制移行の準備としてカリキュラム改変や文科省への申請に奔走することになりました。この時期の3年制移行は指定規則改正より2年先行しており、全国でも早い移行でした。この頃から教員の入れ替わりがあり、金子憲章先生、松尾忠行先生、廣瀬武尚先生、力丸哲也先生、貴島聡子先生、後藤加寿子先生

らが、歯科衛生学科に着任しました。

平成12年度から約12年間にわたり歯科衛生学科長に任命され、その間に、文部科学省の特色ある大学教育支援プログラムに「学科間相互乗り入れ授業による口腔介護教育」（平成18～20年）、社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラムに「介護予防新時代における歯科衛生士の口腔機能向上支援をスキルアップする実践教育」（平成20～22年）が選定され、その推進責任者を任されました。この二つの事業は、短大に保健福祉学科（平成12年度、介護福祉士養成）が併設されていたことと、キャンパス内の介護施設サンシャインシティ、サンシャインプラザの存在が大きな要因で、この二つの事業により歯科衛生士の口腔ケア業務や口腔介護教育が本学に定着し、地域の歯科界ならびに全国の歯科衛生士教育にインパクトを与える存在になったと思います。また、当時は短大卒あるいは専門学校卒の歯科衛生士に「学士」の学位を授与する専攻科は存在しなかったのですが、田中理事長のご指導により、栢学長と独立行政法人“大学改革支援・学位授与機構”を数回訪問し、「口腔保健学士」の専攻分野の設置を交渉し、平成20年4月、日本初の歯科衛生士の認定専攻科を本学に開設できましたことは大変喜ばしく思います。現在では全国に5つの認定専攻科が誕生しています。さらに、短大内で学士論文の審査ができる“特例申請”制度の誕生と同時（平成27年度）に本学は昇格しました。「口腔保健学士」分野での特例申請ができるのは、日本歯科大学東京短期大学と本学の2校のみです。4年制大学への改組転換の構想は田中理事長の時から中期構想にあげられていましたが、その時期も次第に近づいていると思います。短大教員の皆さんの今後の奮闘に期待したいと思います。

社会活動としては、全国大学歯科衛生士教育協議会（歯科衛生士養成の大学・短期大学の協議会）の理事（平成12度～）および会長（19・20年度）を務めさせていただき、教育研究の活性化をはかりました。また、一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会

(全国の歯科衛生士養成校約160校の協議会)の理事(平成15年～)を委嘱され、歯科衛生学教育コアカリキュラムの作成や、当時福岡県歯科医師会学校担当理事の神田晋爾先生(現福岡市歯科医師会長)とともに九州地区会の立ち上げなどを行いました。

さらに、歯科衛生士の国家試験にも携わることができ、平成21～28年度は国家試験委員を委嘱され、最後は委員長として重責を感じる2年間でございました。22年度および28年度は歯科衛生士国家試験の出題基準検討委員も担当させていただきました。時代は高齢社会から超高齢社会へと移り変わり、口腔機能、摂食嚥下、在宅・介護施設や病棟での対応、地域包括ケアシステムや多職種連携、医療安全などが新たに追加され、国家試験問題にもその変化が色濃く現れています。どの分野も同様と思いますが、学生は学ぶ量が増える一方です。ですから教員も従前どおり教えることは不可能であることを認識して、記憶させるばかりではなく知識の統合や組み立てを学ばせる工夫が必要です。

田中前理事長から現在の水田祥代理事長へとかわり、福岡学園は新たな時代を迎えています。第23回日本歯科医学会総会は見事に成功裏に終わり、福岡看護大学の開学、同窓の高橋 裕学長の誕生や、新病院の建設も始まっています。短大では29年度に北村憲司先生(元福岡大学学長)が短大学長に就任され、カリキュラム改革等に取り組んでいます。特筆すべきは、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に「口腔機能向上でイキイキ長寿社会の実現 一話そう・食べよう・いつまでも」が選定され、5年間の研究費補助を受けていることです。研究ブランディング事業は、特色ある研究や独自色を大きく打ち出す私立大学を支援する取組みで、29年度は188校から60校が選定されました。本学では、口腔機能向上による栄養改善、運動機能および社会資源創出に関する研究を推進し、その成果を卒前・卒後教育における人材育成、地域住民主体のコミュニティ形成、学会活動などを通じて地域社会に還元し、口から支える健康長寿社会の実現を推進するこ

とを本学のブランドとしています。主な研究テーマは4つで、A. 口腔機能管理に関する研究、B. 栄養改善に関する研究、C. 運動機能の維持向上に関する研究、D. 地域住民主体の社会資源の創出(イキイキ長寿サポーター養成)に関する研究を多面的に展開し、地域社会や学会等に発信しブランド化していきます。私は30年度末で退職しますが、研究ブランディング事業の残り3年間で、何らかの形でお手伝いさせていただき、今後の発展を見届けたいと思います。

最後になりましたが、これまでご支援いただきました学園の先生方、病院職員および事務職員のみならず、また教育に携わった学生諸君に深謝申し上げます。長い間、ありがとうございました。



視線の位置



佐賀県歯科医師会
会長 寺尾 隆治（1期）

7年前に自分の不注意で頸椎を痛め（正中性頸髄症との診断）、身体が不自由になりました。受傷時には首から下が全く動かず、「寝たきりか車椅子生活の可能性が大きい。」との宣告を受け、目の前が真っ暗になりました。しかし、6ヶ月に及ぶ入院生活の中で手術が上手くいき、辛いリハビリにも耐える事ができ、現在は杖歩行ではありますが、一人で外出もできる様になるまで回復できました。これもオベを執刀していただいた主治医の先生、リハビリの担当者の方々のおかげであると感謝しています。勿論、現在もリハビリは継続しています。現在行っているリハビリは、週に1回のペースでスポーツジムに通い、スポーツトレーナーの指導のもと筋トレとストレッチを2時間、自宅では毎日1時間程度のトレーニングをしています。学生時代のラグビーの練習より真面目にやっている様な気がします。周囲の人からは幾度となく「身体しょうがい者の申請をすれば」とのアドバイスもいただきました。しかし、それをしてしまえば甘えが生まれ、リハビリが疎かになり、回復が思うところまで行き着かなくなると考え、今もって保留にしております。私の最終目標は、杖なし歩行ができる様になる事です。

さて、私は自分の身体が不自由になり、その状態・状態で視線の高さが変わるため、視線の位置で見え方や感じ方が、健常だった頃とは大きく違う事を、身をもって知りました。車椅子で移動している時には、対向して来る人の腰の位置に視線があります。対向者の持っているバックとか傘とかが自分に向かって来ている様に感じられ、「自分に当たるの

ではないか」と恐怖を感じた事が何度もありました。実際に対向者のショルダーバッグが私の肩に当たった事は何度かありました。健常だった頃には全く気にもしてなかった事が、「視線の位置によってこんなにも違うものなのか」と思いました。また、視力低下者のための点字ブロック。駅や空港、コンビニや歩道など至る所に設置されています。確かに視力にハンディキャップのある方々にとっては有効なアイテムだと思います。点字ブロックの整備された施設は「優しい施設だなあ」と思っていました。足にハンディキャップのある者にとっては、決して優しくはありません。車椅子だと、動かすのに力が倍以上に必要です。歩行だと、躓き易くとても歩きにくいです。常に足元を見ながら点字ブロックに躓かない様に、注意しながら歩かなくてはなりません。調子が悪く足が上がりにくい時には、点字ブロックの無い所を選んで遠回りするの必要があります。「一つの施設にこんなにも点字ブロックが必要なのかな」と、恨めしく感じることも時々あります。勿論、点字ブロックを否定するものではありません。この様に視線の位置により全く違った見え方や感じ方をすることは、多々あると思います。

この事は我々の日々の診療にもある事だと思います。患者さんの事を第一に考え、最良の治療方針を立て、治療を施す。自分はベストを尽くした。しかし、患者さんは満足していない。そんな事はありませんか。そんな時、「自分は歯科医師目線だけで診療していないか」と自問自答してみてください。専門家である歯科医師目線も大切ですが、上手いかわい時には往々にして、患者目線を忘れていた事が多いと思います。「治療をしてあげている」のではなく「治療をさせていただいている」の気持ちを大切に。

身体が不自由になって視線の位置の違いの重要性を再確認した、私です。

口腔外科学分野の紹介



口腔・顎顔面外科学講座
口腔外科学分野

講師 泉 喜和子（22期）

私が卒業して口腔外科に入局した2001年、口腔外科学第1講座と口腔外科学第2講座とが大講座制によって口腔・顎顔面外科学講座と統合され、口腔腫瘍学分野（大関悟教授）と口腔外科学分野（本田武司教授）と名称が変わり、私は口腔外科学分野寄りの大学院生としてスタートし、医局員として今年で14年目を迎えます。2003年に本田先生が福岡歯科大学学長に就任後、2005年秋に熊本大学医学部歯科口腔外科より池邊哲郎先生が教授に着任され、現在は、米津博文講師、永瀧勝之助教（34期）、森紘一郎助教（33期）、（口腔腫瘍学に1講師、3助教）さらに、城間可奈子（36期）、成富正和（38期）、合屋健（38期）、田中文恵（32期）、富沢美沙（39期）医員、専攻生の井上庸子先生（22期）が在籍しています。また、臨床教授として下田恒久先生（7期）、住吉周平先生（11期）、中村芳明先生（6期）より指導して頂いています。

毎朝8時15分に医局朝ミーティングを開き、8時30分より週に2日、放射線科、麻酔科、多職種（看護師、歯科衛生士、薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士）を交えた術前・術後カンファレンス、その他の3日は、医局員の資質向上を図り、文献抄読会や症例カンファレンスを行っています。さらに国家試験を意識したミニテストの時間を設け、登院学生（5、6年生）も毎朝参加しています。また、毎月の本学矯正歯科との合同顎変形症カンファレンスや



医局と外来スタッフの食事会



手術室の様子（骨切り女子チーム 手前：筆者）

2か月に一回の口腔外科、放射線科、病態構造学分野と三科合同CPC（臨床病理検討会）を行い、症例について討論会を行い診断力向上に努めています。

臨床では、マンパワー不足ながら、病棟と外来を兼任担当するスタイルで精力的に診療を行っています。口腔外科学分野として顎変形症は臨床の主軸となり、我々が上顎を骨切りする（上下顎移動術）症例数が多い施設であるという特徴は以前と変わっておりません。口腔外科と矯正歯科や同窓の矯正歯科開業医の先生との連携はチーム医療という言葉が使われる前から積み重ねられており、私が術者として未熟であった頃でも、しっかりサポートをして下さいました（感謝！）。また升井一郎福岡医療短期大学教授（1期）、福岡歯科大学口腔医療センター古賀千尋（10期）、中山敬介（20期）先生の協力もあり、同窓以外の矯正開業医の紹介数も着々と増えております。実際の外来では、分野を超えて抜歯、炎症、顎骨嚢胞・腫瘍、顎関節、唾液腺疾患、口腔粘膜疾患、ドライマウス、睡眠時無呼吸などあらゆる口腔外科疾患・口腔内科疾患に対応し、スポーツ歯科ではマウスガードの普及に努めています。

教育では、国家試験の受験資格を得るまでに卒業試験だけでなく、CBT、OSCE、SOCEと関門が増えており、4学年時の口腔外科学講義、5学年から6学年の登院実習において、より充実した内容を考え、試験における口腔外科関連の比重が多いため、教室員一丸となって問題作成に携わりながら学生の学力向上を目指しています。

研究では、臨床系、基礎系の観点から、顎矯正術の形態学的解析、薬物性顎骨壊死の病態生理学、顎骨再生の新素材とドラッグデリバリー法について、細胞分子生物学講座、再生医学研究センターなどの研究室と共同研究を行っています。また、臨床、教育、研究の充実を図るため九州大学、熊本大学、宮崎大学、九州医療センター 口腔腫瘍センター、九州中央病院などの他大学、施設との連携、交流を深めています。

乳歯の歯内療法について



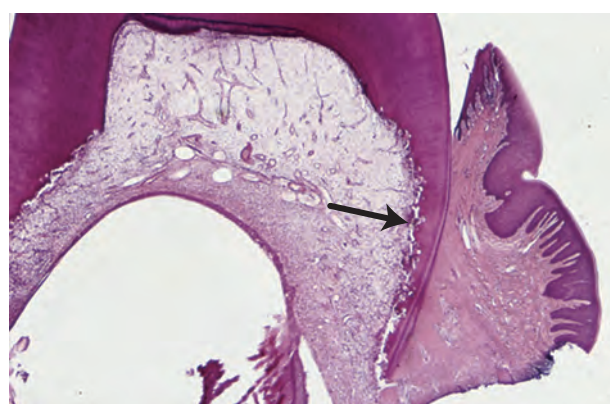
成長発達歯学講座
成育小児歯科学分野

講 師 馬場 篤子 (12期)

はじめに

平成元年から厚生省（当時）と日本歯科医師会が推進している「8020運動」は「一生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めて始まった。その出発点は乳歯から。そのせいか、保存困難な乳歯でも、保存したいという保護者の希望があり、その対応に苦慮することが多い。また、乳歯は成人の永久歯と形態的特徴が異なるため同じ治療を行うと失敗することもあり、若い先生方から治療方針についてしばしば相談を受ける。

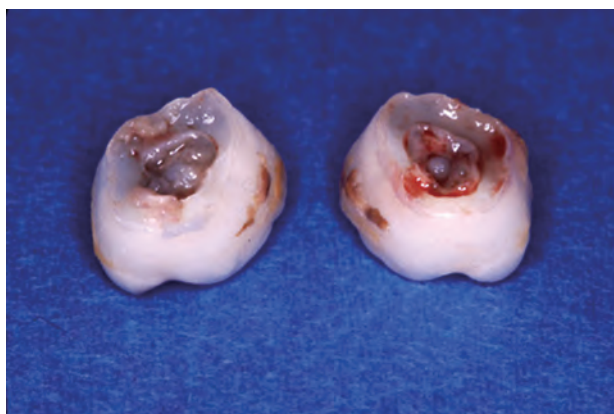
そこで今回は、乳歯の歯内療法について解説を行う。



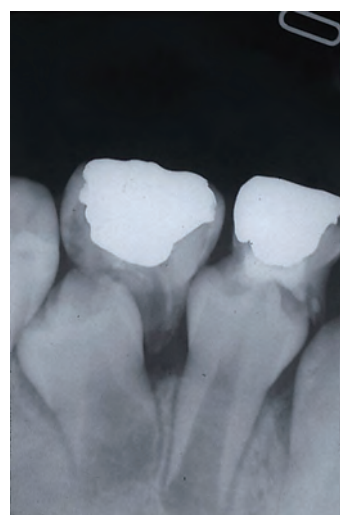
（図2：生理的歯根吸収のためには歯髄側からの象牙質吸収が必要（矢印））（イヌの乳歯）

乳歯歯内療法への対応

乳歯は生理的歯根吸収（図1、2）により脱落し、後継永久歯と交換するが、失活乳歯は晩期残存となる（図3）。開業医の先生方からは、「乳歯の歯内療法はむずかしい！」とよく言われる。これは、



（図1：生理的歯根吸収により脱落した乳歯）



（図3：失活した乳歯は晩期残存する）



(図4：矢印が病的な歯根吸収を表す)

(表1：乳歯の歯根成長時期)

歯種	歯根完成期	歯根吸収開始期	脱落期	歯根安定期(治療時期)
A	1年6か月	4年	6～7年	2～3年
B	1年6か月～2年	5年	7～8年	3～4年
C	3年3か月	7年	9～12年	4～6年
D	2年6か月	8年	9～11年	3～7年
E	3年	8年	10～12年	4～7年

重篤な根尖性歯周炎では炎症性歯根吸収などの病的歯根吸収が容易に生じ(図4)、更に、乳歯の歯根吸収が根分岐部の内側から始まることなどが乳歯の根管治療を困難なものとしている理由と思われる。また、乳歯歯内療法成功率は術前の歯根吸収の状態に関係すると言われるように、歯根安定期が乳歯根管治療の適応期となる(表1)。

そこで、以下の点を理解した上で治療方針を決定しなくてはならない。

《乳歯歯内療法に際して留意すべき乳歯の形態的特徴など》

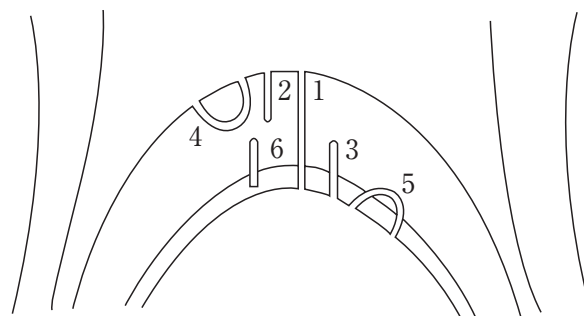
- 1) 歯質が菲薄で歯髓腔が大きく、髓角の位置が高い。
- 2) 根管形態が複雑で側枝や根端分岐が多い(図5)。
- 3) 乳歯髓床底は菲薄で、副根管が多数存在するため、歯髓の炎症が歯槽中隔部へ波及する(図6)。したがって、乳歯のエックス線写真にお



(図5-a：下顎第二乳臼歯の根管形態)



(図5-b：上顎第二乳臼歯の根管形態)



(図6：髓床底の副根管の形態別分類基準)

いて、歯槽中隔部に透過像がみられるのはそのためである(図7、8)。

- 4) 生理的歯根吸収があり、それに伴い歯髓は変性し固有機能が失われる。
- 5) 乳歯のセメント質は菲薄で、永久歯と異なり第二セメント質(有細胞セメント質)が少ない。



(図7：歯槽中隔部のエックス線透過像)



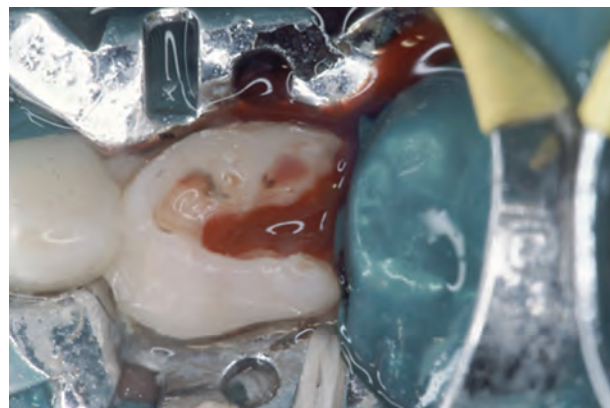
(図8：乳歯の歯髓の炎症は根尖部と歯槽中隔部へと進行する)

- 6) 乳歯はもともと生理的吸収能力があるので、病的吸収を生じやすい。
- 7) 乳歯歯根が生理的に順調に吸収されるためには、歯髓が生存していることが不可欠である。
- 8) う蝕から歯髓炎への移行が速く、病状の悪化も速い。
- 9) 疼痛をはじめ、臨床的な自・他覚症状が不明確である。
- 10) 乳歯の歯内療法は常にラバーダム防湿下で無菌的処置を行う。

《乳歯歯髓の臨床診断は困難である》

小児は自覚症状を明確に表現することができないため、保護者から問診する必要がある。また、乳歯において、歯髓炎の病理的診断と臨床的診断では、

一致率が低いといわれているように、永久歯では考えられない症状を呈する。したがって、乳歯の歯髓診断においては、エックス線診査は必須である(図9)。



(図9-a：露髄時に出血が認められる)

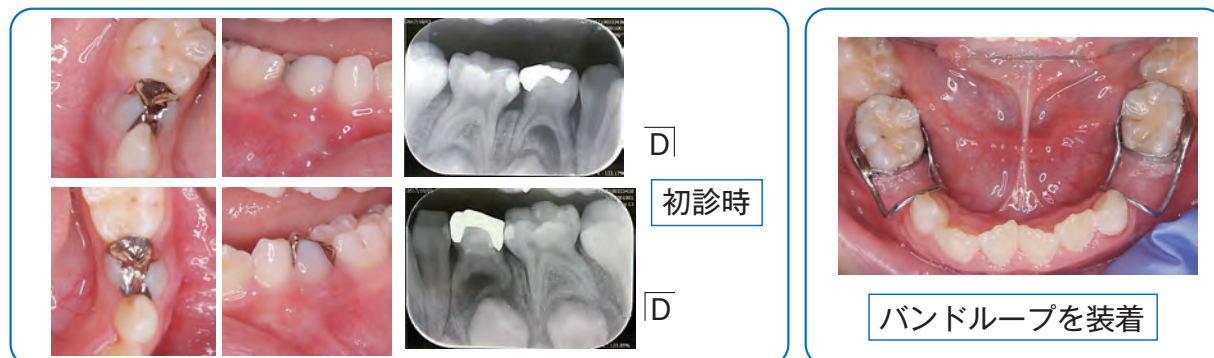


(図9-b：エックス線診査ですでに大きな透過像と遠心根の吸収が認められる(矢印))

《処置法の選択》

診察の結果、歯髓の炎症が可逆的で軽度かあるいは歯冠部に局限する場合、歯髓を保存する方法(歯髓鎮静法、間接・直接覆髓法、暫間の間接覆髓法、生活歯髓切断法)を選択する。一方、根管部歯髓にまで炎症が波及していれば歯髓除去療法(抜髓法)を選択するが、歯根吸収程度(1/3～1/2)により抜歯が選択される。歯髓壊疽や根尖性歯周炎では感染根管処置を選択するが、後継永久歯への影響が

1週間前から下顎両側第一乳臼歯部歯肉の疼痛を認めたが、自然に消退する。再度同部の咬合痛を認めたため当科を受診。同部は以前から数回腫脹と消退を繰り返していたという。患部は自発痛を認めないが、動揺度1～2、軽度打診、咬合痛を認め、エックス線写真から髓床底直下に透過像及び歯根外部吸収を認めるため抜歯を行った。その後、保隙装置（バンドループ）を装着し経過良好である。



【症例1：7歳1か月男児、D D C3慢性 per 歯肉膿瘍 症例】

考えられる場合や乳歯歯根の病的吸収が1/3以上あれば抜歯を選択する。また、根尖性歯周炎のエックス線透過像が歯槽中隔部から根尖部に及ぶような場合も抜歯の適応症と考える。その後は保隙装置の装着へと移行する（症例1）。

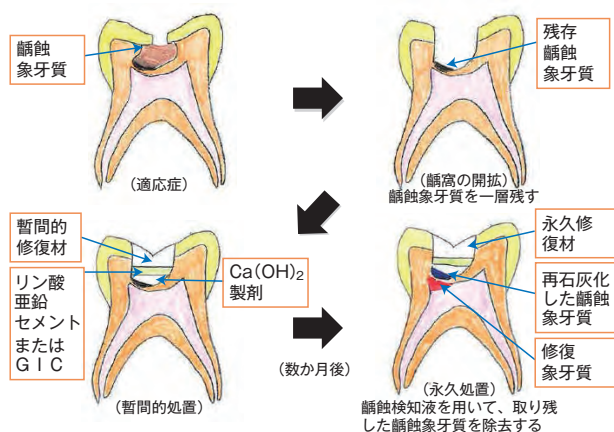
《暫間的間接覆髄法の注意点》

暫間的間接覆髄法は、深在性う蝕があり、しかも自覚症状もない場合、う蝕象牙質を完全に除去すると露髄の恐れがある場合において行われる（図10）。すなわち、う蝕部のう蝕象牙質をすべて除去せず、露髄しないよう鋭利なスプーンエキスカベーターで注意深く一層残存させる。ついで水酸化カルシウム

糊剤を貼付し、グラスアイオノマーセメントで裏層後、コンポジットレジンで修復する。それによりう蝕象牙質の再石灰化および修復象牙質（第三象牙質）の形成を期待する。その後、約6か月後に残存させたう蝕象牙質を完全に除去する。この時は修復象牙質が形成されているため露髄することがない。これにより露髄を避けることができる。ついで前回と同様の処置を行う（症例2）。

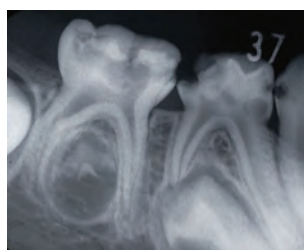
《生活歯髄切断法の注意点》

う蝕象牙質除去時または外傷による歯冠破折が原因で露髄した場合は、露髄面からの出血が数分で止血し、この時の歯髄は健康歯髄または可逆性の歯髄炎であることが条件である。歯髄切断は根管口よりやや大きめのラウンドバーを逆回転し歯髄を切断する。次亜塩素酸ナトリウムと過酸化水素水で交互洗浄し、切断面からの止血を確認し水酸化カルシウム製剤を歯髄切断面と髓床底を覆うように貼薬する（図11）。もし止血が不十分だと将来内部吸収の原因となる。従って止血が困難な場合は、切断面を低位に移行する。1か月後に症状確認を行う。良好例では3～4か月後にはデンティンブリッジが形成される（図12）。海外では乳歯の生活歯髄切断法におけるプロルート®MTA（デンツプライシロナ株式会社）の有効性が報告されている。

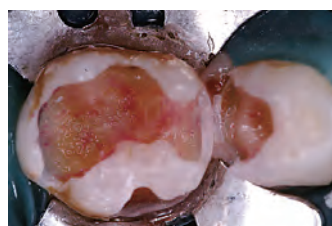


（図10：暫間的間接覆髄法）

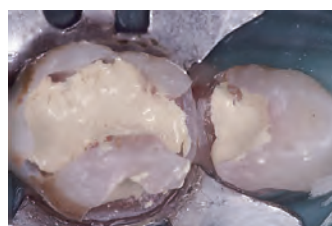
下顎左側乳臼歯のう蝕治療を主訴に来院した。自覚症状はないが、両歯ともに深在性う蝕があり、暫間的間接覆髄法の適応症と考えた。



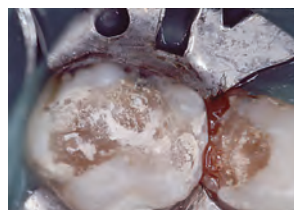
初診時の口腔内写真と
デンタルエックス線写真



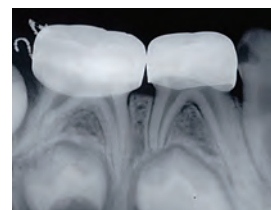
う蝕象牙質を
除去し、一層
のう蝕象牙質
を残す



水酸化カルシウム糊剤を貼付する

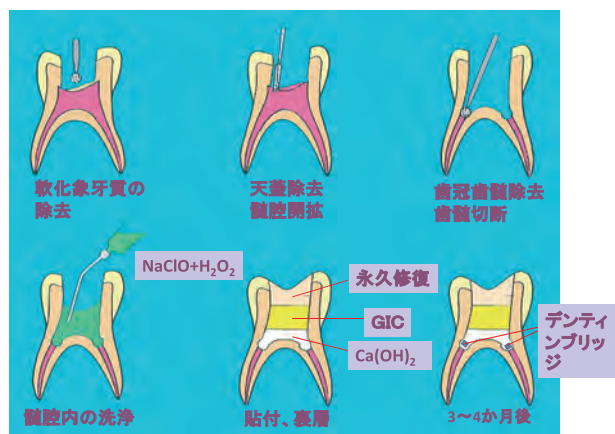


5か月後に
残存う蝕象牙質を除去する

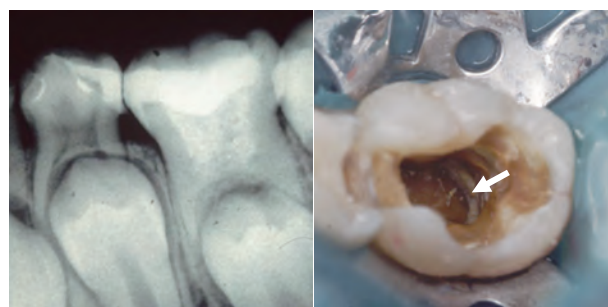


既製乳歯冠修復を行う

【症例2：4歳女児、ED C₂ 暫間的間接覆髄法 症例】



(図11：生活歯髄切断法)



(図12：E 水酸化カルシウム糊剤による生活歯髄切断法を施し、術後約4年後のエックス線写真(左)、右の写真では断髄部にデンティンブリッジの形成がみられる(矢印))

《抜髄あるいは感染根管治療の注意点》

不可逆性歯髄炎、歯髄壊死、歯髄壊疽、根尖性歯周炎を対象とし、歯根吸収も1/3以下とわずかで、髄床底や歯根の内部などに穿孔のないものが適応症である。また、エックス線写真で透過像が歯槽中隔

部から根尖部に連続している場合は、根管治療の適応症ではないと考える。

《処置法》

抜髄あるいは感染根管治療法では生体に為害性の少ない化学的・機械的治療を行い、歯髄や根尖の病

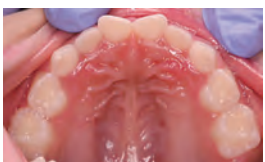
自宅ソファのひじ掛けに衝突した際、保護者は子供の歯がかけたと気が付かず放置。受傷から1週間後に下顎前歯歯肉の腫脹を主訴に近医を受診。治療困難なため当科へ紹介。破折片の持参なし。A歯肉縁下におよぶ露髄を伴う歯冠破折のため、感染根管処置後、歯冠修復を行い、後日根管充填を行いました。受傷3年3か月後、経過良好。



初診時



処置および術後のデンタル
エックス線写真



受傷3年3か月後

【症例3：1歳3か月男児、A歯冠破折（露髄あり）症例】

変を取り除き、根尖歯周組織の治癒と修復を促進する。可能な限り、常にラバーダム防湿下で無菌的処置を行い、すべての根管を清掃・形成・消毒・根管充填する（症例3）。亜ヒ酸、パラホルムアルデヒド（ペリオドン®：ネオ製薬工業株式会社）などの失活剤の使用は禁忌であり、現在は麻酔抜髄法が行われる（症例4）。抜髄時の根管長測定に使用される根管長測定器ルート ZX mini（モリタ）は、乳歯においては実用的でないとの報告がある。また、根管象牙質が菲薄なため過度のファイリングは行わない。なお、乳臼歯根の根尖1/3が湾曲しているため、根管の穿孔を起こしやすいので注意する。現在、乳歯の根管充填剤としては、歯根の吸収と共に吸収するような材料が理想的であるが、そのようなものは現在存在しない。本邦では、乳歯の根充剤としてはヨードホルムと水酸化カルシウムからなる吸収性の糊剤根充剤が最適な根充剤とされている。カルシペックス®Ⅱ（日本歯科薬品株式会社）やビタ

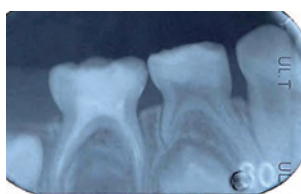
ペックス®（ネオ製薬工業株式会社）が使用されている。また、髄床底部を根充剤で確実に被覆する必要がある。以下に注意点を挙げる。

- 1) 後継永久歯が明らかな場合、根管を清掃・形成し、吸収性の材料で充填する。
- 2) 根管洗浄では、次亜塩素酸ナトリウムによる超音波使用の洗浄、続いて EDTA による超音波使用の洗浄後、次亜塩素酸ナトリウムと過酸化水素水によるシリンジ使用の交互洗浄を行う方法がスミヤー層を効果的に除去し、なおかつ水酸化物イオンの拡散を促進させる。
- 3) 根管貼薬は水酸化カルシウム製剤（カルシペックス®Ⅱ：日本歯科薬品株式会社、ビタペックス®・カルビタール®：ネオ製薬工業株式会社）を用いる。どの商品も効果はほぼ同じであるので、価格や操作性から選択するとよい。もし、歯槽中隔部に病巣がある場合、病巣部を鋭匙で搔爬するとよい。根管治療の間隔は最低でも1週間以

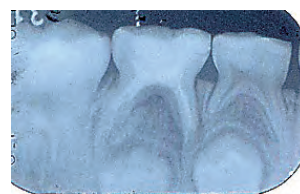
1週間前から下顎両側第二乳臼歯部の疼痛を認めたため当科を受診。ラバーダム防湿下、麻酔抜髄を行い、カルシペックス®Ⅱによる2回の根管治療後、ビタペックス®にて根管充填を行った。乳歯はその形態学的特徴から、髄床底部に多くの副根管を認める。そのため、乳臼歯部の根管充填の際は、十分に髄床底を覆うように行う。



術前X線写真

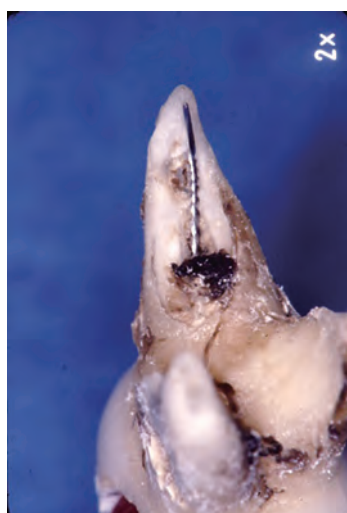


根充後X線写真



根充から1年2か月後

【症例4：4歳男児、E|C3急化 pul 麻酔抜髄処置 症例】



(図13：リーマー穿孔)

上は開け2～4回、もし5回以上行っても改善がない時は抜歯と判断すべきである。むやみに長期間の根管治療は「改善される」より「悪化している」と考えるべきである。また、仮封は薬剤の漏洩が無いように緊密に行う。歯根分岐部の内側から吸収が始まり穿孔の可能性があるため機械的清掃時には突き過ぎに注意する(図13)。また、出血がいつまでも続いたり、歯肉膿瘍の形成が繰り返される乳歯は、歯根の内側や髄床底部の穿孔を認めることが多く(図14)抜歯の適応である。

4) 根尖病巣がある場合の根管充填では、可及的にオーバー根充にしない。溢出した根充剤は容易に吸収されるものの、オーバーフィリングした症例



(図14：綿栓穿孔)

で歯肉に根充材の粒子が残留し、一時的に歯肉が一部着色した症例や後継永久歯はもとより、周囲歯槽骨まで拡散した症例も経験した。いずれも時間の経過とともに自然消失していくが、審美的に支障を来すため前歯部では根充剤の溢出には慎重に行う。またエナメル質形成不全歯の原因となりうるので過度のオーバーフィリングには注意を要する(図15)。

5) 乳歯の根尖病変は容易に拡大し、後継永久歯歯胚にまで及び、永久歯の位置異常を生じることがある(図16)。したがって、乳歯の根管治療症例では、後継永久歯萌出まで定期的に観察を行うことが重要である。

6) 後継永久歯が存在しない場合、すなわち永久歯の先欠がある症例では、乳歯の根管は生体為害性の少ない非吸収性の根管充填材で充填する。十分



(図15-a：根尖孔外に根充剤が溢出している)



(図16：炎症性濾胞性歯嚢胞)



(図15-b：溢出部のエナメル質に形成不全がみられる)

な封鎖を得るために根管充填材とともにシーラーを用いる。

まとめ

乳歯の生理的歯根吸収のためには歯髄が必要である。可及的に歯髄を保存できる暫間的間接覆髄法や生活歯髄切断法を行って、乳歯から永久歯への交換がスムーズに行えるよう努める必要がある。また、乳歯は食物の咀嚼、顎の発育、発音や永久歯へ交換のためのスペース確保という重要な役目を持っている。その乳歯がどうせ生え代わるからと、安易に抜歯されることがないように受傷した乳歯の保存に努め、感染根管に至った乳歯でも適応症を誤ることなく処置したい。しかし、抜髄や感染根管治療を行った乳歯では、歯根の吸収不全のために晩期残存となり、永久歯歯列不正の原因となる。このことから、

適切な時期に抜歯ができるよう定期的な予後観察が必須である。すなわち、歯内治療を施した乳歯では、後継永久歯が萌出するまでが治療期間であると考えべきである。

謝辞

稿を終えるにあたり、ご指導ご鞭撻を賜りました福岡歯科大学名誉教授本川 渉先生ならびに、福岡歯科大学歯科保存学分野教授阿南 壽先生にこの場をお借りして深く感謝の意を表します。

《参考文献》

- 1) McDonald RE, Avery DR : Dentistry for the child and adolescent. 3rd ed. St. Louis, The CV Mosby Co. 1978.
- 2) Coll JA, Sadrian R : Predicting pulpectomy success and its relationship to exfoliation and succedaneous dentition. *Pediatr Dent*, 18 : 57-63, 1996.
- 3) Angwaravong O, Panitvisai P : Accuracy of an electronic apex locator in primary teeth with root resorption. *Int Endod J*, 42 : 115-121, 2009.
- 4) 久芳陽一ほか：乳歯根尖性歯周炎により炎症性濾胞性歯嚢胞が発生した2症例. *小児歯誌*, 29 : 619-625, 1991.
- 5) 朝田芳信ほか：小児の口腔科学第4版. 学健書院, 東京, 2017.
- 6) 吉田晃哲ほか：乳臼歯髄床底における副根管について. *歯科学報*, 75 : 580-585, 1975.
- 7) 日本歯内療法学会歯内療法ガイドライン2009. <http://www.jea.gr.jp/guide/image/guideline.pdf> (2018. 08. 30. アクセス).
- 8) 八若保孝：乳歯根管治療の現状と可能性. *小児歯誌* 47 : 710-718, 2009.

マイクロスコープの有効利用について



あおき歯科クリニック（福岡市）

青木 隆宜（26期）

当院では2015年にマイクロスコープを導入しました。当時の私は自分の根管治療に行き詰まりを感じており、歯や根管をしっかりと見てもっと精度の高い治療をしたいという気持ちが大きく、それがマイクロスコープ導入の大きな動機でした。決して安価なものではないので導入するのか、どの機種にするのかとかなり悩みましたが、現在では根管治療にとどまらず様々なことに応用でき、欠かすことができない機器だと日々感じています。今回はそんなマイクロスコープの有効利用について、私の臨床や当院の取り組みを交えながら紹介したいと思います。

歯科医院でのマイクロスコープ導入台数はこの10年間で2倍以上に増え、7,000台を超えたといわれています。現在歯科診療所数は約68,000医院なので、マイクロスコープの普及率は約10%と考えられます（図1）。もちろん一医院で複数台所有している医院もあるでしょうから、この数値は単純な概算

ですが、一般歯科医院にマイクロスコープが存在することは決して珍しいことではなくなっているのかもしれません。

マイクロスコープの3大利点として、“拡大”“照明”“録画”という要素が挙げられます。その中の“拡大”“照明”によって、見えにくかったものがよく見えるだけでなく、「見えなかったものが見える！」ようになったことで、自分の臨床が大きく変わったと考えています。今日では根管治療以外にも、CR、補綴修復治療、歯根端切除術、歯周形成外科、インプラント治療における骨増生など、マイクロスコープを自分の臨床の様々な場面で応用しており、最小の侵襲で精度の高い治療を行うためには欠かすことのできないツールになっています。

◆根管治療～槌状根～

63歳の女性で、下顎左側部の自発痛を主訴に来院されました（図2）。ここでは、7の治療について話を進めていきます。

7は槌状根で、髓床底部ではFanの分類でいうType II、根中央から根尖部にかけてはType I。CT画像の水平断面から、歯髓腔中央部分に根管充填されていないことがわかります（図3）。

根管口は小さい円形の近心根管と大きい楕円形の遠心根管からなるセミコロン型で、根尖に向かっていくにつれて形態がCの字の形につながっていました。このままではアンダーカットにあるガッタパーチャなどの起炎因子が除去できないと考え、

	～2011	2012～2014	2015～2017	Total
Carl Zeiss	1400	505	525	2430
GLOBAL	310	140	130	580
Moeller	310	159	68	537
Leica	310	430	450	1190
PENTRON	190	290	320	800
MANI	434	100	50	584
YOSHIDA	125	0	0	125
GP-1	62	0	0	62
PRIMA	0	246	490	736
Kaps	※	※	20	20
Total	3141	1870	2053	7064

図1：現在、歯科医院のマイクロスコープ導入台数は2011年の2倍以上。



図2：「47」に根尖病変が認められる。「7」は近心傾斜のためか歯根膜腔の拡大もみられる。近心根と遠心根は癒合し、その中央に分岐溝（縦溝）のような透過像がみられるため槌状根を疑う。

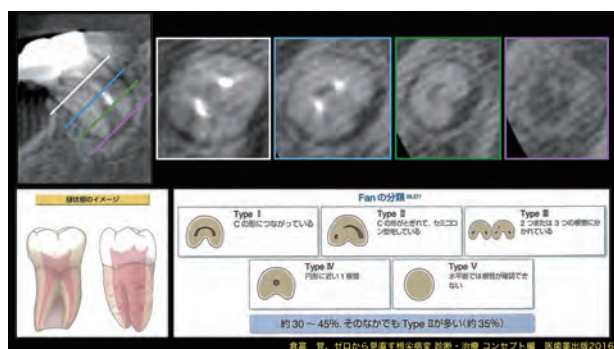


図3：CT画像。髄床底部ではFanの分類TypeII、根中央から根尖部にかけてはTypeI。槌状根は髄床底部から根尖に至るまで歯髓腔の形態は変化に富む。

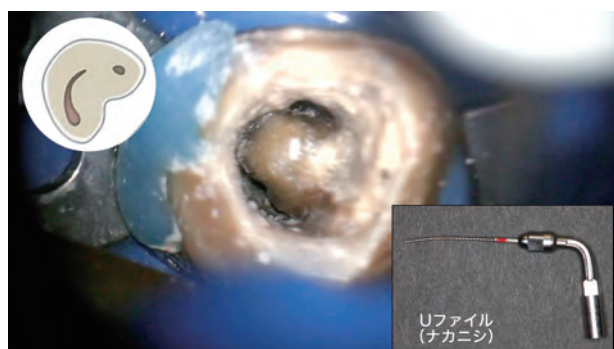


図4：ガッタパーチャが根管口下アンダーカットのイスムスに入り込み、完全に除去できないため、超音波チップを用いて近心根管口と遠心根管口間の歯質を削合。

マイクロスコープ下で超音波チップを用いて近心根管口と遠心根管口間の歯質を削合しました（図4）。歯質を削合すると構造的に破折の危険性が増すの

で、削合すべきなのか、どこまで削合するべきかと悩むことが多くありますが、今回は感染源の除去を優先して削合することにしました。マイクロスコープを導入する前は、#10や#15などの細いファイルを用いて糸ノコを引くように地道に拡大していましたが、今は明るい拡大視野下で確認しながら前述の器具や超音波器具で拡大形成を行えるため、根管治療のストレスfulな作業が軽減したと感じています。

根管口を一つにすると、近心と遠心の根管を結ぶイスムスに入り込んでいるガッタパーチャをはっきりと確認することができました（図5）。それをマイクロエキスカやGPリムーバースピアーを用いて丁寧に除去していきます。

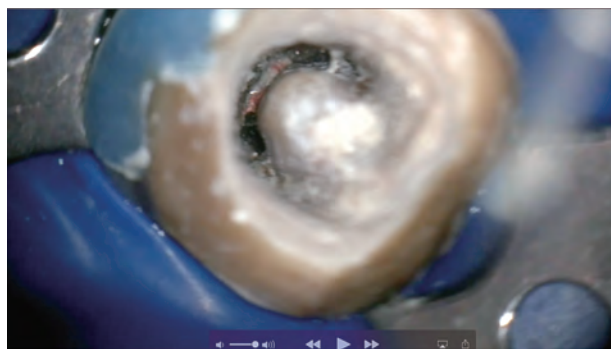


図5：歯質削合後。イスムスに入り込んでいるガッタパーチャを明示。

続いて、マイクロスコープで根尖付近の舌側方向への彎曲によるアンダーカットの存在を確認しましたので、この部分はマイクロエキスカで掻き上げるように感染源の除去を行いました（図6）。根管壁の凹凸によってアンダーカットの存在を発見することはできませんが、マイクロスコープの視野は直線的なので、彎曲の先であるアンダーカット部を直接見ることにはできません。実際には、その部分に器具の先端を到達させるように確認しながらの作業になりますが、湾曲の始まる位置や方向、程度など、肉眼で見るとははるかに多くの情報を得て治療に活かすことができます。

また、マイクロスコープで見ることによって、マイクロエキスカで触りながら全周の根管壁歯質の硬さや切削片の色を確認できるので、今までよりも自



図6：根尖付近の彎曲。マイクロスコープ下でマイクロエキスカの先端がアンダーカット部に到達していること（矢印）を確認しながら感染源の除去を行っていった。掻き上げた歯質片の質感や色を視覚的にも捉えることができることは大きな利点だと感じた。

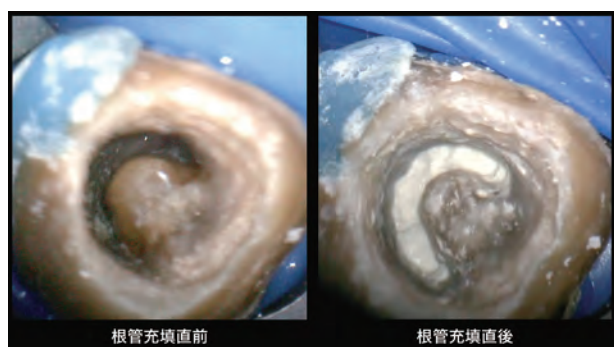


図7：根尖孔が破壊されていたため、MTA セメントにて根管充填を行った。

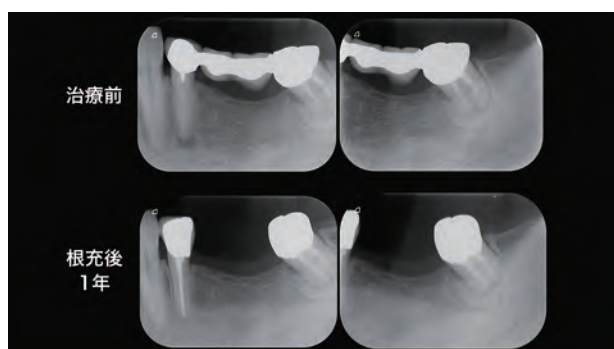


図8：治療前と根管充填後1年。近心傾斜改善のための部分矯正は患者が希望しなかったため、歯根膜腔の変化を含め注意深く経過を追っていく必要がある。

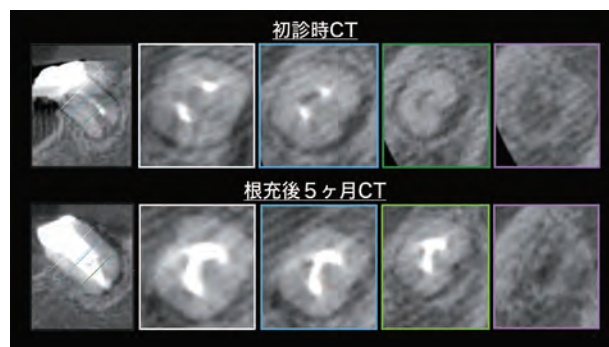


図9：CT 画像。



図10

信を持って根管充填のタイミングを決めることができます（図7～9）。

◆根管治療～ファイル除去～

下顎左側臼歯部の痛みを主訴に来院された38歳女性の患者さんです（図10）。デンタル X 線上で深い歯肉縁下カリエスを認めます。口腔内写真より「7」の近遠心幅径が小さいことから、以前の治療において不適な補綴装置が装着されていたことが推察されます。「7」は遠心部の歯肉縁下カリエスに加え、遠心根根尖の透過像、遠心根の破折器具の存在、遠心根根尖のトランスポーターなど複数の問題が存在しており、保存するのか抜歯するののかかなり悩みましたが、患者さんの保存への強い希望とマイクロスコープを利用して破折器具が除去できると判断したので保存を試みることにしました。

縁下カリエスをマイクロスコープ下で完全に除去し、隔壁を築盛、根管治療をはじめました（図11）。根管上部の破折器具は比較的容易に除去できました（図12）が、根尖側に治療を進めると更にもう一つ

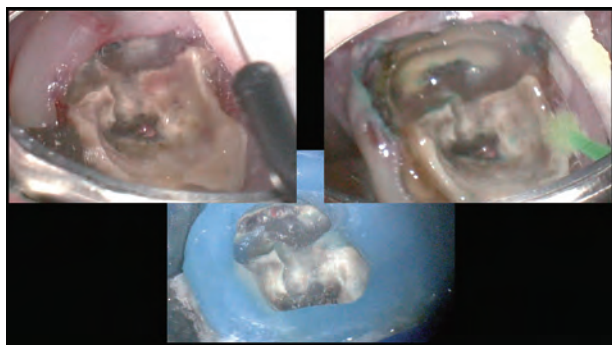


図11：電気メスで歯肉を切除しながら縁下カリエスを完全に除去。マイクロミラーを用いて遠心の縁下歯質をしっかりと確認することができる。

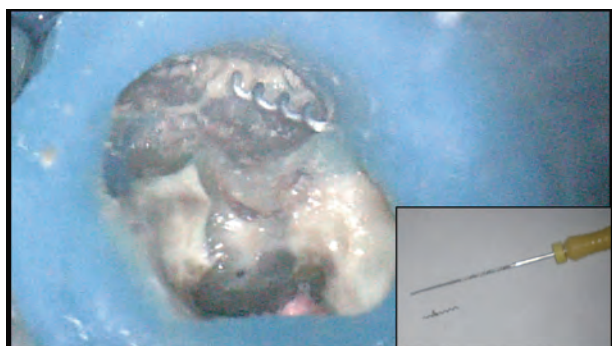


図12：1本目の破折器具除去。

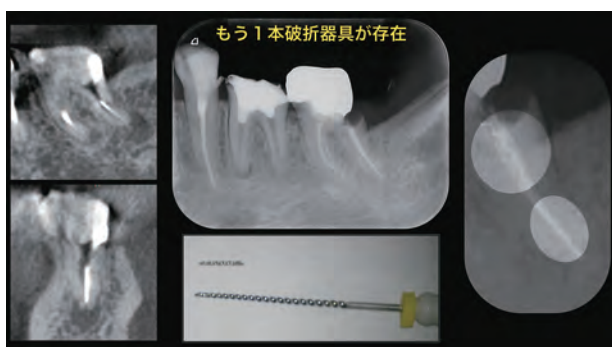


図13：さらに根管深部に存在していた破折器具も除去。

の破折器具が確認できました（図13）。根管の深い部分で破折したファイルでしたが、明瞭に根管内での位置を確認でき、1回の治療で除去することができました。

破折器具の除去に伴いパーフォレーションや器具の再破折、器具をさらに深部に押しこんでしまうなどの不都合が生じる可能性も勿論あります。除去すべきかどうかには様々な見解がありますが、破折器

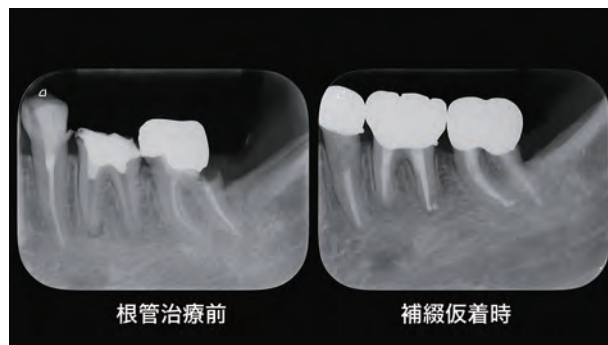


図14：MTA セメントが根尖孔外に溢出してしまったが、透過像は縮小傾向にあり、適合の良い補綴装置を作製することができた。

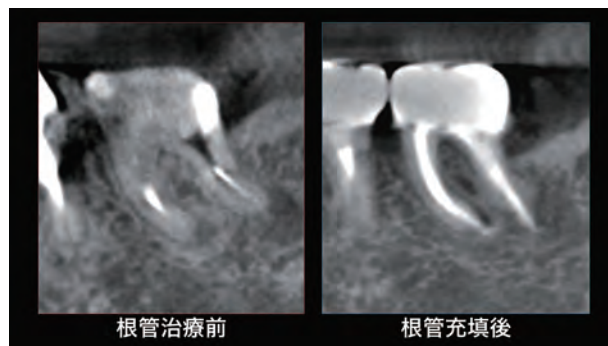


図15：CT 画像。根尖部の透過像も縮小傾向にある。

具の存在によって感染源が取り除けないと判断したのであれば、やはり除去しなければなりません。リスクと効果を十分考慮の上、治療を行うべきかどうか判断する必要がありますが、マイクロスコープの使用によりこれまで困難だった破折器具の除去に対して逃げ腰でなくなったことは自分の臨床の中で大きな前進だと思います。

◆歯周形成外科

非常に繊細な歯肉への手技を要求されるこの分野でも、マイクロスコープを使用することによって治療効果の上昇が期待されています。細かい部位にアプローチするためには、拡大視野での使用に適した専用のマイクロインスツルメントや従来よりも細い縫合糸を用いることが必要となります（図16、17）。そのような繊細な道具を操りながら拡大視野下で緻密な手技を行うことによる治療結果は、肉眼の場合よりも良好な結果が出ていると研究でも立証されて



図16・17：当院で使用している歯周外科のマイクロインストルメント。

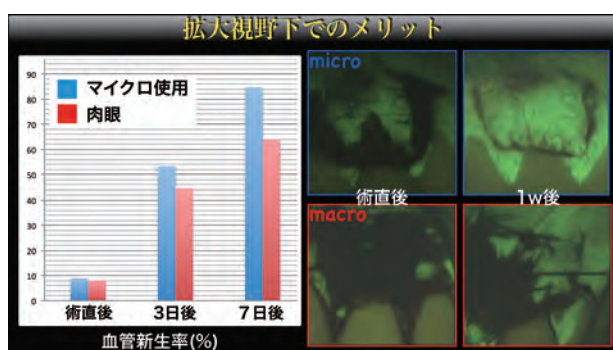


図18：根面被覆を肉眼とマイクロスコープ下で行った場合、歯肉の回復量に差があるかを調べた研究論文。マイクロスコープ下での場合、術野の血管新生率が高く血流再開がよい（写真の黒い部分は血流が悪い部分を示す）。

います（図18）⁽¹⁾。

インプラント埋入後のプロビジョナルレストレーションの唇側歯肉に食渣がのっかるとのことで歯槽増大術をした症例です（図19）。結合組織をできるだけ厚く採取したいため、メスが透けるほどの上皮下ぎりぎりの部分に切開を加えていきます（図20）。結合組織だけを選択的に採取したかったため、



図19：1 インプラントのプロビ。唇側歯肉に食渣がのっかるとの訴えがあった。

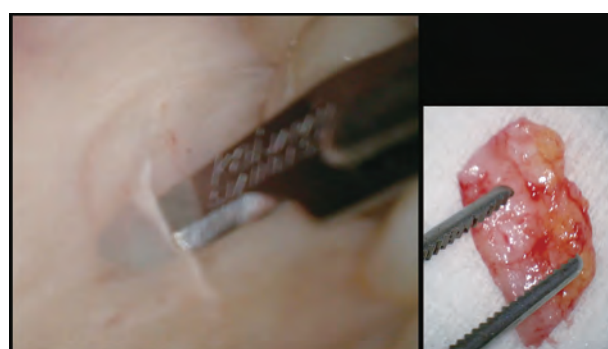


図20：結合組織を厚く採取するために、可能な限り上皮下ぎりぎりにメスを入れる。

パーフォレーションしていないかをマイクロスコープで確認しながら繊細な切開を行えることに最大の利点を感じました（図21～23）。

◆歯根端切除術

非外科的根管治療では治癒に導けなかった症例です（図24）。根管治療後9ヶ月経過しても透過像の縮小が見られず、「時々違和感がある」とのことでした。根管からのアプローチだけで治癒に導くことは不可能と判断し、歯根端切除術を行うこととしました。

マイクロスコープ下での歯根端切除術は90%を超える成功率を示し、肉眼下で行われてきた歯根端切除術と比較して格段に成功率が高いといわれています（図25）⁽²⁾。これまでは視界も暗く解剖学的な微細構造を確認しづらかった根尖部をしっかりと直視することが可能になったことで、症例によっては大臼歯まで歯根端切除術の適応にできています（図26）。

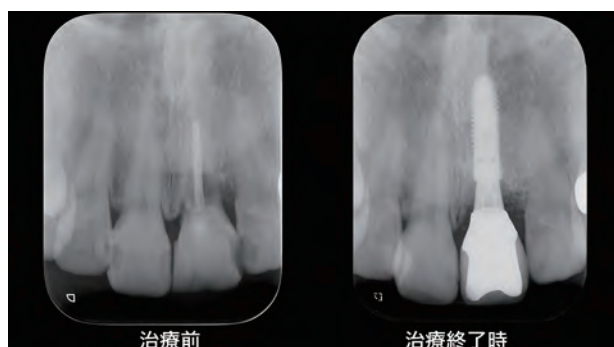
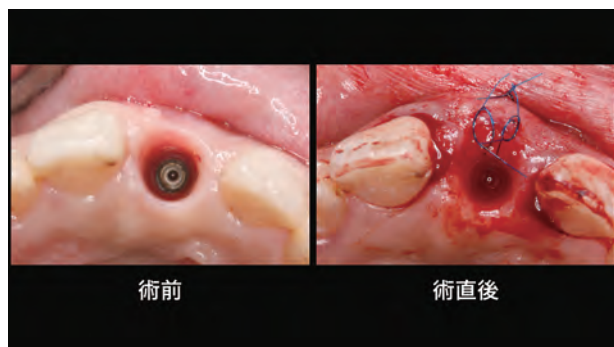


図21・22・23：移植後も大きく収縮することなく、食べ物がのっからなくなったと患者に喜んでいただけた。

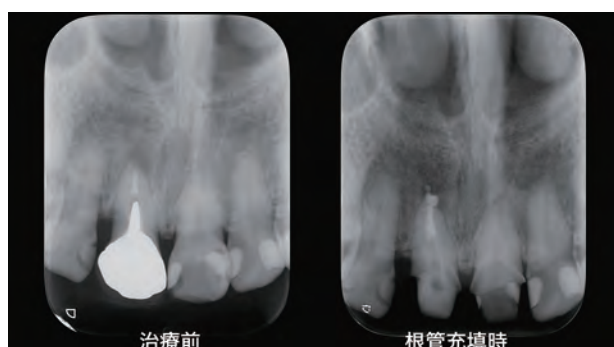


図24：7ヶ月根管治療を行ったが症状が消失せず歯根端切除術を行うこととした。

再治療の種類	平均		文献数
	成功	失敗	
歯内治療総合	86%	14%	16
歯内治療 非感染根管症例	95%	5%	8
歯内治療 感染根管症例	66%	23%	8
肉眼下歯根端切除術 +歯内治療	81%	7%	12
肉眼下歯根端切除術	59%	19%	22
マイクロ下歯根端切除術	>90%	<10%	8

図25：マイクロスコープを使用した歯根端切除術の成功率は高い。



図26：マイクロミラーを用いて歯根端切除後の歯根断面の観察。全ての工程を目視で行えるようになったことが、マイクロスコープでの歯根端切除術の最大のメリットである。

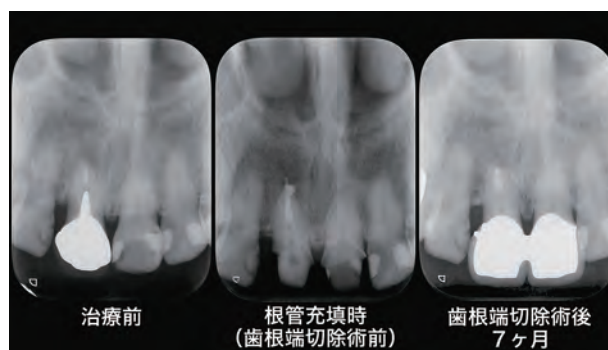


図27：術後7ヶ月。症状はなく病変も治癒傾向にある。

◆残根抜歯

8の抜歯症例です。術前に根尖の湾曲が強いことが確認できていましたが、危惧した通り根尖部が折れて骨内に残存してしまいました(図28)。これまでの私の臨床では、抜歯を中断して経過を観察するか、盲目的に恐る恐る骨を削合して順調にいけば

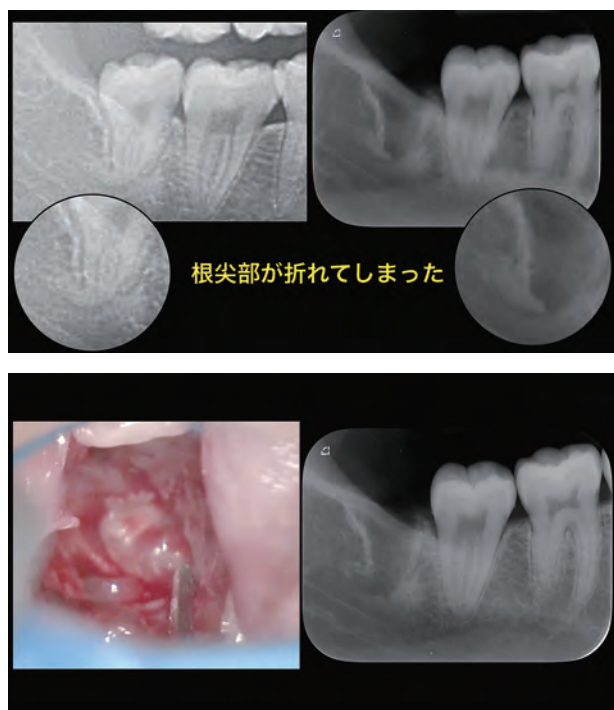


図28・29：残根抜歯。

抜歯ができるという状態でした。しかし、マイクロスコープの拡大・照明という利点とミラーテクニックの駆使によって確実にしながら処置が行えるため、下顎管に近接している下顎智歯の残根や、上顎洞へ落とし込む危険性が高そうな上顎臼歯の残根の抜歯も、最小限で済む骨削合をできるようになりました（図29）。

◆補綴～形成・適合～

支台歯形成では、マイクロ下でマージン部の形成を行うことにより、断片的な遊離エナメル質を残すことなく連続性の保たれた理想的な深さと幅を保ったマージン形成が可能になります。マイクロ下では歯質と歯肉の境目をはっきりと確認できるため、歯肉を傷つけることが少なく歯周組織にきわめて優しい形成を行えているように感じています。また、補綴装置の適合精度などをマイクロスコープでの確認を行うようになると、すべての治療過程において精度の向上を心がけるようになり、結果的に患者や術者にとって満足の高い治療結果が得られるようになっていと思っています（図30～35）。

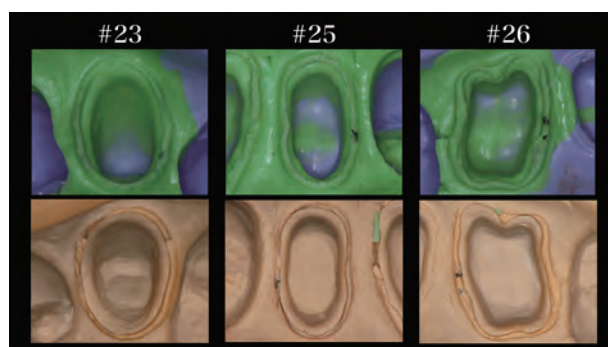
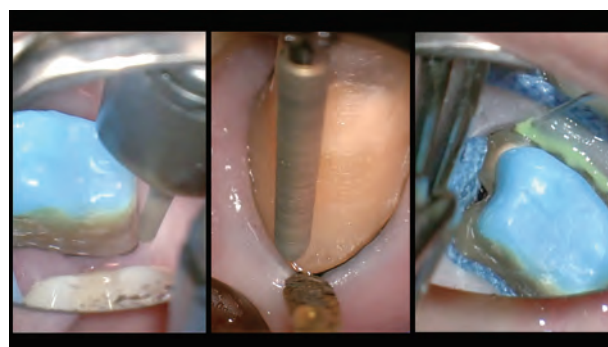
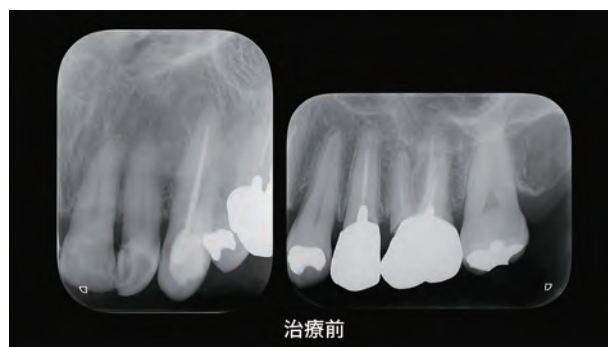


図30～32：大きく明るく見えるマイクロスコープで形成面を確認することは、的確で精度が高くより効率的な方法といえる。また、精度の高いプロビジョナルレストレーションのフィットにより、プラークの付着を予防し歯肉の安定が得られる。

マイクロスコープにより得られる明るい拡大視野が有用であることを、実際の症例を提示しながら述べてきましたが、もう一つの利点“録画”による恩恵を実は私は一番強く感じています。

当院では録画や編集機能が行えるカーリーナシステムをマイクロスコープ導入と同時に取り入れました。録画・停止機能をフットペダルで簡単に操作できるので治療に専念できます。説明時はモニター画面にタッチして図を書くこともできるので患者さんにも好評で、なによりスタッフと治療の情報を共有

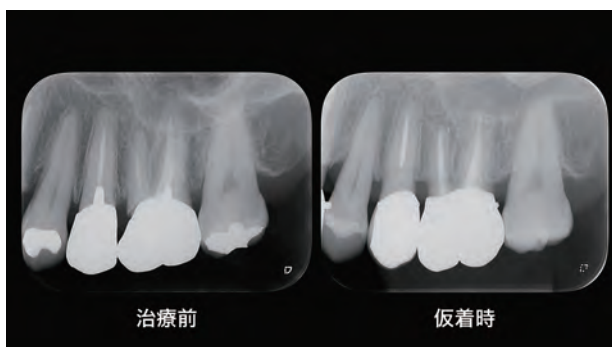
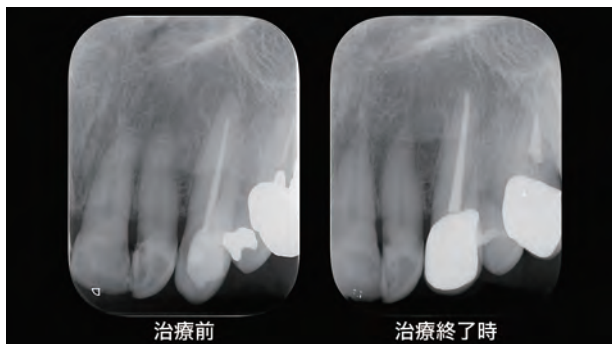


図33～35：補綴装置の適合とセメント除去の確認をマイクロスコープでチェックすることは、安定した歯周組織を持続させるために重要なことである。

できるようになったことも大きな利点でした（図36～39）。また、録画することで自分の治療を振り返ることができるという点で、なくてはならないものだと感じています。

例えば、先に提示した歯槽堤増大術の症例では、歯肉溝に両刃のメスを挿入するときは細心の注意を払っていたつもりでしたが、いつの間にか歯肉が切れてしまっていました（図40）。本当に気をつけていた点だったので、いつ切れたのだらうと術中気になって仕方ありませんでした。そこで動画を振り返ってみると、メスを歯肉溝から引き抜く際に歯肉

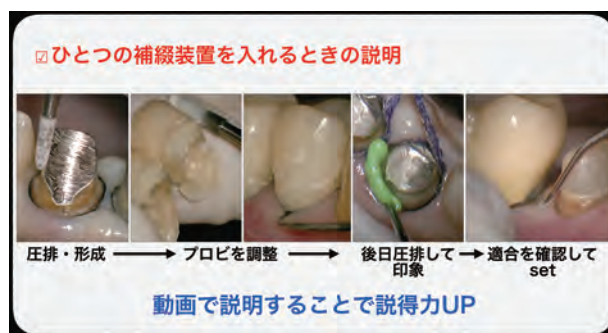
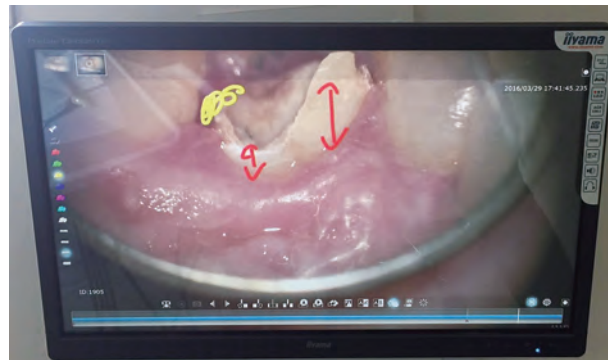


図36～39：拡大された治療画像を記録することによって、患者さんに対して現在の状態を示しながら説明することができ、信頼関係の構築にも役立っている。患者さんも身乗り出して興味津々に話を聞いてくれることが多い。

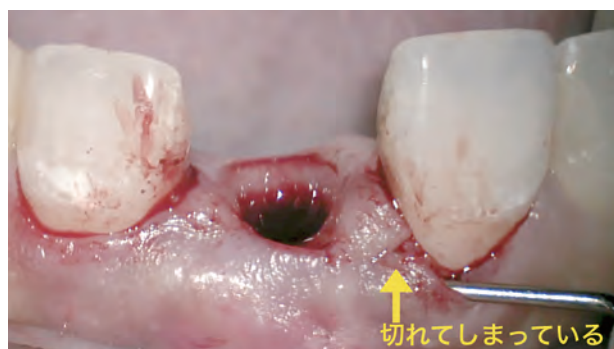


図40



図41

にスッと触れて切ってしまっていたことがわかりました（図41）。術者が注視している部分だけでなく、術野全体が動画として残しておけるので、自分の治療の問題点を認識し新たな目標を立てることに繋がります。

また、マイクロスコープの動画はスタッフ教育にも一役担ってくれています。日常の臨床現場において、自分がうまくできなかったことをその場で先輩や院長に聞くのは、忙しくてなかなかできないというようなことが多くあるのではないのでしょうか。当院の新人衛生士は、苦手意識のある歯肉圧排やTEKのマージン調整など、自らが行っているところを録画して、診療後に映像を再生しながら先輩衛生士にアドバイスを求めています。逆に先輩衛生士が行っている手技を録画してもらって、それを見て次に自分がするときは真似してみようとスキルアップを図ったりもしているようです（図42）。スポーツトレーニングで選手のフォームを録画・再生しながらコーチとともに新しいイメージを膨らませていくように、自分の治療映像を録画・再生して見返す



図42：後輩の治療映像を見ながらアドバイスする先輩衛生士。短時間で効率的に指導することができ自分の勉強にも繋がる（当院 DH 坂本歩美よりスライド提供）。

ことは教育効果が非常に高く、各々のスキルを共有することによって医院全体でのモチベーションアップになっていると感じています。

当院ではマイクロスコープが一台しかないため、主な使用はどうしても私になってしまいます。ですが、マイクロスコープ治療の利点を当院スタッフも実感してくれているようで、顕微鏡歯科学会やマイクロスコープのスタディーグループ勉強会に参加したり、マイクロスコープ治療のアシスタントセミナーを受講したりと頑張ってくれています。マイクロスコープでの治療は、通常の歯科治療以上にアシスタントの力が必要となるため、治療環境を整えてくれるスタッフには感謝してもしきれません。

マイクロスコープの臨床は奥深く、今後もまだまだ研鑽を積んでいかなければならないと感じています。現在マイクロスコープに興味をもっている方や導入を検討されている方に、今回ご紹介させていただいた私の経験が少しでもお役に立てば幸いに思います。

【引用論文】

- (1) Burkhardt. R, Lang NP. Coverage of localized gingival recessions : comparison of micro and macrosurgical techniques. J Clin Periodontol 2005 32(3) : 287-293.
- (2) Hepworth MJ, Friedman S. Treatment outcome of surgical and non-surgical management of endodontic failures. J Can Dent Assoc 1997 May ; 63(5) : 364-371.

MTA を用いた保存療法



はやま 歯科医院（飯塚市）

葉山 揚介（26期）

1. はじめに

歯内治療は抜髄処置と感染根管処置に分けられる。特に後者は医原性によるものが多いと感じる。裏を返せば最初に患歯を扱う我々に重大な責任があると思う。昨今、CBCT、Ni-Ti ファイル、マイクロスコープ、MTA などの進歩により再治療歯の成功率は飛躍的に向上したといえる。だが、簡便化してきたがゆえに歯内療法そのものの本質の部分を踏み外すことさえありえる。我々歯科医師にとって、歯内療法は歯科治療の土台であり、だからこそ進化したマテリアルを活用し、的確な診査診断をした上での患歯の保存が求められる。最新のマテリアルを効果的に使用する技術を習得することで、保存困難であると思われる歯髄や難治症例となっている感染根管処置に対するアプローチも広がってきた。今回、MTA の特性や操作方法、また様々な症例についての効果を提示する。

2. MTA とは

MTA（Mineral Trioxide Aggregate）は3つの酸化物の混合物であり、水で練ると非常に硬く硬化する。1990年代初頭に Loma Linda 大学の Torabinejad らによって開発され、1998年に FDA（米国食品薬品局）の認可を受けて「ProRoot-MTA」（Dentsply/Tulsa）として灰色の MTA が市販された（図1）。米国では、直接覆髄、断髄、アペキシフィケーション、逆根管充填、穿孔部の封鎖など多用途での使用が認められた。2002年に歯質の黒変を避けるために鉄分を除去した白色の



図1：プロルート MTA

ProRootMTA が市販され、国内では2007年に直接覆髄材として承認を受ける形で発売されている（図2）。



図2：各社の MTA

3. MTA の硬化

MTA は、通常の歯科用セメントの硬化と異なり、水和にて硬化する。水和は非常に長い時間をかけて進行する現象であるので、私たちの臨床において理想的である短時間での硬化は期待できない。また MTA の水和において、水の不足により硬化しないという失敗を臨床的に多く経験した。

また、水の存在下でも硬化するというのは、MTA の最も優れた特徴の一つであるが、局所での少しの条件の違いが不十分な水和物を作りやすく、漏洩の原因となる可能性がある。

4. MTA の取り扱い

MTA は素晴らしい材料であるが、取り扱いが難しいところがある。

最初に戸惑うのは、水の量である。水は多い方が詰めやすいが、水が多いと流れやすくコンデンスしにくい。水が少ないと物理的強度が増し、気泡の混入は少ないが、根管の深部まで移送することが難しい。MTA において、操作性が良好な水の量というのは、許容範囲が狭く、熟練を要する。MTA は高価なため、抜去歯牙での練習もなかなか行えないため、経験が少ないうちは水一滴を3分割し、MTA に足していく方が良いと思う (図3)。

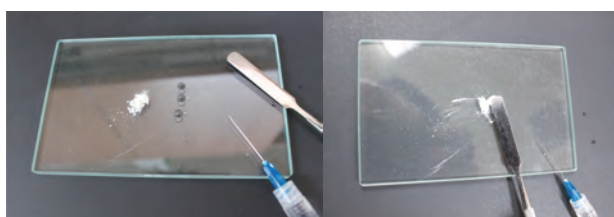


図3：粉適量と水3滴をガラス練板と金属スパチュラにて練和

1) 練和

メーカー指定の粉液比は3：1である。MTA の使用量は非常に少なく、実際には計量カップなどは使えないので、目分量になる。上述したように水一滴を用途によって分割し、MTA に足していく方が良いと思う。数分すると MTA の表面が乾いてくるので、その場合は、また水を足すと使用可能になる。

2) 移送方法とコンデンス

練和した MTA の移送方法は以下が使い分けられる。

- ・レジン充填器
- ・平頭充填器
- ・根管充填器
- ・ニエットキャリア

- ・MTA ブロック
- ・根管充填器
- ・Kファイル

重要なのは術者が使いやすいことと滅菌されていることである。高価なものよりもスムーズに移送でき、確実にコンデンスできる器具を選択する (図4)。



図4：愛用しているニエットキャリアとプラグー

5. 症例

直接覆髄

これまで、直接覆髄に使用する材料としては水酸化カルシウムが第一選択であった。MTA の登場によりその位置付けは大きく変わりつつある。私は良くどの MTA が良い結果を得られるのかを聞かれることがある。しかし、どんなに優れた材料を用いたとしても適応症を守らなければ良好な結果は得られない。

歯髄を保存できるかどうかには最も大きな影響を及ぼすのが感染であり、感染のない歯髄は保存可能であることが多い。

症例①

患者：23歳 女性

主訴：右上奥歯が欠けてしみる。

既往歴：特記事項なし

現病歴：2016年3月に#16が欠けた。2週間放置しているとだんだんしみてきたので当院受診となった。

症状：冷水痛 (+) 温熱痛 (±) 自発痛 (-)

初診日の口腔内写真とデンタル X 線写真を図に



図5-a：咬合面から髄角にかけてのう蝕が認められる

示す（図5-a）近心口蓋咬頭からの髄角に及ぶカリエスと診断し、保存の条件が良いことを患者に説明し、処置することとした。

患者への説明と同意

- ・ 歯髄保存療法の利点・欠点・予後について
- ・ どれだけ診査を行っても結果を100%保証する診断は存在しない
- ・ なぜなら検査そのものが不確実であるが上に、患者と術者の価値観（術後の冷水痛に対する反応）などが大きく影響を及ぼすため
- ・ 論文で報告されている歯髄保存の成功率だけで治療方針を決定することは適切ではなく、最終的には患者に歯髄保存の成功率と今後起こりうる歯髄壊死に伴う痛みの発生や再治療の可能性を理解してもらった。

以上のことを十分に伝えた上で、患者とともに歯髄保存療法を行うことにした。ラバーダム防湿後、マイクロスコープ下でカリエスの除去を行った。う蝕検知液で染めだし、エキスカにて染まっている部位のみ丁寧に慎重に除去を行った（図5-b）。露髄

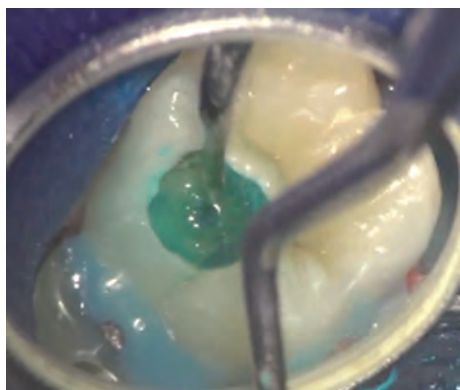


図5-b：最初は大きなラウンドバーからだんだん小さなエキスカに変えて、う蝕を取り除いていく

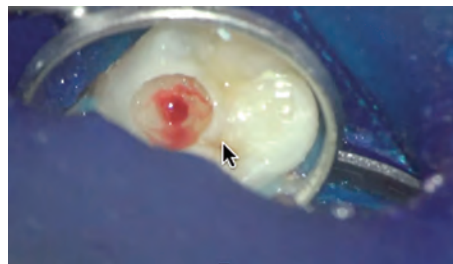


図5-c：露髄部からの出血を確認した

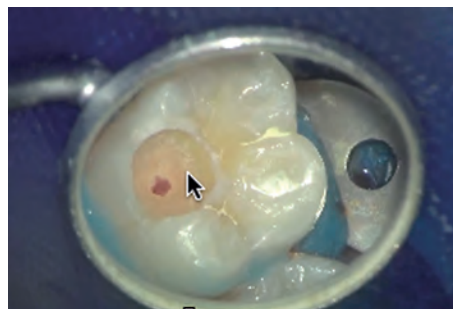


図5-d：生理食塩水での洗浄圧迫を繰り返し、止血の確認

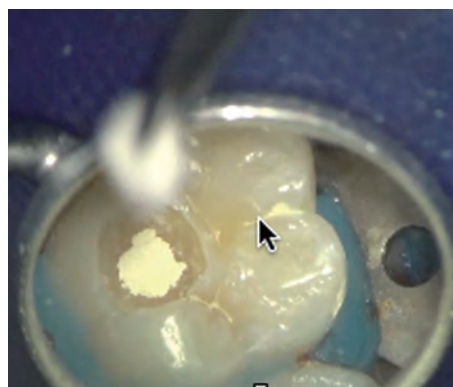


図5-e：MTAを詰め、湿潤綿球を入れる

部位からの出血を認めたため（図5-c）可能な限りのう蝕除去に努め、生理食塩水で洗浄と圧迫を繰り返し、出血がないことを確認した（図5-d）。ここで直接覆髄を行えないと判断するほど大きな場合は、断髄もしくは抜髄を選択する。MTAを貼付しその上に湿潤綿球を置き（図5-e）、ガラスイオノマーにて仮封を行った。リエントリーを行いMTAの硬化を確認してからコンポジットレジン修復を行った。マイクロリーケージを防げる精度の高い修復を行うことが重要である。

現在術後3年が経過している（図5-f）が、冷水痛も日常ではほとんど感じず、患歯は生活反応を

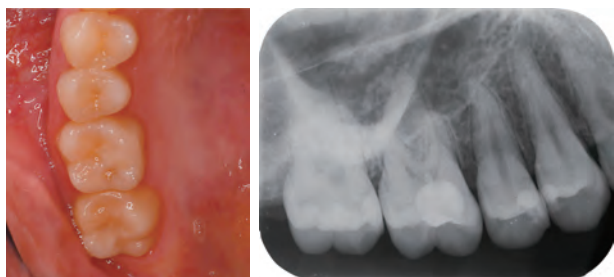


図5-f：この症例において術後変色は見られず、歯髄も生活反応を示す

示している。

根管充填

感染根管の目的は起炎物質の除去と感染経路の遮断である。MTA を根管充填に使用することで、起炎物質の除去が不完全であっても、病変が治ることは無い。あくまでも起炎物質の除去が可及的に達成され、感染経路の遮断に MTA という材料を使用するだけである。MTA の持つ性質を十分に理解し、しっかりと診査診断にて従来の根管充填法との選択をしなければならない。

適応

- ・ 根尖孔付近で穿孔している症例
- ・ 根尖孔の大きい症例
- ・ 穿孔部と本来の根管を分けて根管充填するのが難しい症例
- ・ 根未完成歯などのオープンアベックスの症例

症例②

患者：50歳 女性

主訴：左上奥歯が浮いた感じがある。前歯の歯茎にできものがある。

既往歴：特記事項なし

現病歴：#21は2010年頃に他院にて治療された。治療された直後から根尖部に疼痛があり、何度か切開された。2015年に口腔外科を紹介され、歯根端切除術をされるも、症状は変わらなかった。抜歯してインプラント治療を勧められ、不安になり当院受診となった。

初診日の口腔内写真とデンタル X 線写真を図に示す（図6-a）#21は根尖部に透過像を認め、根管内はメタルコアのみの状態である。歯科用コーンビーム撮影では、根尖部はメタルコア部で切除され



図6-a：サイナストラクトやマージンの不適合な補綴物、長いポストコアを認める

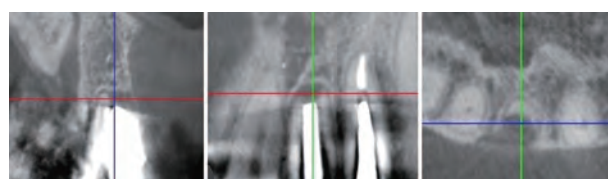


図6-b：メタルコア直下での不十分な切除の可能性が考えられる

ており境界明瞭な透過像を認めた（図6-b）。口腔内診査において、#21は補綴物の不適合を認め、根尖部にサイナストラクトを認めた。患歯は既根管治療歯で根尖性歯周炎と診断した。

患者への説明と同意

- ・ メタルコアを除去中に歯根が破折する可能性がある
- ・ メタルコアが除去できなかった場合抜歯になるかもしれない
- ・ 根管治療をしてもサイナストラクトが消失しない場合は、再度の外科処置になる。その後の補綴処置時の歯冠歯根比が悪くなり予後に影響するかもしれない

以上のことを十分に伝えた上で、補綴物除去を開始した。まずは前装冠を除去し、メタルコア周辺をマイクロスクーム下で超音波器具にて切削した。メタルコアにリムーバーが入るほどの穴を開け、リムーバーを用いてメタルコアを除去した（図6-c）。根管内を通法通り機械的拡大と科学的洗浄を行ったところサイナストラクトは消失した。根尖が非常に大きく損傷しており（図6-d）、肉芽の増生、出血を認めたため、根尖の完全な乾燥が得られず、ガッタパーチャでの根管充填では漏洩の可能性がある、良好な結果が期待できないと判断し、



図6-c：メタルコアにリムーバーを引っ掛ける穴を形成し、垂直的な力のみ慎重に加える



図6-d：根尖は大きく破壊され、出血や肉芽が見られる

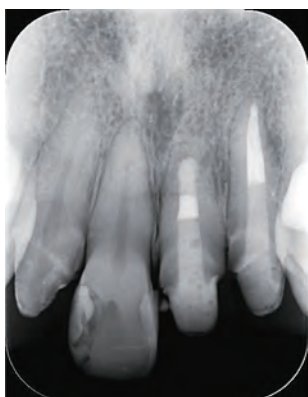


図6-e：MTAと軟化ガッタパーチャとファイバーポスト築造

MTAでの根管充填を行った。アマルガムキャリアとプラグを用いてMTAを約5mm充填し、湿潤綿球を置きキャビトン仮封した。その後、軟化ガッタパーチャとファイバーポスト築造しプロビジョナルレストレーションにて経過観察した（図6-e）。現在最終補綴物を装着し、2年しか経過していないが経過は安定している（図6-f）。



図6-f：術後2年の状態 サイナストラクトは消失し、根尖部の透過像も消失傾向になってきた

穿孔封鎖

何らかの原因によって根管と歯根表面が交通してしまう現象である。多くは治療中に発生する偶発性であり、歯科医師の解剖学などの知識不足に加え、コア形成時やストリップパーフォレーションなどの不用意な器具操作によってもたらされる場合が大半を占める。多くは医原性疾患であり、その他の原因として歯根の吸収（内部、外部）や髄腔内のう蝕などのケースがある。

症例③

患者：68歳 女性

主訴：右上奥歯が食事中に違和感がある。

既往歴：特記事項なし

現病歴：2015年1月上旬に右上奥歯が噛むと浮いた感じがするようになった。その後、食事中にも噛めないようになってきたため当院受診となった。右上臼歯部は5年前に他院で治療された。

初診日の口腔内写真とパノラマX線写真を図に示す（図7-a、b）。ゴールド冠等の処置がされているところから、患者は口腔内に対する意識が以前は



図7-a：初診時の口腔内写真

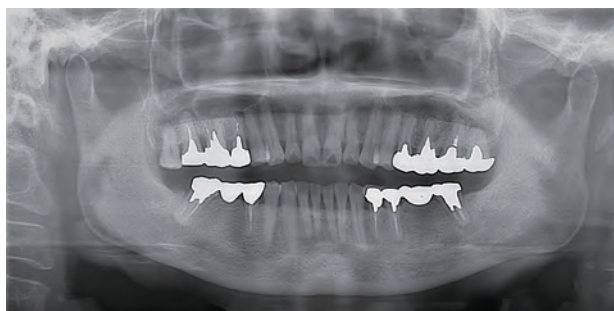


図 7-b : 同パノラマ X 線写真

検査日 2016/11/02 [3]

	右	検査日 2016/11/02 [3]	左
ブラーク	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
動揺度	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0
EPP 出血 排膿	4 5 6 4 4 4 4 4	3 3 3 3 3 3 3 3	4 4 4 4 4 4 4 5
全歯選択	8 7 6 5 4 3 2 1	1 2 3 4 5 6 7 8	8 7 6 5 4 3 2 1
EPP 出血 排膿	4 3 4 3 3 3 3 3	3 3 3 3 3 3 3 3	4 3 4 3 3 3 3 3
動揺度	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0
ブラーク	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●

ブラーク付着率: 19.44% 出血率: 0.00% 排膿率: 0.00%

図 7-d : 歯周組織検査表



図 7-c : #18抜歯後のデンタル X 線写真

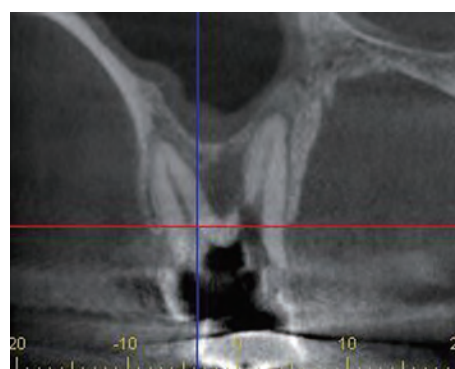


図 7-e : 術前の CT 所見 口蓋根の根管口直下に穿孔を認め、同直下の透過像を認める

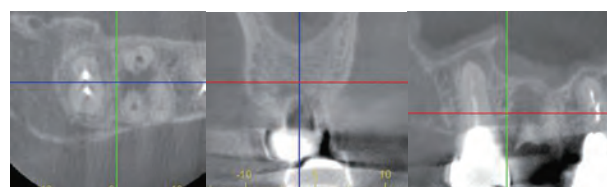


図 7-f : 同 CT 所見 #16 #17間の歯周ポケットと穿孔部の透過像は交通していない

高かったようだが、再治療等になるにつれて保険外診療には不信感を募らせていった。また、臼歯部咬合面は摩耗が認められ、強い咬合力を疑った。#16に強い打診反応を認め、#15、#17にも軽度の打診痛を認めた。周囲歯肉の圧痛も#16に強く認めた。なお、#18については#16に移植することも考えたが、予知性、清掃性を苦慮し抜歯することにした。#16の根管に対して太いコアが装着され、コアの不適合もみられた。#15には破折ファイルが残っており、#17の根管充填も不十分と考えた（図 7-c）。プラークコントロールは比較的良好と思われたが、臼歯部に 4 mm 以上の歯周ポケットが認められた（図 7-d）。

患者の説明と同意

- ・ #16は穿孔している可能性が高く、その場合によっては抜歯になること
- ・ #15の違和感が残る時にはファイル除去を試みるが、除去できるかどうかの保証はしない

以上のことを説明し、抜歯となった場合、患者はインプラント治療を望まなかった。保存できない時はブリッジ補綴とすることにしたが、できる限り歯

を保存する方法を希望された。

まずは症状の強い #16から処置を行うこととした。補綴物除去後、コアを除去したところ、同部位より出血を認めたためケミカルサージェリーを行い。水酸化カルシウムにて止血を行った。後日、止血を確認し、ガッタパーチャポイントを除去し、CTにて穿孔部を診査した（図 7-e）。穿孔部から分岐部直下の歯槽骨は吸収していることが確認された。穿孔部の透過像は#17と#16のポケットとの交通は認めず（図 7-f）、穿孔部直径は約 2 mm 程度の大きさであった。

症状のない遠心根と近心根を先に根管充填し、口



図7-g：MTAをプラグーにて緊密に圧接している

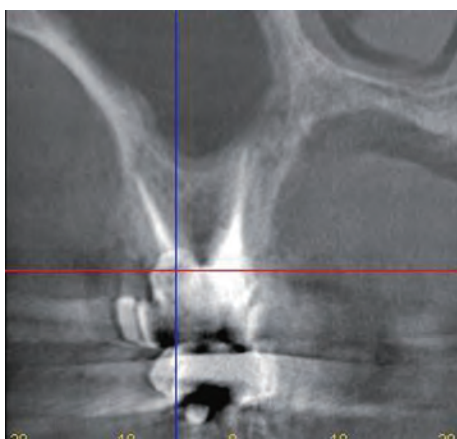


図7-h：穿孔部封鎖後1カ月後のCT所見　すでに術前の透過像は縮小傾向にある

蓋根にはペーパーポイントを挿入し、穿孔部の確認を行った。マイクロスコープ下にて穿孔部は術前のCTで審査した直径とほぼ同じ大きさであることを確認し、MTAにて穿孔部を封鎖した（図7-g）。後日硬化を確認し、口蓋根も根管充填を行い経過観察とした。術後1か月のCTを示す（図7-h）。同部位の症状は消失傾向であったが、#15の違和感は消失せず。破折ファイル除去後、感染根管処置を行うことにした。CTにてファイルは根尖部付近にあることを確認し（図7-i）、マイクロスコープ下で除去を行った（図7-j）ところ徐々に違和感も消失した。ファイバーポストを築造し、プロビジョナルレストレーションを作成、経過観察とした。現在、最終補綴装着から約1年と経過が短く（図7-k）これからも患者との信頼関係を保ち続け、長期の経過を追っていきたい。

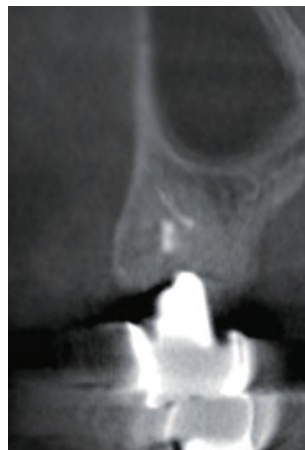


図7-i：CTにて破折ファイルの確認



図7-j：マイクロスコープ下にて、超音波器具を用いて破折ファイルを除去した

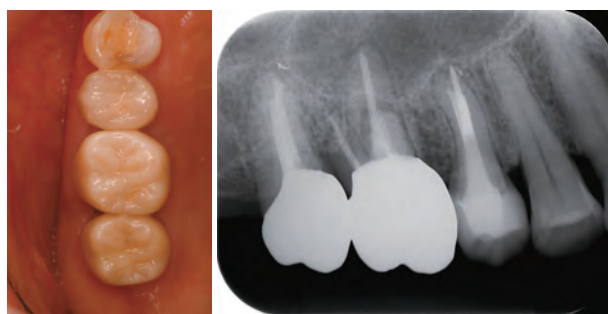


図7-k：最終補綴物装着から1年の状態、満足のいく最終補綴物を装着することができた

6. おわりに

MTAは浸出液、出血などで封鎖が難しい部位においても良好な結果を生じることが多いため、過度の期待をかけられることも多い。

しかし、感染源の除去、徹底した清掃がなされていない部位にMTAを詰めてもすべてが生体の治癒反応に導いてくれるわけではない。MTAの水和には各社ばらつきがあるため、練和開始からの時間を理解しなければ、表面的には硬化しているように見えるが、中身は脆い構造物であるということがあり、漏洩の原因となることもある。

第39回日本歯内療法学会学術大会報告 —マイクロエンドと再生医療という 歯内療法の新たな潮流—



口腔治療学講座
歯科保存学分野
教授 阿南 壽

第39回日本歯内療法学会学術大会は2018年7月7・8日、福岡市・福岡国際会議場において開催されました。今大会では“現在そしてこれからの歯内



写真1：代議員懇談会で講演される日本歯科医学学会住友会長

療法の潮流—「マイクロエンド」と「再生医療」をメインテーマに掲げ、さまざまなプログラムが組まれました。日本歯科医学学会会長の住友雅人先生をお招きし、代議員を対象に懇談会が行われました（写真1）。また、日本歯科医学学会副会長の井上孝先生（東歯大教授）による特別講演「再生歯科医療が根管治療を越える日」では、現在と

過去の歯科医療を比較しながら、歯内療法の未来について解説頂きました（写真2）。教育講演では本学の永嶋哲也先生（医療人間学講座教授）により、「倫理指針の改定とプライバシー」と題した講演が行われました（写真3）。

「マイクロエンド」をテーマとするシンポジウムⅠでは、コーディネーターの五十嵐勝先生（日歯大教授）が「マイクロエンドの足跡と展望」について述べ、続いて古澤成博先生（東歯大教授）が「マイクロエンドの特徴と適応症例」について解説し、三橋晃先生（神奈川県）が「マイクロスコープ100%活用術」として機器の選択・配置、アシスタ

ネットワークの重要性について解説されました。木ノ本喜史先生（大阪府）によるデンツプライシロナ賞受賞講演「拡大した根尖孔を水酸化カルシウム製剤により閉鎖する—マイクロスコープ下における観察」に続いて、「再生療法のサイエンス」をテーマにシンポジウムⅡが行われ、細胞機能制御を起点とした新たな治療法開発の現状と今後の展望について紹介されました。次大会は翌年6月15・16日に東京・タワーホール船堀にて開催予定です。



写真2：特別講演を行われる日本歯科医学学会井上副会長



写真3：教育講演を行われる永嶋 哲也先生

本学術大会の開催にあたり、学校法人福岡学園、福岡歯科大学同窓会、一般社団法人福岡県歯科医師会、一般社団法人福岡市歯科医師会の皆様によるご後援、ご支援のおかげで不測の悪天候の中、学術大会を運営することができました（写真4）。ここに深甚なる感謝の意を表します。



写真4：学会スタッフ（歯科保存学分野・歯周病学分野・総合歯科学分野）集合写真

第36回日本小児歯科学会九州 地方会大会および総会の報告



成長発達歯学講座
成育小児歯科学分野
教授 尾崎 正雄（3期）

第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を福岡歯科大学成育小児歯科学分野が主催して『多職種連携における小児歯科の役割』をテーマに平成30年10月21日（日）に福岡県歯科医師会館大ホールをメイン会場として行った。今回、本大会に福岡歯科大学同窓会よりご支援を頂き、誠にありがとうございました。本大会は、大会長が尾崎正雄、準備委員長に岡 暁子准教授で行われ、演題数34題、専門医更新発表4題、認定衛生士試験1題そして、39演題で行われました。

大会内容は、大阪大学附属病院 顎口腔機能治療部 言語聴覚士主任の杉山千尋先生より教育講演を頂き、小児の言語障害児に対する治療の実際について学ぶことが出来ました。会場からの反応も良く、今後歯科臨床で必要となる小児口腔機能障害に対する治療のヒントを頂きました。続いて行われた特別講演では、九州大学大学院医学研究院臨床医学部門生殖発達医学講座 小児外科学分野教授の田口智章

先生より、「小児医療センターにおける小児歯科と多職種連携および乳歯歯髄幹細胞の魅力」と題する講演をして頂きました。講演内容は、小児歯科との連携と乳歯歯髄幹細胞についての講演でしたが、特に、乳歯歯髄幹細胞が小児の難病治療の研究に使われていることに感銘を受けました。

昼からの記念講演では、本年度で退官される九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野 教授の野中和明先生より「小児歯科・スペシャルニーズ歯科での私達の臨床・トランスレーショナル研究」と題する講演をして頂きました。

本会の最後を締めくくるシンポジウムでは、テーマを「専門領域の立場から考える埋伏歯治療」と題して福岡歯科大学成長発達歯学講座 矯正歯科学分野 教授の玉置幸雄先生を含め、3名のシンポジストに講演を行って頂きました。また、歯科衛生士セミナーでは、私のコーチングの先生である銀座コーチングスクール福岡校代表の江口正勝先生より、「患者さんのパフォーマンスを起こすコミュニケーションーコーチングの応用ー」と題する講演をして頂き、コーチングの基礎と患者さんとの良好なコミュニケーションをどう築いていくかをアドバイスして頂き、大変好評でした。

以上の様に、大変盛りだくさんの大会でしたが、特にトラブルもなく無事に閉会することができました。これもひとえに参加者の皆様と福岡歯科大学同窓会の皆様からの援助のお陰と感謝申し上げて、本報告を終わりにしたいと思います。



同窓会学術振興事業

American Academy of Periodontology
Annual Meeting 2018

咬合修復学講座

冠橋義歯学分野

大学院 藤本 啓貴 (38期)

私は、平成28年3月に福岡歯科大学を卒業し、現在は冠橋義歯学分野に大学院生として在籍しております。また、山下潤朗教授をはじめ、歯周病科の坂上竜資教授、補綴科の松浦尚志准教授を講師陣とした「先端包括歯科プログラム」を受講しております。この先端包括歯科プログラムとは補綴/歯周病専門医プログラムで、補綴治療と歯周病治療の専門的な技術と知識を包括的に学びます。実際の授業では、講師陣による授業だけではなく、私たち学生によるプレゼンテーションと文献抄読を毎週行っております。臨床ケースでは、すべての症例で予後を見据えた治療計画を立て多角的に症例を分析する能力を習得し、症例検討会では、経験からではなく文献に基づく客観的な診療アプローチができるよう日々精進しております。

今回、平成30年10月27日から31日までの5日間、



Top of Vancouver からの夜景

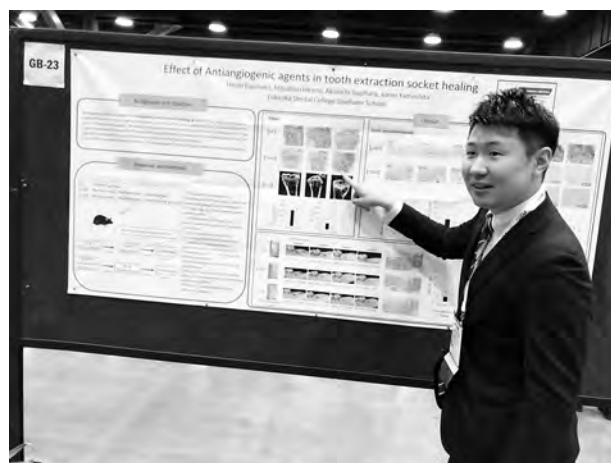
カナダのバンクーバーで開催されたアメリカ歯周病学会2018 (American Academy of Periodontology Annual Meeting 2018) に同窓会学術振興事業制度の援助をいただき、ポスター発表を行ってまいりました。初めての国際学会での発表で貴重な経験となりましたので、ご報告させていただきます。

バンクーバーはブリティッシュコロンビア州に属し、活気溢れる西海岸の港湾都市です。カナダで最も人口密度が高く、最も多様な民族で構成されています。山に囲まれ、映画の撮影地としても人気が高く、アート、演劇、音楽シーンも盛んです。日中の気温は13℃で厚手のコートを着ていてもやや寒い印象でした。Top of Vancouver という高さ167mの展望レストランからの夜景は魅力的でした。

今回私は、「Effect of Antiangiogenic agents in



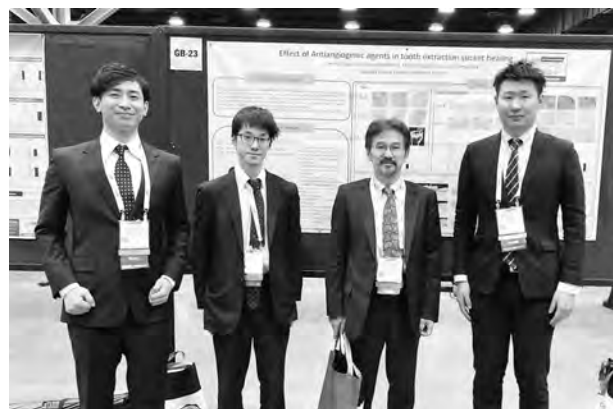
メイン会場



ポスター発表質疑応答中

tooth extraction socket healing」という演題でポスター発表を行いました。創傷治癒において血管新生は極めて重要な働きをしており、抜歯窩の治癒においては、止血に伴う血餅の形成が治癒の足場となり、新生血管の侵入、結合組織の修復・石灰化へと組織新生・治癒が進んでいきます。近年、血管新生抑制剤の服用が抜歯窩治癒不全の発症と関連すると報告されています。しかし、血管新生抑制剤のみで抜歯窩治癒不全を誘発する根拠は強くなく、他の修飾因子の関与が疑われます。そこで今回の研究では、血管新生抑制剤が抜歯窩骨創傷治癒においてどのような影響を及ぼすかを検討しました。

発表に対する質疑応答は予想以上に多く、基礎研究におけるより専門性の高い質問を受けました。ポスター会場には世界各国から発表者が集い、レベルの高い臨床ケースや基礎研究の発表を間近で聴くことができ、大変刺激を受けました。また、オーラルセッションでは歯周病に対する最先端の治療方法やエビデンスに基づいた考え方について学ぶことがで



全員で集合写真（右：筆者）

きました。今後の研究・臨床に役立てていきたいと思えます。

最後になりましたが、日頃から親身にご指導していただいている山下潤朗教授をはじめとする、先端包括歯科プログラムの講師の先生方、医局の先生方、また同窓会学術振興事業制度により御援助いただきました宮口巖同窓会長、福岡歯科大学同窓会に心より御礼申し上げます。



Stanley Park のトーテムポール



港からの街並み

同窓会学術振興事業

初めての海外発表

～24th Congress of the European Association
for Cranio Maxillo Facial Surgery～



口腔・顎顔面外科学講座
口腔外科学分野

井上 庸子 (22期)

私は2000年3月に福岡歯科大学を卒業し、矯正・放射線・口腔外科にて卒後臨床研修を行いました。2001年より10年間矯正歯科医局に在籍し、太宰府の歯科医院、久留米の小児歯科、八女の矯正専門医と開業医勤務を経て、2015年4月より口腔外科医員として入局しました。現在は、口腔外科専攻生として土日の出勤を免除してもらい、木曜日の外勤日以外は出勤して、抜歯や顎関節症などの外来処置と顎変形症手術を主に担当しています。

今回、2018年9月18日から21日までの4日間、ドイツ・ミュンヘンで開催された24th Congress of the European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery に同窓会学術振興事業制度の援助を頂き、ポスター発表を行いましたので、ご報告申し上げます。

学会開催都市であるミュンヘンは、ドイツ第三の都市で、1972年にオリンピックが開催されたことでも知られています。中世ヨーロッパの街並みを残し、城門や有名な教会など歴史的な建築物や印象的



学会会場の Gasteig

な建築物が立ち並んでいます。また、バイエルン地方最大の都市であり、世界最大規模の祭典オクトーバーフェストでも有名です。今回、参加させていただいた EACMFS (European Association for Cranio Maxillo Facial Surgery) は、1970年、ヨーロッパの外科医によって、頭蓋・顎顔面における手術の専門性を高める目的で設立され、口腔・顎顔面外科手術行うものは医学的・歯学的両面において基礎を確実に学ぶべきだという教えのもと、手術の中核を為す訓練を受けることができるよう、ハンズオンセミナーなどが開設されています。EACMFS は2年に1回、ヨーロッパの大都市で開催されており、入局初年度にイギリス・ロンドンで行われた学会に初めて参加し、規模の大きさに圧倒されました。今回も世界各国から、多くの著名なスピーカーが集まり、顎変形症や腫瘍・外傷・顎関節などの頭蓋・顎顔面治療についてセッションに分かれて、熱く論議を戦わせていました。顎変形症の手術計画は、通常上顎骨の位置決めを行い、その位置に合わせて下顎を set back する方法が取られています。近年、睡眠時無呼吸症候群の治療として、上顎骨の前方移動を行う有効性が示唆されており、機能的な観点から、下顎の set back 量の限界を決定する上でも、下顎の位置決めを先行させる方法が提示されていました。新たな観点からの治療計画について改めて考えさせられ、新たな研究課題を見つけることが出来ました。

最後に、発表の機会を与えてくださった池邊・平木両教授、息付く暇もないほど忙しい外来診療をこ



発表



ころよく引き受けてくださった医局員の先生方に心より感謝申し上げます。また、同窓会学術振興事業の援助により、貴重な機会を得ることが出来ましたことを心より御礼申し上げます。そして、発表準備から学会参加全般をサポートして下さった泉喜和子講師（22期）、勝俣由里助教（30期）に感謝致します。



Trainees party にて（左：筆者）

福岡歯科大学学内同窓会・学術振興事業の実施について

本事業は、福岡歯科大学学内同窓会に属する正会員、準会員を対象とする学術および研究活動を支援するものです。同窓会年会費を滞りなく納めている者が対象です。

対象項目

- 1）研究助成金（学内同窓会正会員の研究を対象とする）
- 2）研究奨励賞（学内同窓会正会員の論文を対象とする）
- 3）旅費援助金（国内外で開催される国際学会の発表に対する旅費の援助）
- 4）留学援助金（外国・国内留学への援助金）

この4つの事業により成り立っており、同窓会特別委員会により管理運営されています。平成28年1月から援助金の見直しを行い、海外留学に対して増額いたしました。同窓会で集められた大切なお金が、留学・国際学会での発表のために使われた事は、大変名誉な事です。これも一重に、同窓会員の皆様のご理解と宮口同窓会長の采配の賜物と感謝しております。これからも、本事業にご理解の上、ご支援をお願い致します。本事業の申請については、同窓会本部事務局へお尋ね下さい。

福岡歯科大学同窓会・学術振興事業内訳

事業名	対 象 者	金 額	申 請 書 類	備 考
研究助成金	同窓会学内支部に属する正会員	50万円を上限とする。	様式1、様式2 推薦状	大学経理、推薦者を経て、申請者の研究費となる。
研究奨励賞	同窓会学内支部に属する正会員	3万円	様式1、様式3 推薦状、別刷2部	本賞金は同窓会総会等において同窓会長が賞状と共に授与し、2名を限度とする。
旅費援助金	同窓会学内支部に属する正会員、準会員	正会員 国内 5万円 海外 10万円 準会員 国内 3万円 海外 5万円 を上限とする。	様式1、様式4 発表演題の受領を証明する書類を添付	国際学会を対象とし、原則として正規の旅費以内で援助限度額以内とする。
留学援助金	同窓会学内支部に属する正会員	国内 10万円 海外 30万円	様式1、様式5 留学先の受け入れを証明する書類を添付	

*平成28年1月1日より施行する。

京・滋

京・滋同窓会会長就任挨拶



京・滋県同窓会
会長 野村 信人（5期）

京・滋同窓会は、京都支部同窓会と滋賀県支部同窓会が一つとなり、本年7月に発会となりました。滋賀県での同窓会活動は継続困難な状況であり、私自身このまま解散すべきか、かねてより悩んでいました。解散せずに若い先生方に順次継承していくのが、少人数の為問題でした。近畿ブロック役員会、大阪同窓会会員懇親会に出席させて頂くたびに、私の隣席にいつもおられた葉山先生（6期）に何度も相談し、御厚情を頂き、このたび京都と滋賀の支部同窓会の合併に至り、支部の先生方の御尽力頂き本当に感謝申し上げます。また大阪府同窓会石田哲也会長、本部同窓会事務局におかれましても、発会の手続き等で御指導頂きありがとうございました。まだ発会して間もない会ですので、会費徴収方法や会員への福利厚生、情報サービスの提供の内容など、皆で相談・解決していく事柄は多々ありますが、役員一同精一杯やっていくつもりですので、よろしく

お願いします。

さて京・滋同窓会の「京・滋」ですが、ここは古くより、京都府と滋賀県は政治・経済・文化で結びつきが強く、医療においても、滋賀県内の大規模病院は、多くが京都大学、京都府立医大よりの派遣先となり、長らく滋賀県民は京都府の方々にお世話になってきました。また、高校野球ファンなら記憶にある方も多いと思いますが、以前は京・滋代表として、常に一つの代表校として甲子園に出場していた時代もありました。

ところで、この京都府と滋賀県は、ともに高校、大学への進学率は全国と比べ非常に高く、京都府、滋賀県には有名進学校が多く存在しています。また、滋賀県では人口上昇率は常に全国1～2位で、特に若年者の人口増加は顕著です。つまりこれから優秀な多くの高校3年生が、本校へ入学希望される可能性も大いにある訳です。若年者減少が予想される将来において、注目すべきことと思われます。

古来より京都、滋賀は天災や地震が少なく、あっても被害が比較的小さい地域であると言われてきました。また、琵琶湖という日本一の大きな湖があることにより、常においしい水が得られる地域です。また、日本の中心に位置し、古くは政治経済のなめともなった地域です。この地で、どうか同窓生の皆様が第2の故郷としてお住まい頂くには、非常に適した地域と思われます。お待ちしております。

まだ発足したばかりの同窓会ではありますが、皆様方の御指導、御助力を頂き、これからの発展を温かく見守って下さい。よろしくお願い申し上げます。

福岡県東

福岡県東同窓会会長就任挨拶



福岡県東同窓会
会長 杉本 直樹（7期）

福岡県東同窓会会長に就任しました7期の杉本です。

福岡県東同窓会は、豊前・京都・飯塚・田川・直方の5支部で構成されています。福岡県東同窓会会長は、5支部の持回りで、支部長が福岡県東同窓会会長を兼任します。福岡県東同窓会会長の任期は、2年間です。私は、京都支部に所属しており、今年の4月に支部長に就任しました。前任の塩次先生は、30年近く支部長を務めていました。長い間、本当に有り難うございました。

塩次先生の後任なので、かなりプレッシャーを感じていますが、自分に出来る範囲で同窓会のために頑張りたいと思いますので、御指導御鞭撻の程よろしくお願い致します。

広島県

平成30年7月豪雨による

広島県の災害について



広島県同窓会

会長 村上 誠一（7期）

平成30年7月6日、7日に西日本を中心に、活発な梅雨前線による豪雨で広島県では土砂崩れや水害が続きました。元々、広島という所は地震や台風などの天災は少ない地域ですが、大雨による土砂崩れは地盤を構成する真砂土の脆弱さと平地の少なさから定期的に起こっています。近年では平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害（74名死亡）、過去には昭和20年の枕崎台風（死者2,000名以上）など大雨被害は後を絶ちません。

今回の災害は広島県内で土石流315件、地滑り1件、崖崩れ155件が一晩で起こりました。特に広島市東部～広島県南部（安芸郡、呉市、東広島市、竹原市、三原市）で被害は甚大で死者は118名、行方不明者もまだ残っています。歯科衛生士の方も2名亡くなりました。土石流による道路や線路の流出による交通網の停止（道路の通行止め、JRの不通）は災害から2か月が経とうとしている今（9月）も少なくありません。スタッフが出勤出来なくなったケースも多いと聞いています。ライフラインの流出による長期の停電や断水は歯科医療を行う我々にとっても大打撃でありました。これによる同窓生の被害は県内会員の20%以上です。中でも河川の氾濫や土石流で医院が被害にあわれた2名は床上浸水50～60cmですが、診療機器の大部分が床面に近い所に電源や主装置があるためユニットやX線装置、CT、エアコン、床下のエアーや水の配管、電気の配線などの診療に関わる大部分が泥水や汚泥につかったため交換が必要でその上、数か月の休診期間もあることを考えると被害は数千万円に上ります。幸いお二人とも診療に対しての希望や気力を失っていませんので1からやり直すと聞いています。今回の災害では歯科診療所が洪水などの水害に弱いということを知らされました。今後、川や海の近くで

土地の低いところに診療所を作る場合は十分な床上げが必要だと思います。また、災害を受けて早期に県内外の同窓生の方より励ましやお見舞いをいただきまして誠にありがとうございました。

広島県同窓会としても被災された方々と連絡を取り合い今後の復旧に協力していきたいと思っております。異常気象をはじめ、何が起こるかわからない昨今です。自分だけは大丈夫といった安易な思い込みは通用しないということを肝に銘じて、平素より準備していただきたいと思います。御支援ありがとうございました。



大阪府

大阪府北部地震体験記



大阪府同窓会
常務理事 竹田 具弘 (17期)

2018年6月18日月曜日の午前7時58分に、大阪府北部を震源とするM6.1、震度6弱の地震が発生しました。

私は、自宅兼診療所にて開業させて頂いて20年になろうとしている。この日もいつもと変わらずリビングで朝食をとり、「今週も頑張ろう。」とコーヒーカップを手にした瞬間だった。床からドーンと体が吹っ飛びそうになるくらい突き上げられたかと思うと、激しく縦揺れが襲い、続いて横揺れがしばらく続いた。無我夢中で悲鳴をあげる妻の腕を掴み、テーブルの下に潜る。数十秒間あらゆる物が激しい音をたて倒れ落ち、破壊されながら揺れは収まった。今までに味わったことのない恐怖に二人共、しばらくは声も体も震え茫然としていた。その直後、耳に入ってきたのは緊急地震速報の電子音。ようやく我に返り、地震であったことを理解し、恐る恐る立ち上がる。

食器類はほぼ全て落ちて散乱し、冷蔵庫は傾き、額縁も壊れ足の踏み場もない。二階に上がろうとすると、本棚が倒れ込んで本が雪崩のように階段を埋め尽くしている。洗濯機や家具もあらゆる物が破壊された。壁も、室内・室外共に亀裂が入った。

そして、その無惨な姿に幻滅しながら診療所の扉を開いた。案の定、模型類は散乱し、薬棚からはあらゆる物が飛び散っていた。自宅以上に壁の亀裂も大きかった。しかし、不思議なことにユニットや医療機器は全て無傷だったのである。この状況からすれば奇跡だと思った。その後家族やスタッフらの無事も確認でき、光が見えた。「診療は出来る。」と…。

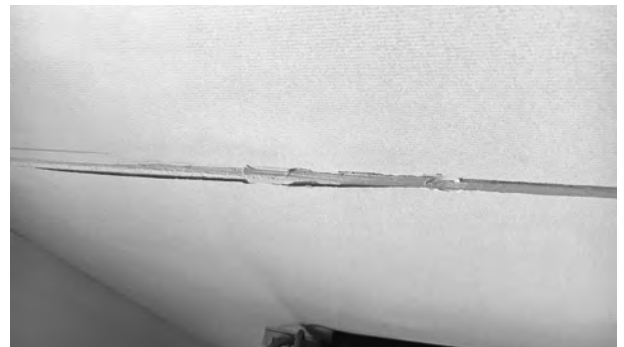
当日は休診にし、診療所の片付けに専念した。自宅の方は家族で手分けしながら、なんとか生活できるようスペースを作っていた。片付け中にも余震は繰り返し、ビクビクしながら気が遠くなる作業が

数週間続いた。

家を出ると近所の人々が皆無事を確認し合っている。瓦屋根が散乱し、壁には亀裂。皆が途方に暮れていた。ライフラインの被害も続いた。私の地域ではガスの復旧に一週間程かかったため、日々の入浴も困難をきたした。しかし電気、水道の復旧は早かったのも、なんとか翌日より診療することが出来た。だが、患者の足はすっかり途絶えることになる。地震の恐怖、家の修繕や片付けなどで心労が重なり、体調を崩している患者が続出。キャンセル電話が鳴り続く日々が続いた。

その後、余震も一段落かとの思いも束の間。7月には、西日本豪雨による浸水や地震での亀裂部からの雨漏り。9月には、大阪都市部周辺で猛威を振るった台風21号により、さらに追い討ちを受けた。

この度の大阪府北部地震の爪跡が残る中、次々と押し寄せる自然災害。心が折れそうになる苦悩の日々が続きますが、福岡歯科大学同窓会、同窓生の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂き、前を向いて頑張っております。先の熊本地震にて、多くの困難を乗り越えて来られた先生方の姿にも勇気を頂いております。発生間近と予想される南海トラフ大地震にも脅威を感じますが、この教訓を忘れず前進して行きたいと思います。皆様が平穏無事に過ごせるようお願いしております。



第71回九州歯科医学大会（佐賀県）

福岡歯科大学同窓会福岡県地区会・
九州地区会合同会議および懇親会



佐賀県同窓会
専務理事 小柳 進祐（12期）

平成30年10月27日（土）午後1時25分から、佐賀市の佐賀文化会館において、第71回九州歯科医学大会が開催されました。

大会は「健口（けんこう）から健幸（けんこう）へ 糖尿病における多職種連携」をメインテーマとして掲げ、以下のプログラムで進められました。

【オープニング映像】

佐賀県歯科医師会が作製した歯科医師会 PR 動画と、この度の大会用に作製した佐賀県および佐賀県歯科医師会の紹介動画が映し出される中、開場となりました。

【開会式】

寺尾隆治大会長（1期）は挨拶において「現代にあつては、糖尿病と歯周病が密接な関係にあることが広く知られています。しかし、多職種での連携はまだ十分とは言えず、職域の垣根を越えて協力し、乗り越えて行くべき課題と感じられます。本学会では糖尿病における多職種連携医療を最前線で実践されている3名の先生方にご講演頂きます。健口（け



水田理事長祝辞



高橋学長祝辞

んこう）から健幸（けんこう）へとつながる多職種連携の新たな一歩となる情報が発信できればと思います」と挨拶が述べられました。続いて、熊澤榮三九地連会長による挨拶、山口佐賀県知事、秀島佐賀市長、松永佐賀県医師会副会長よりそれぞれ祝辞が述べられました。

【学術講演】

講演1「医科歯科連携の取り組み」

佐賀大学医学部内科学教授 安西慶三

講演2「歯科医院でもできる糖尿病療養指導」

原瀬歯科医院理事長 原瀬忠広

講演3「糖尿病連携手帳を活用した医科歯科連携」

嶋田病院内科部長 赤司朋之

講演の後に3名の先生方に再度ご登壇頂き、安西先生を座長としてフロアからの質問を受ける時間が設けられました。会場からは大変前向きで活発な質問がたくさん寄せられ、このテーマへの関心の高さが感じられました。

【特別講演】

「本村弁護士の行列のできる法律相談所」

本村健太郎氏（川副町出身）

現在出演されている「行列のできる法律相談所」の裏話などユーモアを交えて話され、会場は大きな笑い声が上がりました。

大会終了後、午後5時30分から、ホテルニューオータニ佐賀の天山の間において、福岡歯科大学同窓会福岡県地区会・九州地区会合同会議が行われました。

合同会議には、本部から宮口会長、武井副会長、高嶺副会長、北村常務理事、石本常務理事、また、



宮口会長祝辞

福岡県地区会、九州地区会の会長をはじめ37名の先生方にご出席頂きました。

合同会議は、同窓会本部および各県同窓会から寄せられた協議題を事前に各県に回答して頂き、その回答について改めて協議する形で行われました。

協議題は、1. 福岡学園の寄付願いの趣意書について（沖縄県同窓会）、2. 会員名簿について（長崎県同窓会）、3. 終身会員について（長崎県同窓会）、4. 同窓会での自然災害への対応について（本部）の4題が出され、協議が行われました。

特に4. 同窓会での自然災害への対応については、各県の同窓会から、緊急時の連絡網の整備が必要であるとの意見が出されました。

次に、会場を鶴の間に移し、午後6時30分より福岡歯科大学同窓会福岡県地区会・九州地区会懇親会が開催されました。

懇親会は、来賓として水田祥代福岡学園理事長、高橋 裕福岡歯科大学長、宮口 巖福岡歯科大学同窓会会長、石川博之福岡学園常務理事、北村憲司福岡医療短期大学学長、池邊哲郎福岡歯科大学医科歯科総合病院病院長、岡部幸治福岡歯科大学学生部長、尾崎正雄福岡歯科大学教授、城戸寛史福岡歯科大学教授をお迎えし、フラメンコのアトラクションから始まりました。

その後、田邊 隆佐賀県同窓会副会長の開会の辞、浦 嘉訓佐賀県同窓会会長の挨拶に続き、来賓を代表して水田理事長、高橋学長、宮口会長よりご挨拶を頂戴し、石川常務理事の乾杯のご発声により、開宴されました。

懇親会には、各県同窓会にご協力頂き、各県の銘

酒26本が準備され、参加者の皆様が存分に楽しんでいたのが印象的でした。

さらに2つめのアトラクションとして、佐賀出身でありフジロックフェスティバルにも多数出演されている、トミー富岡氏の爆笑ステージが行われました。お酒もずいぶん進んでいた中のアトラクションでしたので、ウケている方と、歓談されている方が両極端でした。

アトラクションののち、各県同窓会の会場を全て廻る過密スケジュールのなか、寺尾隆治佐賀県歯科医師会会長（1期）にお越し頂き、ご挨拶を頂戴しました。

続いて、次期開催県の小川豊久長崎県同窓会会長をはじめ、水田理事長、宮口会長はじめ、長崎県ゆかりの20名の先生方が登壇され、次期の大会および懇親会のご案内を頂きました。

その後、校歌斉唱、閉会の辞と続き懇親会はお開きとなりました。

今回は、県外から93名の方にお越し頂き、お酒を酌み交わしながら会場のあちこちで旧交を温めていらっしゃる姿をお見かけし、福岡県地区会、九州地区会の結束も一段と深まったように思えました。

懇親会終了後は、佐賀の街中に繰り出されたようで、そう広くない佐賀の夜は、各県からお見えになった歯科医師にあふれかえっておりました。

この度は、皆様遠方からお越し頂き大変有り難うございました。当日は、不手際な点が多々ありご迷惑をおかけしたかと存じますが、何とぞご容赦いただけましたら幸いに存じます。

来年は、長崎の地で皆様とまたお目にかかることが出来ましたら幸いに存じます。



校歌斉唱

福岡学園はいま

世の中の動きは大変に激しく、国内外では多くの困難な課題が提起されています。私共は、そのような社会教育環境のもとで、建学の精神を忘れず、中期構想の実現に努力しております。

これからも引き続き、教職員が一丸となって、厳しい倫理観としっかりとした価値観、さらに目的意識を持ち、学生が意欲をもって勉学し、同窓生が誇れる母校を目指して参りたいと思います。

福岡歯科大学同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以下、この一年間の学園の主なトピックスをご紹介します。

2018年10月
福岡学園 企画課

○福岡歯科大学長に高橋 裕 教授が就任

2017年12月19日開催の第518回理事会の議を経て、福岡歯科大学の第11代大学長に、高橋 裕有床義歯学分野教授が就任しました。1973年の福岡歯科大学開学以来、卒業生で初めての就任となります。なお、任期は2018年2月1日より3年間です。



高橋 裕 福岡歯科大学長

【略歴】

1981年に福岡歯科大学歯学部を卒業、1989年歯学博士を取得し、福岡歯科大学助手、講師、助教授を経て、2003年3月に福岡歯科大学有床義歯学分野教授に就任。福岡歯科大学医科歯科総合病院副病院

長、福岡歯科大学学生部長、学校法人福岡学園（旧福岡歯科学園）評議員などを歴任。福岡県出身。

○文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業」における支援対象校に選定

福岡歯科大学・福岡医療短期大学が、文部科学省が実施している「私立大学研究ブランディング事業」の支援対象校にそれぞれ選定されました。同事業は、学長のリーダーシップのもと、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う私立大学に対し、施設費や装置費、設備費と経常費を一体的に支援し、各大学の特色化・機能浄化を促進しようとするものです。福岡歯科大学および福岡医療短期大学が選定されたタイプA（社会展開型）は、「地域の経済・社会、雇用、文化の発展や特定の分野の発展・深化に寄与する研究」を対象とするもので、123校の申請に対して選定されたのは33校でした。

今後、両大学ともに全学的な事業推進体制の下、教育・研究の推進と成果の発信に取り組んでいきます。

【福岡歯科大学】

■事業名

高齢者ヘルスプロモーションと地域包括ケアへの口腔医学の展開～要介護化阻止と誤嚥性肺炎ゼロを目指して～

■事業概要

福岡歯科大学は全身の健康を守るために歯科医療を展開する「口腔医学」の理念のもとに、歯学教育を改革してきました。本事業では、この「口腔医学」を大学近郊の高齢化の進む地域に展開し、口腔機能の維持・向上によって認知機能の維持をはかり、要介護化の阻止、誤嚥性肺炎の予防および高いQOLを達成します。社会的・教育的・再生医学的の3つのアプローチにより、地域に「口腔医学」を基盤とする保健・医療・介護を推進します。

【福岡医療短期大学】

■事業名

口腔機能向上でイキイキ長寿社会の実現
—話そう・食べよう・いつまでも—

■事業概要

口腔機能向上からの栄養改善、運動機能および社会資源創出に関する教育研究を基盤として、健康寿命の延伸につながる研究を推進します。これらの研究成果を、卒前・卒後教育における人材育成、地域住民主体のコミュニティ形成支援、および学術発表等の学会活動を通じて、ステークホルダーとの協働・評価・協力体制を構築し、地域社会に還元することによって、口から支える健康長寿社会の実現を推進するブランディング事業を展開します。

○福岡学園・福岡歯科大学 創立50周年記念ロゴマークが決定

1972年に創立した学校法人福岡学園・福岡歯科大学は、2022年に50周年を迎えます。この節目にあたり、福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念事業準備委員会は、2017年8月1日から9月29日までの期間、記念ロゴマークを募集し、22点の応募作品が寄せられました。その中から最終候補3点を優秀賞（準採用作品）に決定し、準採用作品を参考にアレンジし下記デザインが記念ロゴマークとして決定しました。



【コンセプト】

この記念ロゴマークは、「口腔から笑顔を！」をコンセプトに、口腔の健康を通して明るく豊かな生活を支えるあたたかな心と更なる発展を目指すポジティブな姿勢を「笑顔」と「赤い色」を用いて表現しています。（笑顔の部分の部分が赤色）



【省略版】

今後、このロゴマークを広報活動に積極的に活用していく予定です。

なお、この記念ロゴマークの制作にあたり、最終候補となった3作品の各作者には2018年7月27日に開催された開学記念式典時に賞状と副賞が贈られました。

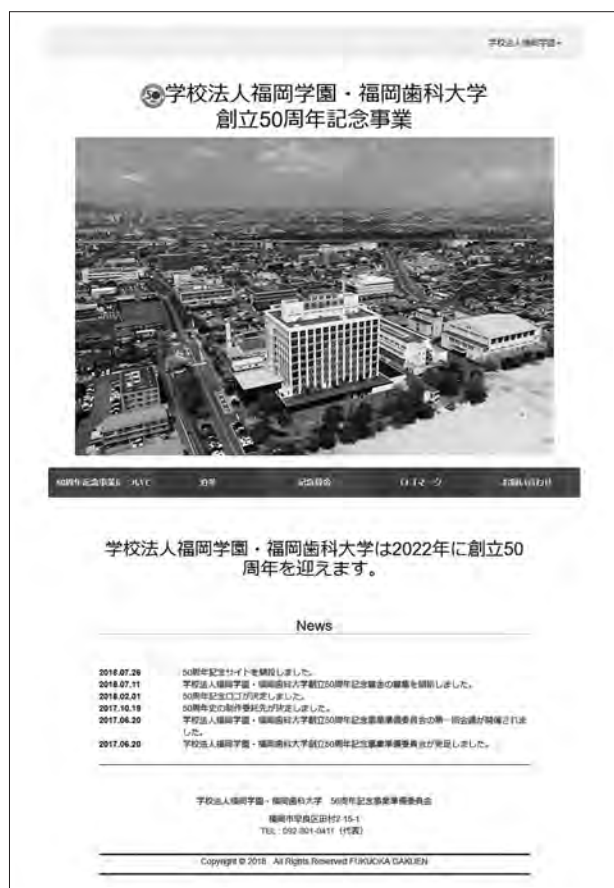
- ・田崎園子さん
（福岡歯科大学 障害者歯科学分野 助教）
- ・川口智弘さん
（福岡歯科大学 有床義歯学分野 講師）
- ・堀 美穂さん
（福岡歯科大学 企画課 事務職員）

○福岡学園・福岡歯科大学 創立50周年記念サイトがオープン

学校法人福岡学園および福岡歯科大学が2022年に創立50周年を迎えるにあたり、公式 Web サイトに「創立50周年特設記念サイト」をオープンしました。本サイトでは、50周年記念事業のニュースや学園の沿革を写真入りで掲載しているほか、現在受付中の

「学校法人福岡学園・福岡歯科大学 創立50周年記念募金」の趣意や払込方法・税制優遇制度等を掲載しています。なお、「クレジットカードによる募金」はこちらのサイトからお手続きを行うことが可能です。

今後、創立50周年記念事業に関する情報を随時掲載してまいりますので、ぜひご覧ください。



【学校法人福岡学園・福岡歯科大学 創立50周年記念事業 特設 Web サイト】

<https://www.fdcnet.ac.jp/fdc/50th/>

また、今年7月より開始しました「学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念募金」について、既に多くの方からご寄付をいただいております。創立50周年記念サイトに「寄付者ご芳名一覧」を掲載させていただいております。ご寄付いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

この募金は、学校法人福岡学園および福岡歯科大学が2022年に創立50周年を迎えるにあたり実施する記念事業（記念講堂の建設、講演会や学生イベント

の開催等）にかかる費用に充当するために実施しているものです。記念募金の趣旨にご賛同いただき、引き続き、ご支援・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

●募金実績額

（2018年7月1日～10月31日ご寄付分）

160名様 18,420,000円



創立50周年記念事業で建設予定の50周年記念講堂完成予想図

○学校法人福岡学園 開学記念式典を挙

2018年7月27日、福岡歯科大学 本館9階 講堂において、学校法人福岡学園開学記念式典が執り行われました。式典には、水田祥代理事長、石川博之常務理事、高橋 裕福岡歯科大学長、窪田恵子福岡看護大学長、北村憲司福岡医療短期大学長をはじめ、学内外の関係者約210名が出席し、理事長挨拶の後、永年勤続者表彰、福岡歯科大学・福岡医療短期大学最優秀教育改善賞表彰、福岡歯科大学・福岡看護大学特待生表彰、福岡医療短期大学 特別奨学生表彰、研究優秀賞表彰、学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念ロゴマーク優秀賞表彰、理事長特別賞表彰が行われました。記念講演では、宮崎宮 田村邦明権宮司に「宮崎宮あれこれ」と題して、日本三大八幡・宮崎宮の成り立ち・歴史や地域との関わり、参拝時の所作等についてお話しいただきました。



開学記念式典・講演

◆福岡歯科大学◆

○国際交流

●リバプール大学歯学部

2018年4月15日から22日まで、イギリスのリバプール大学歯学部を福岡歯科大学教員2名、学生4名が訪問しました。この交流は、2016年10月にリバプール大学歯学部との間に結んだ学術交流協定に基づき実施されたもので、今回で2回目となります。今後も両大学間での教職員や学生の訪問、教育・学術研究活動における情報交換など、各方面における活発な交流が期待されます。



リバプール大学訪問の様子

●ブリティッシュコロンビア大学

2018年4月15日から29日まで、カナダのブリティッシュコロンビア大学を福岡歯科大学教員2名、学生4名が訪問しました。この交流は、2010年2月にブリティッシュコロンビア大学との間に結んだ提携に関する協定に基づき実施されているもので、今回で8回目となります。参加した学生からは、「様々な国からの留学生とも出会い、歯科医療についての現状や考え方、文化的背景などに触れることができた」との感想が寄せられました。



ブリティッシュコロンビア大学訪問の様子

●中国医科大学口腔医学院

2018年3月25日から31日まで、中国医科大学口腔医学院を福岡歯科大学教員2名と学生4名が訪問し、同年9月9日から16日まで、中国医科大学口腔医学院より学生訪問団が福岡歯科大学を訪れました。

今回が6回目となる中国医科大学口腔医学院との学生交流は、2013年3月に結ばれた姉妹校協定に基づいて行われました。両校の学生にとって国際交流は大変有意義なものであり、今後更なる交流の発展が期待されます。



中国医科大学訪問の様子

●上海交通大学口腔医学院

2018年3月11日から17日まで、上海交通大学口腔医学院を福岡歯科大学教員2名、学生4名が訪問し、同年7月1日から6日まで上海交通大学口腔医学院から訪問団が福岡歯科大学を訪れました。

福岡歯科大学と上海交通大学口腔医学院との学生交流は、2006年から行われ、今回で13回目になります。

このような定期的な国際交流がもたらす輪は、両国の学生にとって豊かな国際感覚を養う貴重な機会となっています。



上海交通大学訪問の様子

●慶熙大学校歯科大学

2018年2月4日から9日まで、韓国の慶熙大学校歯科大学より学生訪問団が福岡歯科大学を訪れ、同年3月11日から17日まで、慶熙大学校歯科大学を福岡歯科大学教員2名、学生4名が訪問しました。

慶熙大学校歯科大学との学生交流は2007年から行われ、2013年より毎年行われるようになりました。双方の学生が自国以外の歯学や生活について直接意見交換ができる、貴重な学びの機会となっています。



慶熙大学校歯科大学訪問の様子

○連携事業

口腔医学シンポジウムを開催

2018年1月6日、福岡看護大学1階101講義室において、口腔医学シンポジウム「『口腔医学』—歯科の将来像—」が開催されました。この度のシンポジウムは、2008年度に採択された文部科学省 戦略的大学連携支援事業の総括ともなるもので、前半の基調講演では、文部科学省高等教育局医学教育課企画官 眞鍋 馨氏と厚生労働省医政局歯科保健課長 田口円裕氏のお二人にご講演いただきました。また、後半のシンポジウムでは、九州大学大学院歯学研究院 山下喜久教授、福岡歯科大学医科歯科総合病院 森田浩光病院教授、福岡歯科大学障害者歯科学分野 小島 寛教授が最新の知見・成果を紹介し、今後の口腔医学の発展について討論が行われました。当日は、約160名が参加し、口腔医学への理解を深めました。



口腔医学シンポジウム

○地域連携

「健康まると福岡学園」を開催

2018年10月20日、21日の両日、福岡学園にて「健康まると福岡学園」を開催しました。両日も天候に恵まれ、1,500名を超える来場者で賑わいました。田の歯科祭・からだの科学展・講演会等の様々な催しが行われ、数多くの地域住民の方にご参加いただきました。



田の歯科祭



からだの科学展



講演会

○第111回歯科医師国家試験

2018年3月18日、厚生労働省から第111回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,159名中、合格者は2,039名、合格率は64.5%でした。福岡歯科大学からは今春卒業した50名および既卒者81名、計131名が受験し、59名が合格しました。合格率は45.0%でした。

○生涯研修の充実

福岡歯科大学では2011年12月に開院した口腔医療センターを生涯研修の中核施設として、歯科医師等の資質の保持・向上に向けた研修を積極的に開催しています。2017年度は、「訪問歯科と嚥下リハに役立つ知識」、「審美歯科の最前線」、「口腔インプラント初級講習会」、「スプリント治療実践セミナー」、「すぐに役立つ最新の NiTi File を用いた根管形成法の実践」の5つのプログラムを実施し、延べ97名の方が参加されました。

2018年度は、「SRP 実践セミナー～歯科衛生士・歯科医師チームで学ぼう～」、「スプリント治療実践セミナー」を実施しております。今後も、様々な生涯研修を開催しますので、是非ご参加ください。

◆医科歯科総合病院◆

○医科歯科総合病院に内視鏡センターを開設

福岡歯科大学医科歯科総合病院では、医科と歯科を併せ持つ医療施設として地域医療に貢献することを目指しており、その一環として、2017年11月1日、新たに内視鏡センターを開設しました。同センターでは、通常の消化器疾患の内視鏡検査に加えて、内視鏡治療と内視鏡手術を行います。消化器疾患の早期診断だけでなく、胃、大腸、胆道の内視鏡治療と内視鏡手術をご希望の方のご相談もお受けします。



○地域連携

2018年6月10日、福岡県歯科医師会館において、「第43回福岡市民の健康を歯と口から守る集い」（福岡市歯科医師会等と共催）が開催されました。福岡歯科大学医科歯科総合病院からは、口腔外科、小児歯科、禁煙相談、口臭予防等の相談コーナー等を開設し、多くの方にご利用いただきました。

今後も、同病院の理念である安全で質の高い、思いやりのある医療を提供するとともに、豊かな人間性を備えた有能な医療人の育成に努め、地域の患者様に満足されるよう、病院機能の維持と向上にさらに努力して参ります。



福岡市民の健康を歯と口から守る集い

○小呂島への離島歯科訪問診療を開始

2018年度より福岡歯科大学医科歯科総合病院訪問歯科センターでは、小呂島への歯科訪問診療を開始することとなりました。

小呂島は、福岡市西区に属しますが、長崎県壱岐の東約20kmに位置する人口約180名の小さな島です。島内に医師や歯科医師の常駐はなく、医療関係者は保健師が1名常駐しています。このような状況のもと、福岡市および済生会福岡総合病院の依頼により、高齢者など特に本土に通院困難な方々へのボランティア診療として、月1回、済生会福岡総合病院の医師・看護師とともに離島診療に参加することとなりました。

この離島診療は福岡空港から福岡市消防局所有のヘリコプターで移動し、島の無人診療所にある歯科診療室や歯科用チェアで診療を行います。月1回のみの限られた診療のため、義歯の調整や簡単なむし歯の処置、応急処置に限られ、継続的な歯科治療や抜歯などの外科処置は、本土の歯科医院に紹介・通院となります。福岡歯科大学医科歯科総合病院訪問歯科センターは、このように限られた状況の中でも、島民の方々にできる限りの歯科医療のサポートをしていきたいと考えております。



小呂島ヘリポート



診療の様子



小呂島保健福祉館 歯科診療室



太平洋小児外科学会の授賞式

◆福岡医療短期大学◆

○第27回歯科衛生士国家試験

2018年3月28日、厚生労働省から第27回歯科衛生士国家試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生80名が受験し、合格者は77名、合格率は96.3%でした。なお全国の合格率は96.1%でした。

今回も昨年同様、国家試験対策として国試問題集の出題範囲を限定した演習試験を実施し、各回の成績不振者に対して、放課後と土曜日に補習を行いました。また、演習ならびに模擬試験の成績不振者には冬期休暇中にもとより、国家試験直前まで特訓補習を実施しました。

◆受賞◆

○水田祥代理事長が小児外科学の国際賞 Coe Medal を受賞

2018年5月14日～17日に北海道で開催された太平洋小児外科学会において、本学園 水田祥代理事長に小児外科学の分野で傑出した業績を挙げた研究者に贈られる Coe Medal が授与されました。水田理事長は、長年小児外科医学の臨床・研究・教育に取り組み、数々の顕著な業績を挙げ、日本国内のみならず、国際的にも小児外科医学の充実・発展に寄与した功績が評価され、この度の受賞となりました。

○松本裕子学事顧問が2017年秋の叙勲を、栢 豪洋名誉教授が2018年春の叙勲を受章

2017年秋の叙勲において、学校法人福岡学園 松本裕子学事顧問が、看護業務功勞により「瑞宝単光章」を受章されました。松本顧問は、九州大学病院看護師長、同大学病院感染対策担当看護師長、同大学病院副看護部長等を歴任し、2017年4月より本学園学事顧問を務められ、学園の発展にご尽力いただいております。

また、2018年春の叙勲において、福岡歯科大学名誉教授（元福岡医療短期大学長）栢 豪洋先生が、教育研究功勞により「瑞宝小綬章」を受章されました。栢名誉教授は、福岡歯科大学助教授、同大学教授、同大学臨床教科主事、同大学学生部長等を歴任。2002年に福岡医療短期大学長に就任され、歯科衛生士並びに介護福祉士の養成教育と共に、歯科医学、口腔保健衛生学、保健福祉学の発展に貢献されました。1990年8月より学校法人福岡学園評議員を、1998年4月より理事を務められ、学園の発展にもご尽力いただきました。

◆人 事◆

(2017年11月1日～2018年10月31日)

■新役員・役職教員等紹介

●常務理事



石川 博之
常務理事

2018年1月の理事会の議決により、1月末に任期満了となった石川博之前福岡歯科大学長が、2月1日付で常務理事に就任されました。同氏は、2000年11月に福岡歯科大学教授に就任後、同大学医科歯科総合病院長、学校法人福岡学園（旧福岡歯科学園）理事・評議員等を歴

任し、2015年2月から福岡歯科大学長を務められました。

●福岡医療短期大学長



北村 憲司
福岡医療短期大学長

2017年4月から福岡医療短期大学長兼務であった北村憲司常務理事が、2018年2月1日から福岡医療短期大学長専任となり、同大学の発展のためご尽力いただくことになりました。

●評議員



平田 雅人
評議員

2018年1月22日に開催された理事会において平田雅人氏が評議員に選任されました。任期は2020年8月2日までです。

〈略歴〉

九州大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科基礎歯学専攻修了。同大学大学院歯学研究院教授、同大学アイソトープ総合センター長、同大学主幹教授、同大学教育研究評議員、同大学大学院歯学研究院長・歯学府長・歯学部長等を経て、2017年4

月1日、福岡歯科大学客員教授に就任。歯学博士。

●福岡歯科大学基礎医歯学部門長



稲井 哲一朗
基礎医歯学部門長

2018年2月20日に開催された第520回理事会において、福岡歯科大学基礎医歯学部門長に稲井哲一朗氏（機能構造学分野教授）が選任されました。任期は同年4月1日から2019年3月31日までです。

●福岡歯科大学学生部次長 再生医学研究センター長

2018年4月1日、福岡歯科大学学生部次長に尾崎正雄氏（成育小児歯科学分野 教授）が、同大学再生医学研究センター長に大野 純氏（再生医学研究センター 教授）が就任しました。



尾崎 正雄
学生部次長



大野 純
再生医学研究センター長

●医科歯科総合病院 副病院長

任期満了に伴い、2018年2月20日に開催された第520回理事会において、福岡歯科大学医科歯科総合病院副病院長に阿南 壽氏、川野庸一氏、樋口勝規氏が選任されました。任期は2018年4月1日から2020年3月31日までです。また、評議員に在任中の樋口氏に加え、阿南氏、川野氏も3月26日に行われた第521回理事会において評議員として選任されました。



阿南 壽
副病院長



川野 庸一
副病院長



樋口 勝規
副病院長

●医科歯科総合病院 病院教授・病院准教授

2018年4月1日、梶井貴史氏に福岡歯科大学医科歯科総合病院 病院教授、泉 喜和子氏に同病院 病院准教授の称号が付与されました。この称号は、優れた医療技術、診断能力等により顕著な臨床実績を有する医師・歯科医師に与えられるものです。



梶井 貴史
病院教授



泉 喜和子
病院准教授

■福岡医療短期大学保健福祉学科長を選任

福岡医療短期大学保健福祉学科長に、古野みはる教授が選任されました。任期は2018年4月1日から2020年11月30日までです。



古野みはる
保健福祉学科長

■新教授紹介

【2017年11月1日付】



池田 哲夫
内視鏡センター長

いけだ てつお
池田 哲夫 教授

〔内視鏡センター・教授〕

〈略歴・抱負〉

1985年九州大学消化器総合外科（第二外科）に入局。外科医としての修練と同時に研修医時代から消化器内視鏡のトレーニングを受ける機会に恵まれました。肝臓移植の研究で学位を取

得しましたが、日本では臓器移植がスタートできない状況だった平成4年、世界でも始まったばかりの内視鏡外科手術を目の当たりにして自分の進む道を決めました。それから20年内視鏡治療と内視鏡外科手術に携わっております。この様な経歴をさせていただき、2017年11月1日、福岡歯科大学医科歯科総合病院内視鏡センター長（教授）に就任させていただきました。

【2018年1月1日付】



長 環 教授

ちょう 環 教授
〔感染生物学分野・教授〕
〈略歴〉

九州大学農学部卒。九州大学大学院農学研究科修了。英国アバディーン大学マーシャル校医真菌分子生物学分野に留学。福岡歯科大学口腔細菌学講座助手、同講座講師、助教授、准教授を経て、2018年1月1日、同大学感染生物学分野定員外教授に昇任。歯学博士。
〈抱負〉

超高齢社会および超高度化医療時代をよく理解し、歯科医師としてどうあるべきかという意識を育てる学生教育になるよう、微力ながら頑張りたいと思います。

【2018年10月1日付】



藤田 亜美 教授

ふじた つぐみ 亜美 教授
〔生化学分野・教授〕
〈略歴〉

九州大学理学部化学科卒。同大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了、同専攻博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員、佐賀医科大学生体構造機能学講座助教、同講座准教授等を経て、2018年10月1日、福岡歯科大学生化学分野教授に就任。理学博士。
〈抱負〉

化学の体系的な説明に加えて生体内での反応や臨床応用例などを紹介することで、興味をもって歯科医師に必要な知識を学べる化学教育を目指します。また、様々な化学物質が痛み情報伝達をどのように修飾するかを解明する研究にも取り組みたいと思います。

■任命等

【2018年2月1日付】

・福岡歯科大学長代行
池邊 哲郎

【2018年4月1日付】

・事務局長（嘱託）
井手 孝行
・アニマルセンター副長
泉 利雄〔歯科保存学分野・准教授〕
・情報図書館分室長
松尾 忠行〔短大・歯科衛生学科・准教授〕
・施設課・課長（嘱託）
青木 潤吉

【2018年10月1日付】

・福岡歯科大学医科歯科総合病院
小児口腔外傷センター長
尾崎 正雄〔成育小児歯科学分野・教授〕
・福岡歯科大学医科歯科総合病院
小児口腔外傷センター副長
平木 昭光〔口腔腫瘍学分野・教授〕

■採用

【2018年4月1日付】

岡野 慎士〔病態構造学分野・准教授〕
柏村 晴子〔成育小児歯科学分野・講師〕
宮園 真美〔看護大・地域・在宅看護部門・教授〕
村田 節子〔看護大・成人看護学分野・教授〕
大城 知子〔看護大・成人看護学分野・准教授〕
永田華千代〔看護大・母性看護学分野・准教授〕
倉成 由美〔看護大・精神看護学分野・講師〕
宮坂 啓子〔看護大・地域・在宅看護部門・講師〕

【2018年10月1日付】

河本 陽介〔医療統計学分野・講師〕

■新任客員教員

【2018年4月1日付】

前原 喜彦〔客員教授〕

朔 敬〔客員教授〕

■昇任

【2017年11月1日付】

八幡 信代〔眼科学分野・講師〕

【2017年12月1日付】

北河 憲雄〔機能構造学分野・講師〕

【2018年2月1日付】

松本 典祥〔歯科保存学分野・講師〕

【2018年4月1日付】

大城希美子〔歯周病学分野・講師〕

青木 久恵〔看護大・基礎看護学分野・教授〕

中島富有子〔看護大・精神看護学分野・教授〕

梶原 江美〔看護大・基礎看護学分野・准教授〕

三好 麻紀〔看護大・基礎看護学分野・講師〕

門司真由美〔看護大・基礎看護学分野・講師〕

町島希美絵〔看護大・高齢者看護学分野・講師〕

古野みはる〔短大・保健福祉学科・教授〕

前田 豊美〔短大・歯科衛生学科・講師〕

手嶋 直美〔医科歯科総合病院歯科衛生士部・歯科衛生士長〕

【2018年5月1日付】

山本 勝己〔口腔医療センター・准教授〕

■退任

【2017年11月7日ご逝去】

染谷 廣美〔福岡学園・評議員〕

■定年退職

【2018年3月31日付】

早川 浩〔生化学分野・教授〕

井手 孝行〔福岡学園・事務局長〕※

青木 潤吉〔施設課・課長〕※

松村 一裕〔口腔医療センター事務課・課長〕

※井手孝行事務局長は同事務局長（嘱託職員）、青木潤吉施設課長には同課長（嘱託職員）として2018年度もお願いしております。

■退職

【2018年3月31日付】

山崎 純〔分子機能制御学分野・教授〕

大倉 義文〔短大・保健福祉学科・教授〕

高瀬 文広〔短大・保健福祉学科・教授〕

安河内ひとみ

〔医科歯科総合病院歯科衛生士部・歯科衛生士長〕

【2018年9月30日付】

前田 豊美〔短大・歯科衛生学科・講師〕

福岡歯科大学平成31年度入試日程

区 分	願書受付期間	試 験 日	合格発表日	試験会場
一般入試 A 日程	2019年 1月4日（金）～1月30日（水）※1	2019年 2月3日（日）	2019年 2月6日（水） 午後5時	福岡歯科大学 東京試験場
センター試験利用入試Ⅰ期				
一般入試 B 日程	2019年 2月4日（月）～3月1日（金）	2019年 3月5日（火）	2019年 3月7日（木） 午後5時	福岡歯科大学
センター試験利用入試Ⅱ期				
AO入試Ⅱ期	2019年 3月4日（月）～3月18日（月）	2019年 3月21日（木・祝）	2019年 3月22日（金）	

※1 東京試験場希望者は1月28日（月）必着

〔問合せ先〕

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885（直通） FAX.092-801-0427

●ホームページ URL <https://www.fdcnet.ac.jp> ●E-mail nyushi@college.fdcnet.ac.jp

「健康まるごと福岡学園」 第44回田の歯科祭を終えて



学園祭実行委員会
委員長 白山 大希（4年）

はじめに、福岡歯科大学同窓会のみなさまをはじめとする様々な方面からのご支援により、天候にも恵まれ、大変賑やかなものとなりましたことを厚く御礼申し上げます。

私は、大学2年の時から3年間、田の歯科祭実行委員として、さらに昨年度は副実行委員長として活動を行ってきました。昨年度は、ほぼ実行委員長の指示のもと物事を進めていましたが、今年度は自分が指示する立場として実行委員をまとめ、様々な物事を進めていくという役割となりました。

今年度、実行委員長になった際は、自分にできるだろうかと不安になることもありましたが、同学年や後輩の実行委員の素晴らしい対応、昨年度まで実行委員として活動していた先輩方のお手伝いなどもあり、第44回田の歯科祭を無事終えることができました。運営に関わった方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、私は田の歯科祭をはじめとする「健康ま



学園祭本部



模擬店

るごと福岡学園」を地域の方々をはじめ、多くの人々に知ってもらい、ご来場していただきたいと思っています。私たち、田の歯科祭の実行委員も昨年度よりSNSを利用して、広報活動を行ってまいりました。しかしながら、私たちにやれる事、できる事は限られていると感じています。来年度以



地域ステージ企画



ビンゴ大会

降、福岡学園がより一丸となって「田の歯科祭」を多くの人に知ってもらい、多くの人に来場し、楽しんでいただきたいと思います。それによって福岡学園のさらなる発展につながるのではないかと考えています。

最後に、第44回田の歯科実行委員、学園教職員、地域みなさま、ご来場みなさま、ありがとうございました。



第44回 田の歯科祭実行委員

実行委員長 白山 大希

副実行委員長 後藤 瑞貴

実行委員 高木 拓也, 安部 珠緒, 片原 望美, 浦橋 空良, 池本梨央南, 大蔵 敦文,
鎌田修一郎, 益城 開斗, 松下 新, 福田 光, 中原 藍子, 宮崎 敦史

ラグビーと楕円球



ラグビー部 OB 会
会長 岩本 憲明（2期）

ラグビーは不思議なスポーツと思っている人が少なくない。なぜボールが楕円形に歪んでいるのか？どうして前方にパスをしてはいけないのか？そもそもスクラムって何？なんで、あんなに押し合い圧し合いするのか？たしかに、ラグビーには首を傾げなくなるルールが多い。スポーツという文化は単純な遊びが長い歴史のなかで合理化され、今日に到ったものである。したがって、あらゆるスポーツのルールには必ず理由がある。

かつてラグビーは、イギリスの町をあげて行われる豪快な遊びだった。それはストリートフットボール、マスフットボール、モブフットボールなどと呼ばれた。町の男たち全員が500人対500人といった2組に分かれ、一方のグループはボールを町はずれの教会まで、もう一方のグループは反対側の町はずれの大木まで運ぶことを争った。

そんな遊びが12世紀頃から行われたが、当時はゴムが発見されておらず、牛や豚の膀胱を膨らませてボールに用いた。その形は当然まん丸ではなく、現在のラグビーボールはゴムのなかった古い時代のボールの形状を真似たものといえる。

1,000人も男たちが1個のボールを奪い合うとなると、押し合い圧し合い、さらに殴り合い、もう



2018年6月1日 現役との新歓コンパ

大変な騒ぎとなる。その押し合い圧し合いを、整然と形にしたのが今日のスクラムというわけですが、押し合い圧し合いのなかからボールがポーンと飛び出し、運よく前方の目標地点（ゴール）近くにいた男の手に入ると、ゴールが決まってゲームが終わる（当時のルールでは1回のゴールでゲームが終了した）。

早くゲームが終わってはつまらない。そのうえ味方の集団を離れて敵のなかに潜り込むのは卑怯……ということからオフサイドのルールが生まれ、ボールよりも前方でプレイしたり、前方へパスを出すことが禁止されるようになった。

そんなふうによりルールが整えられてくるなかで、足で蹴ることに喜びを感じた男たちがサッカーをつくり、手も使いたいと思った男たちがラグビーをつくった、というわけです。では、なぜそんなに必死になってボールを奪い合うのか？

そのルールは古代メソポタミアまで遡る。

「丸いモノ」は太陽の象徴。男たちは太陽（すなわち世界を支配するモノ）を奪い合い、世界の支配者になろうとしたのだ。実際、古代メソポタミアでは「丸いモノ」（頭蓋骨など）を奪い合い、玉座まで運んだ者が王の位に就くこともあったという。

ケガなど恐れず烈しくぶつかり合ってボールを奪い合うのも世界の支配者になるためには当然、それ



九歯・九大歯・福歯大のOB、現役との親睦試合



九歯・九大歯・福歯大のOB、現役との親睦試合



第19回ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル福岡（明治通りをパレード）



第19回ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル福岡（オーストラリアのクラブとの試合）

がラグビーなのだ。

長くなりましたが、以上はスポーツライターの玉木正之氏の書跡からです。

大学時代に出会い、秋の夜長にラグビー番組を観ながら、魅了され続けている自分に、今も老いた体でラグビーを楽しむ集いに参加し続けています。「九州地区歯科大学ラグビー部 OB 親睦試合」、ことの始まりは恩師の一人、九州歯科大学出身の故 秦俊二先生の追悼試合です。福岡歯科大学矯正歯科講座に在籍され、学生時代からラグビーを通じ、お世話になりました。この平成14年の追悼試合を機に、翌年から九州歯科大学ラグビー部 OB 会と福岡歯科大学ラグビー部 OB 会との親睦試合を毎年開催し、その後九州大学歯学部ラグビー部 OB 会の参加を迎え、3大学の親睦試合と発展しました。現役のラグーも含め、毎年80名から100名規模で開催しています。また試合後、そのまま近くの焼き鳥屋でビールを片手に懇親会も魅力のひとつです。現役時代は互いに良きライバル、卒業後はラグビーを通じて熱い親睦を深めています。

2012年10月、世界の元トップラグーや熱狂的なラグー（参加資格35歳以上）が福岡にやってきました。2年に一度、世界23～24カ国のラグビー国の観光地で開催され、今回東南アジアで初めて、しかも日本は福岡で開催されました。「第19回ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル福岡」に、チーム名 AKD15（All Kyusyu Dentists 15）で九州歯科大学ラグビー部 OB 会・九州大学歯学部ラグビー部 OB 会・福岡歯科大学ラグビー部 OB 会の3校のチームを結成し、エントリーしました。大半の OB は、外国の選手と試合をした経験がなく、生涯の貴重な思い出のひとつとなったと思います。

参加者数は、九州歯科大学ラグビー部 OB 会の25名、九州大学歯学部ラグビー部 OB 会の10名、福岡歯科大学ラグビー部 OB 会の23名の計58名でした。

大会スケジュールは、10月28日（日）福岡市市役所前のふれあい広場の開会式に始まり、福岡市長、公財）日本ラグビーフットボール協会の森喜朗氏の挨拶終了後、アクロス前から福岡舞鶴公園までパレード。明治通りはソフトバンクが優勝したときのように歩行者天国となり、沿道の観戦者に手を振りながら行進して舞鶴公園へ向かいました。この時の行進は生涯2度とない経験です。

試合は10月29日（月）・31日（水）、11月2日（金）、試合会場は海の中道海浜公園大芝生広場、雁ノ巣レクリエーションセンター、さわやかスポーツ広場で行われました。11月3日（土）、マリンメッセ福岡のセミフォーマル姿でフェアウェルパーティを楽しみました。

次の開催地はアルゼンチンでした。

2019年ラグビーワールドカップが日本で開催されます。既に今年から、日本各地でワールドラグビーのトップリーグのチームが来日し、各地で日本のトップリーグとの試合を行っております。ファンならワクワクしているところです。ラグビーに興味がある方ならTVの中継や録画に見入ってしまう今日このごろです。

それにも増して、今年末に福岡歯科大学主催で第51回日本歯科大学総合体育大会冬季部門のラグビーフットボール大会が他の競技に先んじて、12月28・29日、福岡市内で開催されます。皆様、是非応援の程宜しくお願いいたします。

末尾になりますが、同窓生の皆様のご健康と益々のご活躍をご祈念申し上げます。

熊本地震—震度7の恐怖—



小楠歯科医院（熊本市）
宇治 保義（2期）

熊本地震は、震度7の激震が2度発生し、甚大な被害を及ぼしました。

1回目は、2016年4月14日、午後9時26分に発生。その時、私は近所のゴルフ練習場の2階の打席に立っていました。突然の震動で、一気に通路側の壁まで飛ばされ、何が起こったのか解らないまま、床に倒れていました。建物は大きく揺れていて、立ち上がることもできずにいると、同じ様に目の前の床に倒れていた若者が素早くスマホを手にして、「震度7です」と教えてくれました。初めて、とんでもない大きさの地震であったことを理解しました。揺れが続く中、天井のライトが消えたかと思うと、高いネットの最上部に連なる照明が、下の方から上に向かってバチバチと音をたてながら、次々と煙を残して消えていき、周囲は真っ暗な闇になりました。

翌日は、スタッフと共に散乱した診療室の後片付けに追われました。幸いなことに、建物・ユニット・レントゲン装置・CT等に損害はなかったものの、カルテをはじめ、棚にあったものはことごとく折り重なって床に落ちていました。夕方、作業が終わり、全員疲れて帰宅したのですが、この数時間後に1回目以上の更に激しい震度7の揺れに見舞われようとは想像もできませんでした。

2回目は4月16日、深夜に発生しました。余震も続いていたので、その夜は、いつでも外に逃げ出せるように、庭と扉一枚隔てた廊下に寝ていました。夜中の1時25分、地面ごと揺さぶられるような大きな震動が始まりました。長く揺れ続け、床に四つん這いになっているのがやっとで、立ち上がることもできませんでした。天井ごとライトが右に左に揺れて、壁はギシギシときしむ音をたてていました。窓の外からは、屋根瓦が次々とすべり落ちて、ガチャンガチャンとぶつかっては碎けていく音が聞こ

えてきました。延々と家は揺れていて、このままでは天井か壁が落ちてきて、潰されてしまうのではないかという恐怖を初めて感じました。同時に、建物が壊れる何らかの変化が起こった時は、迷わず外に飛び出すことだけを考えていました。

長い恐怖の震動がどうにか収まり、外に出てみると家の前の道路には、近所の多くの人達も家を逃れて出てきていました。それぞれに味わった怖い思いを口にしながら、行き場なく立ち尽くしている姿がそこにありました。

地震直後から1年間ぐらひは、家屋の解体、道路、橋、農地の復旧が続き、道は工事の大型車輛、重機であふれ、いつも渋滞していました。人々は避難所から仮設住宅へと移っていきました。

2年経った現在、少しずつ家屋の再建も進んできていますが、まだ多くの人々が仮設での生活を余儀なくされており、元の生活に戻るには多くの時間がかかりそうです。それでも、遠く離れた仮設や避難先から、バスや電車を乗り継ぎ、治療に来られる患者さんを思うと、この地域でこの人々とともに、診療に力を尽くしていきたいと思っています。



「女性歯科医師が本気で臨床を研鑽する場」 ～スタディグループ：W. D. C. (Women Dentists Club)～



歯科・林美穂医院（福岡市）
柳川 淳子（16期）

2007年に福岡天神の歯科・林美穂医院に勤務することになったのが私の W. D. C. (Women Dentists Club) に関わるきっかけとなりました。

WDC は、2009年4月25日、下川公一先生（北九州市開業・現 WDC 最高顧問）の「女性歯科医師が気兼ねなく勉強でき、技術の研鑽を積める環境を提供できないだろうか」という提案に私が勤務する歯科医院院長である林美穂先生が応える形で発足しました。その際、勤務したての右も左もわからない私を誘っていただき多くの福岡歯科大学の同窓生の先生方と共に入会させていただきました。

基本理念

WDC は、患者様のために歯科技術の研鑽を行うことを目的に全国の女性歯科医師だけで組織されたスタディグループです。

また、全国的な女性歯科医師のネットワークづくり、情報の共有化や後進の育成、臨床レベルの向上、女性歯科医師だからこそ関われる社会への貢献を目的に設立されました。

- ・患者様を第一に考えた医療を提供するため技術の研鑽を積むスタディグループであること
- ・会員一人一人が“利己ではなく利他の精神”をもって会にかかわること
- ・会員相互に思いやりの心をもつこと
- ・会員全員が発言できる会であること
- ・社会に貢献できる会であること

メンバー構成

メンバーは、会の名前が表すとおり“女性のみ”ですが、その他の制約、専門性はなく、色々な立場の先生方で構成されています。

特徴的な点として女性には結婚・出産・育児など

特有の環境変化があるためメンバー構成は柔軟で、延べ人数は200名を超えていますが、現在は150名ほどの先生方が活動中です。

主な活動内容

年1回総会を2日間にわたって行い、1日目は会員発表、総会、懇親会、2日目には外来講師による特別講演会を開催しております。また、全国的なネットワークとして西日本・東日本・関西と3支部を設け、会員発表、相互実習、症例相談、外来講師による講演など隔月で独自に支部会を行っています。

この会は、女性であれば他に条件はありません。もちろん年齢制限もなく、研修医の先生もいれば、大ベテランの先生もいます。そんな中、どの支部会においても垣根なく活発な意見交換がなされています。また、色々な方面で活躍されている先生方がいますので多くのアドバイスを聞くことができます。

私自身、矯正治療をメインに行っていますが、この会に参加することで矯正治療の重要性を改めて認識し、色々な角度から自分の診療を見直すことができます。

これからについて……

これからも女性ならではの環境の変化に対し、それを乗り越えて臨床を継続して行くことが困難な時もあると思いますが、そのブランクをお互いに励まし合える仲間、共に学ぶ環境の重要性を認識してできるだけ短期間に取り戻せるよう、女性歯科医師の価値向上への努力を続けていきたいと考えています。

また、発足10年を迎え、2019年5月19日に10周年記念講演会を行うことになりました。多くの先生方（もちろん男性の参加も大歓迎です!!）に参加していただき、今の女性歯科医師のパワーを実感していただければと思っています。



「2つの母校」



福岡医療短期大学
歯科衛生学科

講師 貴島 聡子 (26期)

平成30年の大阪北部地震、西日本豪雨や北海道地震に被災された皆様、同窓生およびご家族・ご親族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

私は福岡医療短期大学歯科衛生学科の貴島聡子と申します。平成11年福岡医療短期大学歯科衛生学科を1期生として卒業後、すぐに福岡歯科大学2年次へ編入学致しました。同卒業後は西新の水谷歯科クリニックに勤務させていただき、水谷睦先生・匡秀先生（6期）ご夫妻には大変お世話になりました。また、原田ファミリー歯科の原田実佳先生（19期）にも大変お世話になりました。その後、縁あって母校の福岡医療短期大学に助手として着任し、助教を経て現在の講師まで11年が経過しました。私と同じように歯科衛生学科から歯科大学に編入学し、歯科衛生士と歯科医師の資格を持つ同窓生はこれまでに4名います。

福岡医療短期大学では、大先輩の升井一朗教授をはじめ、力丸哲也教授、松尾忠行准教授、後藤加寿子准教授の4名が同窓の教員です。1年程前より水田理事長先生のご指導を賜り、博士の学位取得のため福岡歯科大学総合歯科学分野に専修生として所属し、廣藤卓雄教授のご指導のもと研究を開始いたしました。短大では講義や実習のほか、学務関係の業務が多く、加えて研究を行うことは正直大変なことではありますが、今を大切に、一步一步前に進むように自分を奮起させて取り組んでいます。

昨年11月に文部科学省『私立大学研究ブランディング事業』に、歯学系大学としては福岡歯科大学と福岡医療短期大学、岩手医科大学（医歯薬学合同）、東京歯科大学が選定されました。本事業では最長5年間、文部科学省の補助を受けて、特色ある研究を柱に大学・短大のブランド化を推進していきます。福岡医療短期大学は『口腔機能向上でイキイキ長寿

社会の実現一話そう・食べよう・いつまでも一』をタイトルに、口腔機能向上からの栄養改善、運動機能および社会資源創出に関する教育研究を基盤として、健康寿命の延伸につながる研究を推進します。私が所属する研究チームは、“口腔運動機能の維持向上”をテーマに「顎顔面骨格形態から口腔機能低下の予測」ならびに「口唇閉鎖力向上によるQOL改善」をテーマとして、升井教授・南助教とともに研究を行っております。今年7月7日（土）・14日（土）には、地域在住の65歳以上の健康高齢者44人を対象に、口腔機能・身体機能の合同計測会を短大の教員全員で実施しました。折りしも今年4月に「口腔機能低下症」が保険病名に収載されたばかりで、齲蝕、歯周病と歯の欠損のほかに「口腔機能」という新たな視点が追加されたことは、とてもタイムリーでした。この口腔機能低下症に対しては歯科衛生士がアプローチする検査や訓練も多いので、十分に理解していることが必要です。歯科衛生学科の講義・実習の中にオーラルフレイルや口腔機能低下症を早速取り入れ、学生教育をアップデートしていきたいと思います。

さらに、今年の春より、福歯大の同期（26期）卒の森永先生らと一緒に、『開業歯科医によるオーラルフレイルサポーターの養成を目指して』というテーマで研究グループを立ち上げました。この研究は短大のブランディング公募研究にも採択されています。高齢者がかかりつけ歯科医院で口腔機能検査を受け、早期にオーラルフレイルの予防に取り組むことによって、「口腔機能向上による健康長寿社会」に近づけることができます。本当に有り難いことに、福岡市歯科医師会長の神田先生を始め同窓の先生方にもご協力をいただき、研究を進めております。また、一昨年まで、本短大の2年次講義「キャリアデザイン」では、平日にも関わらずボランティアで講義に来てくださった同期卒の葉山先生、青木先生、吉田先生、竹中先生、新田先生、田代先生、豊田先生にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。誇れる同期の仲間がいるだけで私自身とても心強く思います。

最後に、福岡歯科大学同窓のご息女が毎年数名、短大歯科衛生学科に入学していただいています。短大も歯科大も私にとって大切な母校であり、歯科衛生士の後輩たちがいろいろな現場で輝いて活躍できるように、また、歯科衛生士の社会的地位の向上に幾らかでも寄与できるように、自分自身も一層努力して参りたいと思います。

「感謝」

中 四良（5期）

皆様におかれましては、ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびは「親子で頑張る同窓生」ということで原稿依頼がまいりました。長女（32期）の時に続いて2回目の執筆になりますが、ご容赦願います。

さておいて、長男雄平が今春第111回歯科医師国家試験に合格できましたことに、今まで支えてくださいました多くの先生方、そして本人の友人たちへ衷心より感謝申し上げます。本人の至らぬことで、大分足踏みをいたしました。ここまで心折れずにやり遂げたことは褒めてやりたいと思います。親ばかりではありますが、今後この足踏みの経験が、生かされることを切に願います。

最後に、長年同窓生たちを親の様に面倒を見ていただきました、学生課の青木敏明様へ改めて深謝申し上げます。

中 雄平（36期）

今春、周りの人々に支えられ、やっとのことで国家試験に合格することができました。皆様へ感謝申し上げます。

学生時代は、部活の主将や文化祭などの行事に参加することができまして、とても楽しい学生時代を過ごすことができました。大学時代はストレートで卒業できたものの、国家試験でかなりの足踏みをしました。浪人中は、ここまで長くかかるとは思ってもいなく、かなり嘗めた生活をしてたと今でも反省しています。研修医生活は半年が過ぎ、慣れてきたところですが、やはり今までの浪人生活に慣れ切っている体は、働くということについてきてはくれません。大したことをしているわけではありませんが、とにかくきついです。でも、とてもやりがいのある仕事だと思います。これからの人生、歯科医師として働くことに少しの恐れと楽しさがありとても楽しみです。最後に、やはり国試は一発で決めた方が楽です。これからは日々精進して頑張っていきたいです。



「父娘共々お世話になり有難うございました」

平田 一浩 (11期)

平成15年に『ニューソフィア』の卒業生トークに「卒後15年を振り返って」を投稿したのだが、今回更に15年、計30年が経ち、改めて時の流れの早さに唖然とする。久しぶりに読み返してみた。周囲の人達のお蔭で今日に至ったので、感謝の心を忘れずに、後輩の為に云云。結びに至っては「この投稿を機に、もう一度歯科医師として、一人の人間としての自分を見つめ直し、新たな一步を踏み出せたら云云…」(恥)。当時のそんな父親の見上げた志を知っていたかどうか全くわからない長女が、今年ようやく卒試、国試に受かりほっとしていた矢先の原稿依頼。娘にはこれを機に是非自分自身を見つめ直し、新歯科医師として、責任ある社会人として、しっかりとした一步を踏み出して欲しいと切に願う。さて私はと言えば、御託を並べず、娘に尊敬されずともせめて軽蔑されないよう地に足の着いた仕事を心がけていきたいと思う。

最後になりましたが、高橋学長はじめ諸先生方、苦しい時期に声をかけて励まして下さった青木さんをはじめ学生課の皆様方、7年間(笑)大変お世話になりました。有難うございました。

平田しおり (40期)

長い学生生活を終え、やっと今年の春、福岡歯科大学を卒業し、無事に歯科医師になることができました。

私は現在、有床義歯学分野にて指導医の川口先生をはじめ、医局の先生方のもとで研修をさせていただいております。後期からは院外先での研修になるため、前期で学んだことを活かし、さらに飛躍できたらと考えています。

きつい時に励まし合い支えてくれた友人、たくさんお世話になった先生方や先輩、どんなときも応援してくれて充実した学生生活を送らせてくれた家族。大勢の人たちへの感謝の気持ちを忘れず日々努力し、患者さんの気持ちに寄り添える歯科医師になれるよう精進して参りたいと思います。



昇格



平成30年 2 月 1 日

福岡歯科大学
口腔治療学講座
歯科保存学分野

講師 松 本 典 祥 (26期)

平成30年 2 月 1 日付で歯科保存学分野の講師に任命されました。これからも同講座で研鑽に励みたいと考えております。

同窓の先輩方をはじめ皆様方には、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



平成30年 4 月 1 日

福岡歯科大学
成長発達歯学講座
成育小児歯科学分野

講師 柏 村 晴 子 (23期)

平成30年 4 月 1 日付で成育小児歯科学分野の講師に採用されました。

成育小児歯科学の臨床・研究・教育に貢献できるよう、より一層精進していく所存です。

今後とも同窓の先輩方をはじめ皆様のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



平成30年 4 月 1 日

福岡歯科大学
口腔治療学講座
歯周病学分野

講師 大 城 希美子 (29期)

平成30年 4 月 1 日付で歯周病学分野講師に任命されました。平成13年入学以来、「人」に恵まれ続けております。戴いたお気持ちにお返しできるよう、愛する母校、恩義ある講座の発展のため努めて参ります。今後とも同窓の諸先生方をはじめ皆様方のご差配、ご督励を戴けますよう、宜しくお願い申し上げます。

昇格・称号者紹介



平成30年5月1日

福岡歯科大学
口腔医療センター

准教授 山 本 勝 己 (22期)

平成30年5月1日付で口腔医療センターの准教授に任命されました。本学口腔インプラント学で修学した口腔医学を基に、今後も患者様の健康維持に努めます。更なるご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

称 号



平成30年4月1日

福岡歯科大学
医科歯科総合病院
病院准教授
泉 喜和子 (22期)

平成30年4月1日付で病院准教授に任命されました。

日々邁進して口腔外科の診療に貢献し、専門分野である顎変形症の術者の育成に力を注ぎたいと存じます。浅学の身ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※称号：優れた医療技術・診断能力と顕著な臨床実績を有する医師・歯科医師に与えられるものです。

広報からのご案内

広報委員会では次年度同窓会誌『背振38号』に向けて企画中です。

つきましては、下記の通り募集しています。自薦他薦は問いませんので、是非ご一報下さい。

1. **学位取得者** 今まで取得された先生で、会誌に掲載されていない方、本学以外で取得された方等。
お知らせ頂きたい内容は下記の通りです。

①学位論文題目 ②取得年月日 ③学位専攻（所属・取得校）④学位番号（甲・乙別）⑤顔写真1枚

2. **巻頭フォト募集** 表紙の写真を募集しています。風景・植物・動物・抽象的な物、感動した物など何でも結構です。尚、その写真のコメントも一言お書き添え下さい。

3. **原稿募集** トーク、支部報告、OB会、個人の趣味・近況・旅行等、学会報告、結婚報告、開業報告等、何でも結構です。また、その原稿に因んだスナップ写真等も同封して頂ければ幸いです。
どしどしご応募下さい。（最後尾の原稿用紙をご利用下さい。）

※お送り頂いた写真はお返し致します。

連絡先 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学同窓会事務局まで

TEL/092-863-2966 FAX/092-863-2967 E-mail: dousoukai@cillege.fdcnet.ac.jp

~~~~~ 本学学位取得者（甲） ~~~~~



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
障害者歯科学分野

田 崎 園 子（35期）

博士（歯学）（甲第298号）

平成30年 3 月29日

学位論文題名

Th17 cells differentiated with mycelial membranes of *Candida albicans* prevent oral candidiasis

（*Candida albicans* 菌糸形細胞膜により分化した Th17細胞は口腔カンジダ症を予防する）



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野

緒 方 佳代子（35期）

博士（歯学）（甲第297号）

平成30年 3 月29日

学位論文題名

The crucial role of the TRPM7 kinase domain in the early stage of amelogenesis

（エナメル質形成初期における TRPM7キナーゼ機能の重要性）



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
口腔インプラント学分野

松 本 彩 子（35期）

博士（歯学）（甲第296号）

平成30年 3 月29日

学位論文題名

Degradation rate of DNA scaffolds and bone regeneration

（DNA スキャフォールドの溶解速度と骨再生）

## 学位取得者紹介

---



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
有床義歯学分野

馬場 浩乃 (35期)  
(旧姓 佐々木)

博士(歯学)(甲第291号)

平成30年3月10日

学位論文題名

Effect of Reinforcement on the Flexural Properties of Injection-Molded Thermoplastic Denture Base Resins

(射出成形型熱可塑性義歯床用材料の機械的性質に及ぼす補強材の影響)



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
矯正歯科学分野

松田 裕子 (34期)

博士(歯学)(甲第292号)

平成30年3月10日

学位論文題名

Effects of a Chemically Synthesized Leucine-Rich Amelogenin Peptide (csLRAP) on Chondrogenic and Osteogenic Cells.

(軟骨および骨形成細胞における化学合成ロイシンリッチアメロゲニンペプチドの効果について)



福岡歯科大学  
口腔治療学講座  
歯科保存学分野

中山 英明 (35期)

博士(歯学)(甲第293号)

平成30年3月10日

学位論文題名

Ochratoxin A, citrinin and deoxynivalenol decrease claudin-2 expression in mouse rectum CMT93-II cells



福岡歯科大学  
口腔・顎顔面外科学講座  
口腔外科学分野

森 紘一郎 (33期)

博士(歯学)(甲第294号)

平成30年3月10日

学位論文題名

Polymer-Coated Carbon Nanotubes as a Molecular Heater Platform for Hyperthermic Therapy



福岡歯科大学  
総合歯科学講座  
高齢者歯科学分野

山 口 真 広 (35期)

博士(歯学)(甲第295号)

平成30年 3 月10日

学位論文題名

Oxidative Stress-induced Interaction between Autophagy and Cellular Senescence in Human Keratinocytes

(酸化ストレス刺激によるヒト・ケラチノサイトでの細胞老化へのオートファジー関与)



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
障害者歯科学分野

高 良 憲 洋 (35期)

博士(歯学)(甲第290号)

平成30年 3 月10日

学位論文題名

Morphological study of tooth development in podoplanin-deficient mice

(ポドプラニン欠損マウスにおける歯の発達に関する形態学的研究)

本学学位取得者 (乙)



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
有床義歯学分野

戸 次 奈津子 (32期)  
(旧姓 今村)

博士(歯学)(乙第98号)

平成30年 3 月30日

学位論文題名

Effect of three metal priming agents on the bond strength of adhesive resin cement to Ag-Zn-Sn-In alloy and component metals.

(低融銀合金と構成金属に対する接着性レジンセメントの接着強さに及ぼす金属接着性プライマーの効果)



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
インプラント学分野  
医療法人徳治会吉永歯科医院

吉 永 修 (4 期)

博士(歯学)(乙第99号)

平成30年 9 月27日

学位論文題名

Zirconia Peri-Implant Bone Tissue Response to Occlusal Load

(咬合荷重下におけるジルコニアインプラント周囲骨組織の反応)

他大学学位取得者



九州大学  
インプラント  
義歯補綴学分野

鶴田 勝大 (35期)

博士 (歯学) (甲第776号)

平成30年 9 月25日

学位論文題名

The influence of implant-abutment connection  
on the screw loosening and microleakage  
(アバットメント連結様式の差異がアバットメ  
ントスクリューの緩みとマイクロギャップ部  
における微小漏洩に与える影響)



九州歯科大学  
小児歯科学講座

松田 容士子 (4期)

博士 (歯学) (乙第505号)

平成7年 3 月31日

学位論文題名

X-ray, Light Microscope, and Micromorpho-  
logical Study on the Formation of Bone Matrix in  
the Mandibular Condyle at the Growing Stage  
—Effect of High Protein Diet—  
(成長期下顎頭の骨基質形成に関する X 線的,  
光顕的および超微形態的研究  
—高タンパク食の影響—)

# 本部会務報告

## 平成29年度 定時評議員会・総会・特別講演会・ 高橋裕大学長就任祝賀懇親会

平成30年6月2日に平成29年度福岡歯科大学同窓会定時評議員会・総会・特別講演会・就任祝賀懇親会がANAクラウンホテルで開催された。評議員会開催の前に地区会長会議が行われ各地区の現況や大学または本部同窓会の現況等の情報共有や意見交換がなされた。

定刻となり勝俣副会長の開会の辞により評議員会が開会され、議長、副議長選出で学内同窓会都築評議員会が議長へ、福岡県西地区中田評議員会が副議長に選出され一言挨拶をされ評議員会が進行された。会長挨拶に先立ち、白本光鶴理事により物故会員に対する黙祷が厳かに行われ、宮口会長より挨拶がなされ、会務報告等の報告に続き議事へと進んだ。



今回、評議員会への提出議案は第1号議案 平成29年度福岡歯科大学同窓会事業報告並びに収支決算書（案）に承認を求める件から9議案でそれぞれの議案の説明がされ9議案すべてが可決承認された。続いて協議事項へと進み、西谷副会長の閉会の辞により評議員会が閉会した。

しばしの休憩を挟み中副会長の開会の辞により、定時総会が開会された。議長に宮崎県地区黒木先生、副議長に沖縄県地区松島先生が選出され、次第に沿って進行され、評議員会報告を都築評議員会議長により各議題が評議員会にて可決承認された旨が

報告され、議事に入り夫々説明がなされ、伊藤副会長の閉会の辞により定時総会が閉会された。

引き続いて特別講演会へと移り、今年の特別講演は福岡歯科大学長 高橋 裕先生による『福岡歯科大学創立50周年に向けて』、福岡学園理事長 水田祥代先生より『学校法人福岡学園・創立50周年に向けて』と題して、それぞれご講演いただいた。



高橋先生の講演は、福岡歯科大学同窓会から初めての学長に就任された事もあり、周囲の方々の期待も大きい中、その期待に応えるべく今出来るカリキュラム改訂や学生のモチベーションを上げる為の取り組みについて具体的にご講演され、聴講者も自然と学長のお考えに賛同している様でした。そして今後のご活躍に期待できる事を確信致しました。

水田先生からは、本年より建設予定の本学医科歯科総合病院の建替についてと、学園創立50周年の節目を迎えるに当たり、50周年記念事業の一環として、記念講堂の建設についてお話をされた。50周年記念講堂の建設に当たっては、記念募金募集の趣旨を説明され、新設病院と50周年記念講堂の完成予想図がプロジェクターで披露された。

特別講演会終了後、懇親会会場へ移り神田副会長の開会の辞により高橋 裕先生福岡歯科大学長就任祝賀懇親会が開会された。宮口会長による挨拶がなされ、来賓より福岡学園理事長 水田祥代先生、福





岡看護大学長 窪田恵子先生、福岡医療短期大学長 北村憲司先生にご祝辞を頂き、福岡学園常務理事 石川博之先生の乾杯の御発声により開宴となった。あちらこちらで久々に顔を合わせる同級生や先輩、後輩との談笑が聞こえ、同窓生ならではの温かい雰囲気の中時間が過ぎ、会場が一つになったところで、石田副会長から閉会の辞が述べられ、すべての日程が終了した。

(専務理事 持山達郎)

## 第65回全国歯科大学同窓・校友会懇話会報告

平成30年8月11日(土)午後12時30分より JR ホテルクレメント徳島において、「全国歯科大学同窓・校友会懇話会」が徳島大学歯学部同窓会の主催で開催されました。本同窓会からは、野口副会長、持山専務理事と私の3名が出席いたしました。

懇話会の来賓としては、日本歯科医師会牧野利彦副会長、日本歯科医師連盟高橋英登会長、徳島県歯科医師会森秀司会長、徳島大学歯学部長河野文昭先生がご臨席され、ご挨拶をされました。

その後の講演のテーマは、「大規模災害時の対応について」でした。講師は、徳島大学大学院医歯薬学研究部法医学分野教授の西村明儒先生で、演題は「大規模災害時における死体検案活動について」というご講演をいただきました。この講演の一か月前には西日本豪雨による大規模災害があり、さらにも後も台風や地震による未曾有の災害が次々と発生

しています。時宜を得た大変有意義なお話で、また今後予想されるであろう南海トラフ大地震に向けた取り組みに関しても説明がありました。近年はDNA検査法が急速に進歩し、同時に大幅なコスト削減がなされており、現在では日常的にDNA検査法が個人識別に用いられてきていますが、様々な理由から歯科治療痕からの個人識別は欠かせず、死体検案活動における歯科医師の役割は大変重要であるとのことでした。

また、徳島大学から各大学同窓会へ依頼していた「大規模災害時の対応について」アンケート集計結果概要の報告がありました。今後、この詳細は冊子としてまとめ、各同窓会へ送付するとのことでした。今後、本同窓会の大規模災害に対する対応、被災会員への支援に関する参考資料とさせていただきますと思います。

活発な質疑応答の後、各大学からの報告があり、最後に協議を行い閉会となりました。次期当番校は長崎大学歯学部同窓会で平成31年11月9日に長崎市で開催されることとなりました。

懇話会終了後、会場を移して盛大に懇親会が行われ、各大学同窓会の先生方と、様々な意見交換を行いました。



その後、徳島大学歯学部同窓会の特別な計らいで、「阿波おどり」の前夜祭である「選抜阿波踊り大会前夜祭」を観覧させていただきました。

結びになりましたが、徳島県でご活躍されている本同窓会野口圭司先生(2期)には、徳島の夜を存分に楽しませていただきました。本当にありがとうございました。誌面を借りて、深謝申し上げます。

(副会長 高嶺明彦)

## 平成29年度九州5大学歯学部 同窓会連絡協議会

平成30年2月10日(土)、鹿児島県歯科医師会館において、平成29年度九州5大学歯学部同窓会連絡協議会が開催された。当会からは、宮口会長、神田副会長、持山専務理事、小柳進祐常務理事、要鹿児島県同窓会長の5名が参加した。



鹿児島大学歯学部同窓会  
村上会長挨拶

今回の九州5大学歯学部同窓会連絡協議会は、「同窓会会員減少を見据えた今後の同窓会事業について」をテーマに、各大学同窓会がどのような対策を講じているのかを協議した。

それぞれの大学同窓会から、学術事業、若手会員の取り込み、女性会員への事業、大学への研究助成、学生に対する事業、周年事業などの取り組みへの報告が行われ、それに対する協議が行われた。

当会からは、同窓会会誌「背振」、同窓会通信「季節風」、学術案内資料を用い、学術事業、広報事業、各種会務、学術助成、対外的事業、SNSを用いた情報発信について説明を行った。

毎年年度末に行われているこの協議会も、九州大学、九州歯科大学、福岡歯科大学で行われていた3大学の協議会から、長崎大学、鹿児島大学が加わった5大学の協議会に変わり、10年が経過した。各大学同窓会が取り込んでいる事業等は若干異なるもの



会議の様子

の、その方向性は近く、色々な情報を共有できる協議会に成長してきたように思われる。今後とも、より一層の協力体制を取ることが出来ればと考える。

(常務理事 小柳進祐)



集合写真

## 第34回全国歯科大学同窓会・ 校友会学術担当者連絡会

平成30年8月5日(日)、日本歯科大学校友会が主管し第34回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会が、日本歯科医師会館大会議室で開催された。

参加校は26校で76名の参加で、本大学からは枡と重松の2名で参加した。

今回は日歯生涯研修事業が今までと変わりましたので、その背景も含めて日本歯科医師会常務理事の小林慶太先生に「日本歯科医師会の学術事業の目指すもの～歯科医師生涯研修と専門医制～」をテーマで講演して頂いた。

日歯生涯研修事業の方向性の中で今の日歯生涯研修事業について、そして生涯研修の状況の話があり、これから事業として目指すことについて、同窓会・校友会学術事業との連携も含めて話された。もう一つのテーマである専門医制の展望のなかでは専門医制の目的、制度設計の概略、日本歯科専門



医機構等の話があった。

講演2では増え続ける女性歯科医師の抱える問題について、日本歯科医師会理事の佐藤真奈美先生に「女性歯科医師の活躍促進のために」をテーマで講演して頂いた。わが国における男女格差の問題から、日本歯科医師会をはじめ厚生労働省や各方面の取り組みについて話され、女性歯科医師活躍促進のためには意識改革が重要であるとの事であった。

その後、会場をアルカディア市ヶ谷に移し、懇親会が開催された。

1日での開催であったが充実した連絡会であった。

(学術常務理事 粉 浩一)



の中で必然的に生じるデータ運用というものが、歯科医師と歯科技工士の関わりをどのように変えていくのか、それぞれの立場からご講演頂きました。また今回、受講者の方に実際にデジタル印象採得を体験していただけるよう、Sirona 社と 3 M 社、それぞれの口腔内スキャナーの実機を使用したハンズオンも併催させて頂きました。

日常臨床・技工レベルでデジタルワークフローが深く定着している両先生の着眼は大変に鋭く、実態に即したものでありながら、デジタルデンティストリー未経験者であってもイメージが膨らみやすい、素晴らしいプレゼンテーションをご提示頂いたおかげで、受講者の方々は皆様熱心に聴講と質問をされ、昼食時間が予定より短くなってしまう一幕もありました。デジタル印象採得法といいますと、高額な初期投資や、印象の精度、既存の技術と異なる運用面など、未知の領域・不安材料に対する思いばかりが先行して、導入を渋られる先生方もいらっしゃるかもしれませんが、しかしながら、従来の方法とは異なり中断・再開が可能なため、診療の合間の僅かな空き時間を印象採得のために活用できたり、印象材、石膏、咬合採得材といった産業廃棄物の減少に繋がるなど、技術的な面以外のメリットも数多く存在することを、両先生のご講演から学ぶことができました。

既に口腔内スキャナーを活用されている、あるいは今後導入を検討されている、いずれの先生方にとりまして大変有意義なセミナーであったことをご報告させていただきます。

(学術理事 津江文武)

## 学術事業報告

### ●福岡歯科大学同窓会主催第35回臨床セミナー デジタル印象の現在の到達点 ーデジタルでできること気をつけることー

日頃より福岡歯科大学同窓会に多くのご支援を賜り、誠に有り難うございます。

去る平成30年2月4日、福岡歯科大学医科歯科総合病院第2総合診療室 CAD/CAM 実習室におきまして、デジタル印象採得法をテーマとした臨床セミナーを開催致しました。講師に福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野臨床教授で松永歯科クリニック院長の松永興昌先生と、福岡歯科大学医科歯科総合病院中央技工室歯科技工士の一志恒太先生のお二人をお招きし、最新のデジタルデンティストリーの状況や現在の口腔内スキャナーの有用性や問題点、加えて、臨床・技工操作のデジタル化の潮流



## ●福岡歯科大学同窓会主催第30回学術講演会 2018年度臨床スキルアップセミナー

平素より福岡歯科大学同窓会活動にご協力ご理解を賜り誠に有難うございます。

今年度の学術講演会は、平成30年3月4日、福岡県歯科医師会館大ホールにて「現代の咬合安定を探る」をメインテーマに開催いたしました。



午前は「有床義歯補綴治療の将来を探る」をテーマに福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野都築尊准教授に「咬合安定を目指



した治療計画」と題して基調講演を、医療法人井之上会 篠栗病院歯科医長 鈴木宏樹先生に「有床義歯

の安定は咬合から～高齢者にとっての咬合安定とは～」、八女市開業のおおくま歯科医院院長 大熊一徳先生に「私の総義歯臨床への取り組み」と題して、それぞれの立場からご講演頂きました。午後は「天然歯保存の可能性を探る」をテーマに日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第一講座小出馨教授に「咬合こそ天然歯保存の残るカギ」と題してご講演いただき質疑応答は定刻を過ぎても行われ盛會に終わり、大変有意義な講演会となりました。



また、2013年度より、日常臨床で重要なテーマについて福岡歯科大学講座、同窓開業医、他大学開業医の先生から最新の情報を提供していただき、皆様の臨床に役立つ内容の「臨床スキルアップセミナー」を新しく企画し5年になりました。今年度からは福岡歯科医療短期大学歯科衛生学科とコラボして年3回開催から4回にセミナー回数を増やしました。



2018年度、第1回セミナーは、平成30年6月28日（木）「保存（マイクロスコープ）」をテーマに開催いたしました。講師陣は、あおき歯科クリニック院長 青木隆宜先生「マイクロスコープの有効利用について」、はやま歯科医院院長 葉山揚介先生「歯を救う～MTAを用いたアプローチ～」溝上歯科学研都市クリニック院長、溝上宗久先生「歯周外科治療において臨床精度を向上させるために」と題して講演して頂きマイクロスコープを治療のみならず患者とのインフォームドコンセント、スタッフ教育に活用してエンドからペリオ治療までの内容で大変好評でした。



第2回セミナーは、平成30年8月23日（木）「矯正」をテーマに福岡歯科大学成長発達歯学講座矯正歯科学分野教授、玉置幸雄先生「矯正歯科と歯根吸収」について貴重な情報を講演頂きました。歯科・林美穂医院院長、林美穂先生と勤務の柳川淳子先生に「咬合治療における矯正治療の重要性」について顎関節症患者の矯正治療にどう対応するか講演して頂き、咬合治療の重要性を再認識できた素晴らしい



内容でした。

第3回セミナーは平成30年10月25日（木）「インプラント」をテーマに福岡歯科大学咬合修復学講座 口腔インプラント学分野藤崎誠一先生、高橋圭子先生に「インプラント治療におけるデジタル技術の応用」、おぎの歯科医院院長 荻野真介に「インプラント治療を安全安心なものにするために～デジタルソリューション～」、ばば歯科クリニック院長 馬場正英先生に「インプラント治療の骨造成の工夫」と題して講演して頂きインプラント治療についてどう向き合うか適応症と問題点を考察した最新の内容で大変参考になりました。



第4回セミナーは平成31年1月24日（木）「歯科医師、歯科衛生士がともに輝ける様」をテーマに福岡医療短期大学歯科衛生学科教授の升井一朗先生に「口腔機能でイキイキ長寿をめざして」、福岡医療短期大学歯科衛生学科教授堀部晴美先生に「地域で果たす歯科衛生士の役割」、歯科医師・ライフセラピスト柴原由美子先生に「院内コミュニケーションがうまくいく秘訣」の演題で講演予定です。同窓の皆様是非スタッフお誘いのうえ参加いただきますようお願いいたします。

今後も学術活動を通じて多様な時代の変遷に適応し進化をしながら、皆様にさらなる充実した企画を提案して参りますので、より多くのご参加をお願い申し上げます。今後とも同窓各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。

（学術常務理事 葛西秀夫）

## 自然災害見舞金のお礼

平成30年は、地震や異常気象などによる天災が多数発生しました。これにより被害を受けられました同窓生の皆様には、心より御見舞い申し上げます。

本部同窓会では、大阪府北部で6月18日に発生した地震、広島県での7月5日から6日にかけての豪雨災害により被害に遭われた先生方への支援を目的として御見舞い金を募りました。

お陰をもちまして、皆様よりお送りして頂いた御見舞い金の合計金額が2,533,000円となりましたことを報告致します。多くの先生方、支部より御協力を頂き誠に有り難うございました。皆様のお気持ちは、被害に遭われた地区の同窓生の支えになることと思います。

御見舞い金は、近畿地区同窓会と広島県同窓会に協議して頂き、近畿に1,000,000円、広島に1,531,272円に分配してお送りしました。（各振込手数料864円）また、大阪地区4名、広島地区2名の甚大な被害に遭われた先生方には、同窓会規定により見舞金2万円を其々送らせて頂きました。

下記に御協力頂きました先生方、支部の御名前と金額を記載致しました。ご参照ください。

今年も残りわずかとなりました。皆様が無事に新年を迎えられますようにお祈りいたします。

今回は、御協力頂き誠に有り難うございました。

（常務理事 北村勝文）

## 同窓会の皆様へ御礼と災害後の現状報告

この度の大阪北部地震、西日本を中心とした豪雨災害により被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。一日も早い復興と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

平成30年7月に発生いたしました西日本豪雨災害におきましては、各都道府県同窓会や大勢の同窓生の方より心温まる御支援と多額の義援金を頂きました。あの日からすでに時も経ちましたが、いまだ生活の再建が出来てない方も多くいらっしゃいます。広島県内での同窓生の被害は、瀬戸内沿岸に住む数多くの先生方に発生しておりますが、中でも特に被害の大きかった2人の方に義援金を配分させていただきました。災害から2か月余り経過した9月中旬には、2人とも診療を再開されたと聞いています。診療は再開したものの機材の整備は不十分で、避難された患者様も多く、日常に戻るにはまだまだ時間がかかるようです。

義援金をいただいた方々のお名前を拝見すると、随分お若い先生方からもご協力をいただき恐縮しております。皆様の応援に答えれるよう頂戴したおこころごしは大切に使用させていただきます。ご心配をいただきありがとうございます。広島県同窓会会長として厚くお礼申し上げます。

(広島県同窓会会長 村上誠一)

### 同窓会の皆様への感謝とお礼

同窓会の皆様、ご無沙汰しております。6月18日の大阪北部地震、7月5日の西日本豪雨土砂災害と福岡歯科大学同窓会の会員で被害に遭われた先生方には心よりお見舞い申し上げます。

被害状況の収集を近畿の方が時期的に早かったので、やってくれと連絡があり、広島の前会長や、中国地区ブロック長の西谷副会長に協力いただき、被害状況を報告しましたところ、見舞金を集めるのことに、広報誌に載せるだけではなかなか集まらず、各地区の同窓会会長には見舞金を集めるのに、ご協力いただきありがとうございました。

250万円と言うたくさんの寄付をしていただき感謝しております。金額的には被害に遭われた先生方には決して満足する額ではないと思いますが、歯科医師会やスタディグループなど、他の団体で先に何回もの寄付をされている同窓の先生にとってはもういいやと思われるものだと思います。ただ直接、同窓の被害に遭われた先生方に渡せるお金

です。他の同窓会ではここまでされていません。宮口会長も「うちの同窓生も捨てたもんじゃない」と喜んでおりましたが、私も同感です。今回は残念ながら同窓会未入会の先生方には、分配できませんでしたので、何かの機会に未入会の先生方に同窓会のすばらしさを伝えられればと思います。

近畿で頂いたお見舞金は慎重審議の上、被害に遭われた先生方に有効に使わせていただきたいと思います。たくさんのお見舞金を頂き、大阪府同窓会長として厚くお礼申し上げます。

(大阪府同窓会会長 石田哲也)

### 【都道府県同窓会寄付金一覧】

|      |                  |      |             |
|------|------------------|------|-------------|
| 関東   | ¥ 50,000         |      |             |
| 京・滋  | ¥ 20,000 (京都/滋賀) |      |             |
| 大阪府  | ¥100,000         | 和歌山県 | ¥ 30,000    |
| 島根県  | ¥ 50,000         | 広島県  | ¥100,000    |
| 徳島県  | ¥ 50,000         | 愛媛県  | ¥100,000    |
| 高知県  | ¥ 50,000         | 福岡県北 | ¥100,000    |
| 福岡県東 | ¥100,000         | 福岡県西 | ¥100,000    |
| 福岡県南 | ¥100,000         | 大分県  | ¥100,000    |
| 佐賀県  | ¥ 50,000         | 長崎県  | ¥100,000    |
| 熊本県  | ¥100,000         | 宮崎県  | ¥100,000    |
| 鹿児島県 | ¥ 50,000         | 沖縄県  | ¥ 50,000    |
|      |                  | 20件  | ¥1,500,000- |

### 【同窓生寄付者ご芳名】

(敬称略)

|            |         |            |         |
|------------|---------|------------|---------|
| 宮口 厳 (1期)  | ¥30,000 | 六人部崇一 (1期) | ¥ 9,000 |
| 立野 豊 (1期)  | ¥30,000 | 臼杵 辰雄 (1期) | ¥ 9,000 |
| 川鍋 正敏 (2期) | ¥ 3,000 | 白本 光七 (2期) | ¥15,000 |
| 武井 俊哉 (2期) | ¥10,000 | 宇治 保義 (2期) | ¥30,000 |
| 原 文夫 (2期)  | ¥ 6,000 | 諸隈 和文 (2期) | ¥15,000 |
| 鬼塚 友文 (3期) | ¥ 9,000 | 木村 孝一 (3期) | ¥30,000 |
| 高橋 裕 (3期)  | ¥30,000 | 粉 浩一 (3期)  | ¥ 3,000 |
| 佐藤 毅 (3期)  | ¥ 3,000 | 荒木 浩一 (4期) | ¥ 9,000 |
| 犬束 美尚 (4期) | ¥ 3,000 | 鴨川 卓也 (4期) | ¥ 6,000 |
| 神田 晋爾 (4期) | ¥16,000 | 武末 和貴 (4期) | ¥ 6,000 |
| 吉永 修 (4期)  | ¥90,000 | 秋本 啓治 (5期) | ¥10,000 |
| 伊藤 明彦 (5期) | ¥90,000 | 中 四良 (5期)  | ¥30,000 |

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 角田 隆 (5期) ￥30,000   | 花田 憲敬 (6期) ￥ 3,000  |
| 高嶺 明彦 (6期) ￥10,000  | 松尾留美子 (7期) ￥30,000  |
| 村上 誠一 (7期) ￥30,000  | 比嘉奈津美 (8期) ￥15,000  |
| 古寺 伸寛 (8期) ￥ 9,000  | 大塚 秀一 (9期) ￥ 3,000  |
| 大野 元 (9期) ￥30,000   | 楠本 俊司 (9期) ￥ 9,000  |
| 西谷 展 (9期) ￥ 9,000   | 安光 千昭 (9期) ￥ 3,000  |
| 岡部 知剛 (10期) ￥15,000 | 粉 泰生 (11期) ￥ 3,000  |
| 荒瀬 陽一 (12期) ￥15,000 | 築山 卓 (12期) ￥21,000  |
| 中岡 俊智 (12期) ￥30,000 | 林 昭宏 (12期) ￥ 9,000  |
| 内田 憲治 (13期) ￥ 6,000 | 中田 宏 (13期) ￥ 3,000  |
| 野口 芳彰 (13期) ￥10,000 | 持山 達郎 (13期) ￥30,000 |
| 梁 瑞峰 (13期) ￥ 3,000  | 秋本 光子 (15期) ￥10,000 |
| 中村比路江 (15期) ￥ 6,000 | 高山 義之 (15期) ￥15,000 |
| 石本 圭 (16期) ￥10,000  | 松永 興昌 (16期) ￥ 6,000 |
| 大塚 修 (17期) ￥ 3,000  | 高水間 奨 (18期) ￥30,000 |
| 坂本真由美 (18期) ￥ 9,000 | 水野 尊文 (18期) ￥ 3,000 |
| 三野原一徳 (19期) ￥ 3,000 | 大蔵 好治 (20期) ￥ 3,000 |
| 河野 宏明 (21期) ￥ 3,000 | 東 義隆 (21期) ￥30,000  |
| 古賀めぐみ (23期) ￥ 3,000 | 山田 歩 (24期) ￥30,000  |
| 平塩 清滋 (24期) ￥ 9,000 | 貴島 聡子 (26期) ￥ 3,000 |
| 樋口 瑞奈 (28期) ￥ 3,000 | 今泉 亮 (29期) ￥ 3,000  |
| 山本 茜 (29期) ￥ 3,000  | 玉置 華香 (31期) ￥ 3,000 |
| 児玉沙央理 (34期) ￥ 3,000 | 児玉 彩 (35期) ￥ 3,000  |
| 新田 靖治 (38期) ￥ 3,000 | 藤川 夏恵 (38期) ￥ 6,000 |
| 渡邊 里紗 (38期) ￥ 9,000 | 都合 晋司 (39期) ￥ 3,000 |

74名 ￥1,033,000-

※「ご芳名」については振込名に記載されたもので作成しております (平成30年10月9日までの入金確認分)。万が一お名前がもれている等の不備やお気付きの点等ございましたら、誠に恐縮ではございますが、事務局までご連絡ください。

## 会計からのお願い

福岡歯科大学同窓会は昭和54年、第1期生の卒業と同時に設立され、本年度の第40期卒業生を含め、同窓生は総勢4,438名となります。本同窓会では会員の福祉増進と会員相互の親睦、母校への貢献を目的に活動続けております。その他にも記念事業の開催、震災に被災した同窓生に対する義援金の援助などを行っております。

会費は入会金3万円、年会費1万円となっておりますが、過去3年間の同窓会費未納が続いた場合は、自動的に非会員扱いとなり、刊行物等の発送も停止されます。ただし過去の会費の未納があっても、再び本年会費を納入することで、正会員と認められ刊行物を発送します。

入会金を含む43万円をお支払いいただいた会員は終身会員 (会費は払わなくても永久的な会員ですので刊行物などはうけとれます) となります。

皆様、出費多難な折、誠に恐縮ではございますが、年会費1万円を滞りなくお支払いくださいますようお願い申し上げます。

(副会長 馬場篤子)

## ご逝去のお知らせ

[大学関係]

副田 博之先生 (享年83、前 口腔生理学講座教授)

2018年11月3日

[同窓生]

大殿 純央先生 (20期、福岡県) 2018年8月24日

富屋 栄祐先生 (5期、熊本県) 2018年11月24日

# 第16期福岡歯科大学同窓会本部役員

平成29年 4 月 1 日～平成31年 3 月31日

| 役 職                | 氏 名<br>E-Mail                              | 期  | 地 区          | 医 院                          | 勤務（開業）先住所                                          | tel          | fax          |
|--------------------|--------------------------------------------|----|--------------|------------------------------|----------------------------------------------------|--------------|--------------|
| 名 誉 会 長            | 高 橋 裕<br>ytakaha@college.fdcnet.ac.jp      | 3  | 学 内<br>(福岡北) | 福岡歯科大学 学長                    | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                         | 092-801-0411 |              |
| 会 長                | 宮 口 嚴<br>miyaguchi1953@hotmail.co.jp       | 1  | 長 崎          | 宮 口 歯 科 医 院                  | 852-8154 長崎県長崎市住吉町11-20                            | 095-849-2238 | 095-849-2389 |
| 副 会 長<br>(総合対策)    | 寺 尾 隆 治<br>t9154@bronze.ocn.ne.jp          | 1  | 佐 賀          | 寺 尾 歯 科 医 院                  | 849-1411 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲50-3                       | 0954-66-2142 | 0954-66-5422 |
| 副 会 長<br>(総合対策)    | 長 尾 博 通<br>h1127naga@ybb.ne.jp             | 1  | 大 分          | 長 尾 歯 科                      | 879-4403 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足279                          | 0973-72-7122 | 0973-72-3613 |
| 副 会 長<br>(総合対策)    | 勝 俣 辰 也<br>can92320@pop02.odn.ne.jp        | 1  | 福岡西          | かつまた歯科小児歯科医院                 | 813-0041 福岡県福岡市東区水谷1-6-15                          | 092-683-1011 | 092-683-1112 |
| 副 会 長<br>(福祉厚生)    | 神 田 晋 爾<br>ksinj58119@car.ocn.ne.jp        | 4  | 福岡西          | 神 田 歯 科 医 院                  | 819-0006 福岡県福岡市西区姪浜駅南1-6-22                        | 092-882-5255 | 092-882-7059 |
| 副 会 長<br>(総合対策)    | 高 嶺 明 彦<br>aakihiko@takaminedc.jp          | 6  | 沖 縄          |                              | 810-0014 福岡県福岡市中央区平尾3丁目30-26<br>ザ・パークハウス平尾浄水通り301号 |              |              |
| 副 会 長<br>(広 報)     | 武 井 俊 哉<br>takeid.c.2009@gol.com           | 2  | 福岡西          | 武 井 歯 科 医 院                  | 813-0012 福岡県福岡市東区香椎駅東4-26-10                       | 092-662-7132 | 092-683-1486 |
| 副 会 長<br>(学 術)     | 岩 本 憲 明<br>izakido7@chive.ocn.ne.jp        | 2  | 福岡西          | 医) 社団プラタナス会<br>いざき 歯 科 医 院   | 810-0067 福岡県福岡市中央区伊崎3-13                           | 092-725-2626 | 092-725-3287 |
| 副 会 長<br>(福祉厚生)    | 水 谷 匡 秀<br>mizutani.m6480@spice.ocn.ne.jp  | 6  | 福岡西          | みずたに 歯 科 医 院                 | 819-1314 福岡県糸島市志摩師吉131-43                          | 092-327-2342 | 092-327-2342 |
| 副 会 長<br>(会 計)     | 馬 場 篤 子<br>babaatsu@college.fdcnet.ac.jp   | 12 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 成長発達歯学<br>講座成育小児歯科学分野 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                         | 092-801-0411 | 092-801-0692 |
| 副 会 長<br>(組 織)     | 野 口 芳 彰<br>noguhi.d.c@outlook.jp           | 13 | 香 川          | 野 口 歯 科 医 院                  | 768-0040 香川県観音寺市柞田町乙1947-1                         | 0875-25-3900 | 0875-25-1888 |
| 副 会 長<br>(中 部)     | 伊 藤 恒 一<br>daiichi-shika@hb.tpl.jp         | 2  | 中 部          | 中 津 第 一 歯 科 医 院              | 508-0032 岐阜県中津川市栄町4-26                             | 0573-66-1578 | 0573-66-1578 |
| 副 会 長<br>(近 畿)     | 石 田 哲 也<br>ido4180@nike.eonet.ne.jp        | 9  | 大 阪          | 石 田 歯 科 医 院                  | 583-0991 大阪府南河内郡太子町大字春日1726-1                      | 0721-98-4180 | 0721-98-4401 |
| 副 会 長<br>(中 国)     | 西 谷 展<br>nob-nish@bd6.so-net.ne.jp         | 9  | 広 島          | に し や 歯 科 医 院                | 720-0056 広島県福山市本町1-10                              | 084-928-4545 | 084-928-4891 |
| 副 会 長<br>(九 州)     | 山 田 道 男<br>michi_yama_1957@ybb.ne.jp       | 6  | 大 分          | 高 城 や ま だ 歯 科                | 870-0155 大分県大分市高城南町11-5                            | 097-552-7682 | 097-552-7682 |
| 副 会 長<br>(福岡東)     | 杉 本 直 樹                                    | 7  | 福岡東          | 杉 本 歯 科 医 院                  | 824-0058 福岡県行橋市長木445-1                             | 0930-24-4658 | 0930-24-4658 |
| 副 会 長<br>(福岡西)     | 中 四 良<br>s-nakado@jif7.so-net.ne.jp        | 5  | 福岡西          | 医) 中 歯 科 医 院                 | 814-0022 福岡県福岡市早良区原8-17-3                          | 092-866-0418 | 092-866-0417 |
| 副 会 長<br>(福岡南)     | 岡 浩 司<br>okadentalclinic@topaz.plala.or.jp | 7  | 福岡南          | 岡 歯 科 医 院                    | 830-0013 福岡県久留米市櫛原町124-8                           | 0942-35-1184 | 0942-35-1190 |
| 副 会 長<br>(福岡北)     | 浅 尾 武<br>tekeado@yahoo.co.jp               | 10 | 福岡北          | 浅 尾 歯 科 医 院                  | 803-0831 福岡県北九州市小倉北区日明2-15-7                       | 093-561-3169 | 093-561-3169 |
| 専 務 理 事<br>(総 括)   | 持 山 達 郎<br>mochitatsu@coffee.ocn.ne.jp     | 13 | 福岡西          | 持 山 歯 科 医 院                  | 810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-3-3                          | 092-712-3900 | 092-716-0389 |
| 常 務 理 事<br>(総 務)   | 石 本 圭<br>keishika2018@gmail.com            | 16 | 福岡北          | 医) RINKY<br>いしもと圭 歯 科 医 院    | 819-0167 福岡県福岡市西区今宿3-27-10                         | 092-519-1738 |              |
| 常 務 理 事<br>(総 務)   | 稲 井 哲 郎<br>inaidental.171.bbq.jp           | 16 | 福岡西          | 稲 井 歯 科 医 院                  | 819-1123 福岡県糸島市神在489-76                            | 092-322-9771 | 092-322-9772 |
| 理 事<br>(福祉厚生)      | 北 村 勝 文<br>kitamuraadc@yahoo.co.jp         | 9  | 福岡西          | きたむら 歯 科 医 院                 | 819-1138 福岡県糸島市前原駅南2丁目12-1                         | 092-322-3588 | 092-322-3588 |
| 常 務 理 事<br>(組 織)   | 高 山 義 之<br>yoshi3287@yahoo.co.jp           | 15 | 福岡西          | アイランドシティデン<br>タル ク リ ニ ッ ク   | 813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉3-2-5-2F                      | 092-662-4618 | 092-662-4613 |
| 常 務 理 事<br>(広 報)   | 白 本 光 七<br>shiromoto1953@ybb.ne.jp         | 2  | 福岡西          | 医) 光仁会 白本歯科医院                | 811-0204 福岡県福岡市東区奈多3-3-37                          | 092-607-7554 | 092-607-7554 |
| 常 務 理 事<br>(広 報)   | 劉 中 憲<br>ryuchuken@yahoo.co.jp             | 14 | 福岡西          | パンダ小児歯科医院                    | 813-0001 福岡県福岡市東区唐原7-1-3エスぺランサ1F                   | 092-673-1180 | 092-403-6300 |
| 常 務 理 事<br>(学 術)   | 粉 浩 一<br>hegi@drive.ocn.ne.jp              | 3  | 福岡西          | へ ぎ 歯 科 医 院                  | 810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-14-16 三栄ビル6F                 | 092-741-8212 | 092-741-8212 |
| 常 務 理 事<br>(学 術)   | 葛 西 秀 夫<br>info@kasai-dental.com           | 6  | 福岡西          | 医) かさい歯科医院                   | 812-0882 福岡県福岡市博多区麦野1-29-8                         | 092-581-0796 | 092-573-6111 |
| 常 務 理 事<br>(企画・情報) | 小 柳 進 祐<br>skoyana@cablene.ne.jp           | 12 | 佐 賀          | 小 柳 歯 科 医 院                  | 849-0503 佐賀県杵島郡江北町惣領分1898                          | 0952-86-2574 | 0952-86-2574 |
| 常 務 理 事<br>(会 計)   | 西 原 義 一<br>y-3185@fa2.so-net.ne.jp         | 3  | 福岡西          | 西 原 歯 科 医 院                  | 819-1139 福岡県糸島市前原南1丁目14-3                          | 092-323-5600 | 092-324-6326 |
| 理 事<br>(総 務)       | 芝 池 覚<br>dpfirf300@ezweb.ne.jp             | 4  | 大 阪          | 芝 池 歯 科 医 院                  | 583-0886 大阪府羽曳野市恵我之荘1-2-2                          | 072-955-8815 | 072-955-8815 |
| 理 事<br>(総 務)       | 吉 永 修<br>osamu@yoshinagashika.com          | 4  | 熊 本          | 医) 徳治会 吉永歯科医院                | 869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内824-8                         | 0964-32-5801 | 0964-32-3571 |
| 理 事<br>(総 務)       | 保 野 正 仁<br>matano.d-c@chive.ocn.ne.jp      | 5  | 長 崎          | ま た の 歯 科 医 院                | 856-0805 長崎県大村市竹松本町545-9                           | 0957-55-8261 | 0957-27-4051 |
| 理 事<br>(総 務)       | 秋 山 達 也<br>dental-a@vega.ocn.ne.jp         | 7  | 福岡南          | 秋 山 歯 科 医 院                  | 834-0034 福岡県八女市大字高塚151-5                           | 0943-22-7711 | 0943-22-7741 |
| 理 事<br>(総 務)       | 村 川 昇<br>murakawa-dc-04@u01.gate01.com     | 10 | 大 阪          | 村 川 歯 科                      | 553-0001 大阪府大阪市福島区海老江2-1-38                        | 06-6451-2770 | 06-6451-2770 |
| 理 事<br>(総 務)       | 浦 嘉 訓<br>urayoshi@po.saganet.ne.jp         | 12 | 佐 賀          | 浦 歯 科 医 院                    | 849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南4-1-29                           | 0952-28-7070 | 0952-28-7078 |

| 役 職           | 氏 名<br>E-Mail                              | 期  | 地 区          | 医 院                              | 勤務（開業）先住所                                 | tel          | fax          |
|---------------|--------------------------------------------|----|--------------|----------------------------------|-------------------------------------------|--------------|--------------|
| 理 事<br>(福祉厚生) | 泉 幸 三<br>izumi_dental_clinic@yahoo.co.jp   | 2  | 福岡西          | 泉 歯 科 医 院                        | 814-0123 福岡県福岡市城南区長尾3-1-29<br>ファイン・ビュー泉2F | 092-552-6333 | 092-552-6348 |
| 理 事<br>(福祉厚生) | 白 本 光 鶴<br>gg266ym9@beach.ocn.ne.jp        | 3  | 福岡南          | し ろ も と 歯 科<br>小児歯科クリニック         | 837-0917 福岡県大牟田市草木1033-2                  | 0944-52-6480 | 0944-53-2418 |
| 理 事<br>(福祉厚生) | 新 郷 陽 二<br>f250-lm@docomo.ne.jp            | 4  | 福岡西          | し ん ご う 歯 科 医 院                  | 814-0103 福岡県福岡市城南区鳥飼5-6-3 1F              | 092-822-8811 | 092-822-8811 |
| 理 事<br>(福祉厚生) | 中 岡 俊 智<br>nakaoka@maido.zaq.jp            | 12 | 大 阪          | 医)謙信会<br>あおぞら歯科クリニック             | 572-0084 大阪府寝屋川市香里南之町27-30                | 072-835-2233 | 072-835-1414 |
| 理 事<br>(福祉厚生) | 東 義 隆<br>east28dental@yahoo.co.jp          | 21 | 長 崎          | 東 歯 科 医 院                        | 852-8134 長崎県長崎市大橋町23-1                    | 095-844-1443 | 095-844-1443 |
| 理 事<br>(福祉厚生) | 吉 岡 和 彦<br>mappun0@gmail.com               | 25 | 福岡西          | よしおか歯科こども歯科                      | 810-0014 福岡県福岡市中央区平尾3丁目6-8武石ビル2F          | 092-521-6007 | 092-521-6007 |
| 理 事<br>(福祉厚生) | 橘 一 史<br>mibugisiden1976@yahoo.co.jp       | 27 | 長 崎          | た ち ば な 歯 科                      | 850-0874 長崎県長崎市魚の町3-12-2 F                | 095-823-5363 | 095-826-4087 |
| 理 事<br>(福祉厚生) | 小 篠 政 之<br>ozasadental-5252@yahoo.co.jp    | 29 | 福岡西          | おささデンタルクリニック                     | 813-0002 福岡県福岡市東区下原1-14-3                 | 092-663-5252 | 092-663-5355 |
| 理 (組 織)       | 佐 々 木 次 郎<br>sasakidc1721@k8.dion.ne.jp    | 2  | 長 崎          | 佐 々 木 歯 科 医 院                    | 851-3101 長崎県長崎市西海町1755-260                | 095-884-1721 | 095-884-1731 |
| 理 (組 織)       | 高 森 晴 己                                    | 2  | 福岡北          | 高 森 歯 科 医 院                      | 803-0846 福岡県北九州市小倉北区下道津1-3-7              | 093-581-9152 |              |
| 理 (組 織)       | 山 本 順 一<br>yamajun11@gmail.com             | 10 | 福岡西          | 医) 山 本 歯 科 医 院                   | 811-1302 福岡県福岡市南区井尻4-3-37                 | 092-581-4397 | 092-581-4441 |
| 理 (組 織)       | 原 精 一 郎<br>doctor@hara-dental.net          | 21 | 長 崎          | は ら 歯 科 医 院                      | 852-8117 長崎県長崎市平野町23-1-2F                 | 095-842-6622 | 095-842-6623 |
| 理 (組 織)       | 手 島 将 将<br>info@tesima-clinic.com          | 22 | 福岡東          | てしま歯科クリニック                       | 820-0203 福岡県嘉麻市平十峠1433-1                  | 0948-42-6623 | 0948-42-6635 |
| 理 (組 織)       | 泉 喜 和 子<br>kiwahan@college.fdcnet.ac.jp    | 22 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 口腔・顎顔面<br>外科学講座 口腔外科学分野   | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                | 092-801-0411 | 092-801-1288 |
| 理 (組 織)       | 杉 本 大 輔<br>dsqedoku@nifty.com              | 24 | 福岡西          | 杉 本 歯 科 医 院                      | 815-0081 福岡県福岡市南区那の川1-7-14                | 092-531-6480 | 092-531-6580 |
| 理 (広 報)       | 佐 藤 毅<br>tuyoshi@viola.ocn.ne.jp           | 3  | 長 崎          | 佐 藤 歯 科 診 療 所                    | 852-8107 長崎県長崎市浜口町11-14                   | 095-844-5477 | 095-847-6568 |
| 理 (広 報)       | 廣 瀬 武 尚<br>thirose145@gmail.com            | 4  | 福岡西          | くわの歯科クリニック                       | 810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2-7-14               | 092-734-2147 | 092-734-3147 |
| 理 (広 報)       | 三 箇 正 賢<br>sankasika@gmail.com             | 18 | 福岡北          | 医)さんか八幡西クリニック<br>(歯科)            | 806-0032 福岡県北九州市八幡西区筒井15-2                | 093-641-3641 | 093-641-3631 |
| 理 (広 報)       | 後 藤 加 寿 子<br>kazuko@college.fdcnet.ac.jp   | 21 | 学 内          | 福 岡 医 療 短 期 大 学<br>歯 科 衛 生 学 科   | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                | 092-801-0439 | 092-801-4473 |
| 理 (広 報)       | 廣 松 亮<br>hiromatsu@college.fdcnet.ac.jp    | 32 | 学 内<br>(福岡南) | 福岡歯科大学 口腔治<br>療学講座歯周病学分野         | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                | 092-801-0411 |              |
| 理 (広 報)       | 石 井 太 郎<br>ishii@college.fdcnet.ac.jp      | 35 | 福岡西          | 福岡歯科大学 成長発達歯<br>学講座 矯正歯科学分野      | 814-0194 福岡県福岡市早良区田村2-15-2                | 092-801-0412 |              |
| 理 (広 報)       | 緒 方 令<br>ogt.00@gotjback.ne.jp             | 36 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 口腔治療<br>学講座 保存・歯周病科       | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                | 092-801-0411 |              |
| 理 (広 報)       | 松 藤 潤<br>blackhowk-deep.7.29@docomo.ne.jp  | 40 | 学 内<br>(佐賀)  |                                  | 840-0201 佐賀県佐賀市大和町尼寺776-B103号             |              |              |
| 理 (学 術)       | 江 崎 和 久<br>lcazu1239@me.com                | 8  | 福岡南          | 睡 眠 科 学 研 究 所<br>江 崎 歯 科 内 科 医 院 | 834-0052 福岡県八女市新庄1266-1                   | 0943-22-5809 | 0943-22-2632 |
| 理 (学 術)       | 重 松 久 幹<br>shigematsu_hisa@jcom.home.ne.jp | 8  | 福岡西          | 重 松 歯 科 医 院                      | 814-0022 福岡県福岡市早良区原6-29-2                 | 092-847-7755 | 092-847-7744 |
| 理 (学 術)       | 香 川 豊 宏<br>kagawat1@college.fdcnet.ac.jp   | 15 | 学 内<br>(香川)  | 福岡歯科大学 診断・全身管<br>理学講座画像診断学分野     | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                | 092-801-0411 |              |
| 理 (学 術)       | 椿 誠<br>tbkdc@hf.rim.or.jp                  | 16 | 熊 本          | 椿 歯 科 ク リ ニ ッ ク                  | 862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3-15-20              | 096-381-6561 | 096-381-6664 |
| 理 (学 術)       | 松 永 興 昌<br>info@matsunaga-dent.jp          | 16 | 福岡西          | 松 永 歯 科 ク リ ニ ッ ク                | 810-0022 福岡県福岡市中央区薬院3-3-5-2F              | 092-401-4618 | 092-401-8148 |
| 理 (学 術)       | 坂 田 憲 彦<br>nori-s.127@guitar.ocn.ne.jp     | 20 | 福岡西          | 坂 田 歯 科 医 院                      | 814-0104 福岡県福岡市城南区別府6-5-1                 | 092-843-5556 | 092-843-5557 |
| 理 (学 術)       | 野 上 堅 太郎<br>nogamik@college.fdcnet.ac.jp   | 22 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 診断・全身管<br>理学講座 麻酔管理学分野    | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                | 092-801-0411 |              |
| 理 (学 術)       | 山 本 勝 己<br>katsuki@college.fdcnet.ac.jp    | 22 | 学 内<br>(福岡西) | 福 岡 歯 科 大 学<br>口 腔 医 療 セ ン タ ー   | 812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1               | 092-409-1050 | 092-409-1051 |
| 理 (学 術)       | 古 賀 め ぐ み<br>megumi19770401@hotmail.co.jp  | 23 | 福岡西          | こ が 歯 科 ク リ ニ ッ ク                | 814-0171 福岡県福岡市早良区野芥3-4-23                | 092-863-8868 | 092-863-8111 |
| 理 (学 術)       | 鈴 木 宏 樹<br>zookey456odpmf@gmail.com        | 23 | 福岡西          | 篠 栗 病 院 歯 科                      | 811-2413 福岡県糟屋郡篠栗町尾仲94                    | 092-947-1044 | 092-947-1361 |
| 理 (学 術)       | 津 江 文 武<br>roguecain925@gmail.com          | 25 | 学 内<br>(福岡南) | 福 岡 歯 科 大 学<br>口 腔 医 療 セ ン タ ー   | 812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1               | 092-409-1050 | 092-409-1051 |
| 理 (学 術)       | 葉 山 揚 介<br>hayama-shika@opal.ocn.ne.jp     | 26 | 福岡東          |                                  | 820-0067 福岡県飯塚市川津370-4                    | 0948-26-8148 | 0948-21-0002 |
| 理 (学 術)       | 青 木 隆 宜<br>ao_takayoshi_3@yahoo.co.jp      | 26 | 福岡西          | あ お き 歯 科 ク リ ニ ッ ク              | 813-0016 福岡県福岡市東区香椎浜3-2-7                 | 092-672-8110 | 092-672-8100 |
| 理 (学 術)       | 花 水 麻 美<br>www.asami.com@hotmail.co.jp     | 30 | 福岡西          | 医) 一徳会<br>DENTAL CLINIC 桜坂南      | 810-0033 福岡県福岡市中央区小笹5-5-21                | 092-525-4618 | 092-525-4619 |
| 学 (理 事)       | 勝 俣 由 里<br>katsuko@college.fdcnet.ac.jp    | 30 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 口腔・顎顔面<br>外科学講座 口腔腫瘍学分野   | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                | 092-801-0411 |              |
| 理 (学 術)       | 森 川 秀 典<br>hide03282006@yahoo.co.jp        | 31 | 福岡南          | 森 川 歯 科 医 院                      | 830-0052 福岡県久留米市上津町1825                   | 0942-21-8839 | 0942-22-4978 |

| 役 職          | 氏 名<br>E-Mail                                                           | 期  | 地 区          | 医 院                              | 勤務（開業）先住所                           | tel          | fax          |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------|----|--------------|----------------------------------|-------------------------------------|--------------|--------------|
| 理事<br>(学 術)  | 宮 原 那 実<br>nami.mxm.0907@docomo.ne.jp/<br>miyahara@college.fdcnet.ac.jp | 35 | 学 内<br>(佐賀)  | 福岡歯科大学 成長発達<br>歯学講座 成育小児歯科       | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1          | 092-801-0411 |              |
| 理事<br>(学 術)  | 熊 谷 徹 弥<br>VERYROLL@q.vodafone.ne.jp                                    | 36 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 成長発達歯<br>学講座成育小児歯科学分野     | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1          | 092-801-0411 |              |
| 理事<br>(学 術)  | 平 野 雅 裕<br>hirano@college.fdcnet.ac.jp                                  | 38 | 学 内<br>(広島)  | 福岡歯科大学 咬合修復学講<br>座 冠 橋 義 歯 学 分 野 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1          | 092-801-0411 |              |
| 理<br>(企画・情報) | 田 中 靖 彦<br>toystory@camel.plala.or.jp                                   | 12 | 長 崎          | 医) 恵和会<br>タナカ・デンタル・クリニック         | 850-0851 長崎県長崎市古川町6-35タナカ・ビル3F      | 095-824-3281 | 095-822-4699 |
| 理<br>(企画・情報) | 荻 野 真 介<br>ogndental@me.com                                             | 24 | 福岡西          | お ぎ の 歯 科 医 院                    | 819-1601 福岡県糸島市二丈深江868-5            | 092-325-0079 | 092-325-0079 |
| 理<br>(企画・情報) | 田 代 剛<br>tasssy0_0@mac.com                                              | 26 | 佐 賀          | た し ろ 歯 科 医 院                    | 849-3201 佐賀県唐津市相知町相知1940            | 0955-62-2217 | 0955-62-3595 |
| 理<br>(会 計)   | 吉 兼 透<br>yoshikanedo@gmail.com                                          | 22 | 福岡西          | よしかね歯科クリニック                      | 815-0033 福岡県福岡市南区大橋1-12-25 1F       | 092-554-2000 | 092-554-2255 |
| 理<br>(会 計)   | 花 田 道 人                                                                 | 23 | 福岡西          | 志摩歯科クリニック                        | 819-1302 福岡県糸島市志摩町吉田23-1            | 092-327-5225 | 092-327-5226 |
| 顧 問          | 升 井 一 朗<br>ichiromi@college.fdcnet.ac.jp                                | 1  | 学 内<br>(福岡西) | 福 岡 医 療 短 期 大 学<br>歯 科 衛 生 学 科   | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1          | 092-801-0439 | 092-801-4473 |
| 顧 問          | 梶 谷 剛<br>komaru0510@ybb.ne.jp                                           | 1  | 福岡西          | はるデンタルクリニック                      | 818-0005 福岡県筑紫野市原407-1              | 092-918-6480 | 092-918-6481 |
| 顧 問          | 永 尾 禮 二<br>qqw92hwd@arrow.ocn.ne.jp                                     | 1  | 福岡南          | 永 尾 禮 二 歯 科 医 院                  | 830-0072 福岡県久留米市安武町安武本1598-7        | 0942-26-4180 | 0942-27-2522 |
| 顧 問          | 千 原 眞 治<br>info@chihara-shika.net                                       | 1  | 関 東          | ち は ら 歯 科 医 院                    | 181-0001 東京都三鷹市井ノ頭2-7-8 三鷹プラザ202号   | 0422-49-2753 | 0422-46-9454 |
| 顧 問          | 友 添 秀 樹<br>tomozoe_@yahoo.co.jp                                         | 2  | 福岡南          | 友 添 歯 科 医 院                      | 839-0863 福岡県久留米市国分町1176-8           | 0942-22-4618 | 0942-21-0324 |
| 顧 問          | 斉 藤 武 史                                                                 | 2  | 福岡東          | 新 飯 塚 歯 科 医 院                    | 820-0005 福岡県飯塚市新飯塚13-27             | 0948-22-7273 | 0948-22-7783 |
| 顧 問          | 尾 崎 正 雄<br>mozaki@college.fdcnet.ac.jp                                  | 3  | 学 内          | 福岡歯科大学 成長発達歯<br>学講座成育小児歯科学分野     | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1          | 092-801-0411 |              |
| 顧 問          | 木 村 孝 一                                                                 | 3  | 大 阪          | 木 村 歯 科 医 院                      | 572-0063 大阪府寝屋川市春日町19-23            | 072-826-8838 | 072-826-8839 |
| 顧 問          | 深 井 修 一                                                                 | 3  | 山 口          | 深 井 歯 科 医 院                      | 747-0835 山口県防府市西浦2066-6             | 0835-29-3330 | 0835-29-0875 |
| 顧 問          | 古 賀 千 尋<br>ckoga@med.kurume-u.ac.jp                                     | 10 | 学 内<br>(福岡南) | 福 岡 歯 科 大 学<br>口 腔 医 療 セ ン タ     | 812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1         | 092-409-1050 | 092-409-1051 |
| 顧 問          | 藤 田 勝 也<br>fujitak@orange.ocn.ne.jp                                     | 3  | 福岡東          | フ ジ タ 歯 科 医 院                    | 822-0032 福岡県直方市新入624-4              | 0949-28-3636 | 0949-28-3636 |
| 顧 問          | 佐 伯 和 道<br>kazu_s1201@ezweb.ne.jp                                       | 4  | 福岡北          | 佐 伯 歯 科 医 院                      | 802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町1-2-17        | 093-531-4955 | 093-531-4957 |
| 顧 問          | 矢 野 尚 一<br>show@light.ne.jp                                             | 4  | 福岡北          | 矢 野 歯 科 医 院                      | 806-0028 福岡県北九州市八幡西区熊手2-4-25かまやビル2F | 093-631-2402 | 093-622-4062 |
| 顧 問          | 山 田 俊 介<br>ydc2007since1958@hiz.bboq.jp                                 | 4  | 宮 崎          | 山 田 歯 科 医 院                      | 880-0912 宮崎県宮崎市大字赤江414-3            | 0985-54-7272 | 0985-54-7273 |
| 顧 問          | 城 戸 寛 史<br>hkido@college.fdcnet.ac.jp                                   | 6  | 学 内<br>(福岡北) | 福岡歯科大学 咬合修復学講<br>座 口腔インプラント学分野   | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1          | 092-801-0411 |              |
| 顧 問          | 比 嘉 奈 津 美<br>h14601@shugiin.go.jp                                       | 8  | 沖 縄          |                                  | 904-0021 沖縄県沖縄市胡屋1-18-17            | 098-937-9011 | 098-937-9011 |
| 顧 問          | 原 田 孝 昭<br>shinyu661@den@ezweb.ne.jp                                    | 12 | 福岡北          | 原 田 歯 科 医 院                      | 806-0021 福岡県北九州市八幡西区黒崎2丁目10-1-102   | 093-621-7407 | 093-621-7407 |
| 監 事          | 臼 杵 辰 雄                                                                 | 1  | 福岡南          | 臼 杵 歯 科 医 院                      | 838-0065 福岡県朝倉市一木95-4               | 0946-24-3691 | 0946-22-1982 |
| 監 事          | 原 文 夫                                                                   | 2  | 福岡西          | ア ン プ ル 歯 科                      | 811-1346 福岡県福岡市南区老司1-17-34          | 092-565-8148 | 092-565-8239 |

## 地区会会長

| 地区会 | 府 県   | 役 職      | 氏 名<br>E-Mail アドレス                                                           | 期  | 勤 務 先                       | 郵便番号・住 所                        | tel          | fax          |
|-----|-------|----------|------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------------------|---------------------------------|--------------|--------------|
| 学 内 |       | 学 内 会 長  | 香 川 豊 宏<br>kagawati@college.fdcnet.ac.jp                                     | 15 | 診断・全身管理学講座<br>画 像 診 断 学 分 野 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1      | 092-801-0411 | 092-801-4909 |
| 福岡県 | 福 岡 西 | 福岡県地区会会長 | 中 四 良<br>s-nakado@j77.so-net.ne.jp                                           | 5  | 医 療 法 人 中 歯 科 医 院           | 814-0022 福岡県福岡市早良区原8-17-3       | 092-866-0418 | 092-866-0417 |
| 九 州 | 大 分   | 九州地区会会長  | 山 田 道 男<br>v-class_m-y@i.softbank.jp/<br>v-class_m-michi_yama_1567@ybb.ne.jp | 6  | 高 城 や ま だ 歯 科               | 870-0155 大分県大分市高城南町11-5         | 097-552-7682 | 097-552-7682 |
| 中 国 | 広 島   | 中国地区会会長  | 西 谷 展<br>nob-nish@bd6.so-net.ne.jp                                           | 9  | に し や 歯 科 医 院               | 720-0056 広島県福山市本町1-10           | 084-928-4545 | 084-928-4891 |
| 近 畿 | 兵 庫   | 近畿地区会会長  | 八 木 隆 史                                                                      | 1  | 八 木 歯 科 医 院                 | 673-0552 兵庫県三木市志染町中自由ヶ丘2-411    | 0794-85-0882 | 0794-85-0882 |
| 中 部 | 中 部   | 中部地区会会長  | 伊 藤 恒 一<br>daiichi-shika@hb.tp1.jp                                           | 2  | 中 津 第 一 歯 科 医 院             | 508-0032 岐阜県中津川市栄町4-26          | 0573-66-1577 | 0573-66-1578 |
| 関 東 | 関 東   | 関東地区会会長  | 中 野 裕 次<br>yuji_0603@nifty.com                                               | 6  | な か の 歯 科 医 院               | 130-0011 東京都墨田区石原2-15-9 交楽堂ビル2F | 03-3829-0008 | 03-3829-0008 |

## 学内・府県同窓会会長・評議員

| 地区会   | 府県  | 役 職                   | 氏 名<br>E-Mail アドレス                                                 | 期  | 勤 務 先                 | 郵便番号・勤務（開業）先住所                              | tel          | fax          |
|-------|-----|-----------------------|--------------------------------------------------------------------|----|-----------------------|---------------------------------------------|--------------|--------------|
| 学 内   |     | 地区会会長・府県会長<br>(本部理事)  | 香 川 豊 宏<br>kagawat1@college.fdcnet.ac.jp                           | 15 | 診断・全身管理学講座<br>画像診断学分野 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                  | 092-801-0411 | 092-801-4909 |
|       |     | 評 議 員                 | 都 築 尊<br>tsuzuki@college.fdcnet.ac.jp                              | 18 | 咬合修復学講座<br>有床義歯学分野    | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                  | 092-801-0411 | 092-801-4909 |
|       |     | 評 議 員                 | 玉 置 幸 雄<br>tama@college.fdcnet.ac.jp                               | 19 | 成長発達歯学講座<br>矯正歯科学分野   | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1                  | 092-801-0411 | 092-801-4909 |
| 福 岡 県 | 福岡東 | 府 県 会 長<br>(本部副会長)    | 杉 本 直 樹                                                            | 7  | 杉本歯科医院                | 824-0058 福岡県行橋市長木445-1                      | 0930-24-4658 | 0930-24-4658 |
|       |     | 評 議 員                 | 川 前 卓 朗<br>takuro.0248mi1968@gmail.com                             | 10 | 川前歯科医院                | 800-0344 福岡県京都郡刈田町新津2-9-18                  | 0930-24-0439 | 0930-24-0440 |
|       | 福岡西 | 地区会会長・府県会長<br>(本部副会長) | 中 四 良<br>s-nakado@jf77.so-net.ne.jp                                | 5  | 医療法人中歯科医院             | 814-0022 福岡県福岡市早良区原8-17-3                   | 092-866-0418 | 092-866-0417 |
|       |     | 評 議 員                 | 日 高 英 治<br>mthidaka@io.ocn.ne.jp                                   | 5  | 日高歯科医院                | 811-3101 福岡県古賀市天神5-3-2                      | 092-944-4156 | 092-944-4176 |
|       |     | 評 議 員                 | 小 河 清 裕<br>ogou-shangrila@camel.plala.or.jp                        | 8  | 小河歯科医院                | 811-1347 福岡県福岡市南区野多目1-1-21                  | 092-541-4682 | 092-541-5252 |
|       |     | 評 議 員                 | 川 前 武 朗                                                            | 10 | かわまえ歯科医院              | 811-3436 福岡県宗像市東郷5-16-15                    | 0940-36-8160 | 0940-36-8160 |
|       |     | 評 議 員                 | 西 原 浩 平                                                            | 10 | 西原歯科医院                | 816-0832 福岡県春日市紅葉ヶ丘西3-32                    | 092-582-2700 | 092-582-2700 |
|       |     | 評 議 員                 | 中 田 宏<br>hiro62@coda.ocn.ne.jp                                     | 13 | 中田歯科医院                | 813-0011 福岡県福岡市東区香椎2-18-33<br>三菱シティライフ香椎1 F | 092-683-5888 | 092-683-5757 |
|       |     | 評 議 員                 | 飯 田 聖 子<br>maebarudc@gmail.com                                     | 17 | まえばる歯科医院              | 819-1117 福岡県糸島市前原西1丁目8-27                   | 092-324-6615 | 092-324-6615 |
|       |     | 評 議 員                 | 池 田 正 博<br>info@ikegon.com                                         | 18 | いけだ歯科医院               | 819-0013 福岡県福岡市西区愛宕浜4-1-14                  | 092-895-1188 | 092-895-1189 |
|       |     | 評 議 員                 | 重 富 澄 保<br>shigetomi-dc@eos.ocn.ne.jp                              | 24 | 重富歯科医院                | 811-1355 福岡県福岡市南区松原5-10-32                  | 092-567-6633 | 092-567-6622 |
|       | 福岡南 | 府 県 会 長<br>(本部副会長)    | 岡 浩 司<br>okadentalclinic@topaz.plala.or.jp                         | 7  | 岡歯科医院                 | 830-0013 福岡県久留米市櫛原町124-8                    | 0942-35-1184 | 0942-35-1190 |
|       |     | 評 議 員                 | 吉 亨<br>yoshida-agree@tau.bbiq.jp                                   | 11 | よしだ歯科                 | 837-0906 福岡県大牟田市倉永35-3                      | 0944-58-4618 | 0944-58-4630 |
|       |     | 評 議 員                 | 澁 江 拓<br>taku@buz.bbiq.jp                                          | 13 | しぶえ歯科・小児歯科            | 830-1122 福岡県久留米市北野町今山509-10                 | 0942-78-2010 | 0942-78-2010 |
|       |     | 評 議 員                 | 野 田 慎 一 朗<br>nodadental1010@yahoo.co.jp                            | 21 | のだ歯科・小児歯科             | 830-0422 福岡県三潴郡大木町高橋533-1                   | 0944-75-9700 | 0944-75-9701 |
|       | 福岡北 | 府 県 会 長<br>(本部副会長)    | 浅 尾 武<br>tekeado@yahoo.co.jp                                       | 10 | 浅尾歯科医院                | 803-0831 福岡県北九州市小倉北区日明2-15-7                | 093-561-3169 | 093-561-3169 |
|       |     | 評 議 員                 | 坂 口 佳 代 子<br>mckysk0503@yahoo.co.jp                                | 14 | 坂口歯科医院                | 802-0038 福岡県北九州市小倉北区神幸町10-3                 | 093-531-2660 | 093-531-2166 |
|       |     | 評 議 員                 | 安 本 勝 観<br>hibikino.dental@roval.ocn.ne.jp                         | 17 | ひびきのデンタルクリニック         | 808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの1-3                  | 093-695-3168 | 093-695-3168 |
| 九 州   | 佐 賀 | 府 県 会 長<br>(本部理事)     | 浦 嘉 訓<br>urayoshi@po.saganet.ne.jp                                 | 12 | 浦歯科医院                 | 849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南4-1-29                    | 0952-28-7070 | 0952-28-7078 |
|       |     | 評 議 員                 | 山 口 倫 仁<br>ryama@po.saganet.ne.jp                                  | 7  | やまぐち歯科医院              | 840-0202 佐賀県佐賀市大和町久池井931-8                  | 0952-62-4848 | 0952-62-3892 |
|       |     | 評 議 員                 | 田 邊 隆<br>tanabedc@festa.ocn.ne.jp                                  | 10 | たなべ歯科医院               | 847-0056 佐賀県唐津市坊主町436-1                     | 0955-73-7183 | 0955-75-2334 |
|       |     | 評 議 員                 | 酒 井 正 男<br>ms-dental@b3.bunbun.ne.jp                               | 14 | 酒井歯科医院                | 840-0811 佐賀県佐賀市大財5-11-30                    | 0952-23-8417 | 0952-22-7938 |
|       | 長 崎 | 府県会長・評議員              | 小 川 豊 久<br>toyohisa@ngs2.cncm.ne.jp                                | 5  | 小川歯科医院                | 852-8061 長崎県長崎市滑石3-1-8-101                  | 095-857-8010 | 095-855-3845 |
|       |     | 評 議 員                 | 寺 崎 宏<br>terasaki@ngs2.cncm.ne.jp                                  | 5  | 寺崎歯科医院                | 852-8125 長崎県長崎市小峰町3-31                      | 095-847-9232 | 095-844-9737 |
|       |     | 評 議 員                 | 渡 邊 知 英<br>tomosika@ngs2.cncm.ne.jp                                | 13 | わたなべ TOMO 歯科医院        | 850-0832 長崎県長崎市油屋町1-2<br>MOTO ビル2 F         | 095-820-8030 | 095-820-8030 |
|       | 熊 本 | 府県会長・評議員              | 伊 藤 明 彦<br>akkunito@sa2.gyao.ne.jp                                 | 5  | 伊藤歯科医院                | 861-1112 熊本県合志市幾久富建山1909-1206               | 096-248-5688 | 096-274-5688 |
|       |     | 評 議 員                 | 渡 辺 猛 士<br>t-wat@infobedrs.ne.jp                                   | 5  | 渡辺歯科医院                | 861-0000 熊本県熊本市東区若菜1-36-18                  | 096-365-0300 | 096-365-0300 |
|       |     | 評 議 員                 | 宇 治 寿 隆<br>uji-taka@helen.ocn.ne.jp                                | 7  | 宇治歯科医院                | 862-0971 熊本県熊本市中央区大江6丁目25-26                | 096-363-0145 | 096-364-5534 |
|       |     | 評 議 員                 | 椿 賢<br>johzan.tdc@festa.ocn.ne.jp                                  | 18 | 城山椿歯科クリニック            | 860-0068 熊本県熊本市西区上代4-11-10                  | 096-312-5711 | 096-312-5712 |
|       | 大 分 | 地区会会長・府県会長<br>(本部副会長) | 山 田 道 男<br>v-class_m-y@i.softbank.jp/<br>v-class_m-y@sftbank.ne.jp | 2  | 高城やまだ歯科               | 870-0155 大分県大分市高城南町11-5                     | 097-552-7682 | 097-552-7682 |

| 地区会   | 府県       | 役 職                               | 氏 名<br>E-Mail アドレス                        | 期                                    | 勤 務 先                   | 郵便番号・勤務（開業）先住所                      | tel                        | fax          |
|-------|----------|-----------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|----------------------------|--------------|
| 九州    | 大 分      | 評 議 員                             | 原 田 裕 教<br>hironori@green.oit-net.jp      | 12                                   | 歯科原田医院                  | 873-0002 大分県杵築市大字南杵築289             | 0978-62-2460               | 0978-62-2460 |
|       |          | 評 議 員                             | 西 澤 浩 太 郎                                 | 21                                   | にしざわ歯科<br>口腔外科クリニック     | 870-0823 大分県大分市東大道1-8-15            | 097-543-8241               | 097-543-8241 |
|       | 宮 崎      | 府県会長・評議員                          | 黒 木 康 夫<br>ydc1985@icloud.com             | 6                                    | 黒木康夫歯科医院                | 889-1201 宮崎県児湯郡都農町川北5351-2          | 0983-25-2021               | 0983-25-2024 |
|       |          | 評 議 員                             | 陶 山 隆<br>suyama527@beach.ocn.ne.jp        | 6                                    | 陶山歯科医院                  | 880-0023 宮崎県宮崎市和知川原2-6-1            | 0985-24-7774               | 0985-24-7825 |
|       | 鹿児島      | 府県会長・評議員                          | 要 光<br>kaname55@jb3.so-net.ne.jp          | 11                                   | かなめ歯科医院                 | 890-0045 鹿児島県鹿児島市武1-43-12           | 099-252-9667               | 099-252-9557 |
|       |          | 評 議 員                             | 山 之 内 伸                                   | 1                                    | 山之内歯科医院                 | 898-0015 鹿児島県枕崎市西本町58               | 0993-72-0477               | 0993-72-1198 |
|       | 沖 縄      | 府県会長・評議員                          | 松 島 一 夫<br>dent0240@aol.com               | 8                                    | まつしま歯科医院                | 904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-1-10          | 098-936-0648               | 098-936-0011 |
|       |          | 評 議 員                             | 城 間 吉 弘<br>shiroma@shiomashika.com        | 4                                    | しろま歯科医院                 | 901-2127 沖縄県浦添市屋富祖1-3-6             | 098-878-6121               | 098-873-1471 |
| 中国    | 山 口      | 府県会長・評議員                          | 佐 々 木 猛<br>dentsasaki@mx52.tiki.ne.jp     | 1                                    | 佐々木歯科医院                 | 759-5331 山口県下関市豊北町神田1222-1          | 083-786-1818               | 083-786-1855 |
|       |          | 評 議 員                             | 児 玉 昭 彦<br>akodama@modha.ocn.ne.jp        | 5                                    | 児玉歯科医院                  | 753-0011 山口県山口市宮野下3106-1            | 083-932-7800               | 0839-32-7877 |
|       | 広島       | 地 区 会 長<br>(本部副会長)                | 西 谷 展<br>nob-nish@bd6.so-net.ne.jp        | 9                                    | にしや歯科医院                 | 720-0056 広島県福山市本町1-10               | 084-928-4545               | 084-928-4891 |
|       |          | 府県会長・評議員                          | 村 上 誠 一<br>tomoaya525@gmail.com           | 7                                    | 村上歯科医院                  | 739-0424 広島県廿日市市前空5丁目2-5            | 0829-50-6666               | 0829-50-6480 |
|       |          | 評 議 員                             | 石 本 智 教<br>t-14moto@rainbow.plala.or.jp   | 9                                    | 石本歯科クリニック               | 731-5134 広島県広島市佐伯区海老山町3-8           | 082-921-4182               | 082-921-4196 |
|       | 島 根      | 府県会長・評議員                          | 青 笹 之 夫<br>bluesasa@mx.miracle.ne.jp      | 2                                    | 青笹歯科医院                  | 697-0033 島根県浜田市朝日町7-12              | 0855-23-0641               | 0855-23-0859 |
|       | 岡 山      | 府県会長・評議員                          | 石 川 拓 志<br>tomokun.suzu@n.vodafone.ne.jp  | 6                                    | いしかわ歯科医院                | 709-3143 岡山県岡山市建部町宮地31-1            | 0867-22-2003               | 0867-22-2003 |
|       | 四国       | 愛 媛                               | 府 県 会 長                                   | 窪 田 将 臣<br>masaomi@sky.plala.or.jp   | 1                       | 窪田歯科医院                              | 799-0101 愛媛県四国中央市川之江町2562  | 0896-58-2114 |
| 評 議 員 |          |                                   | 佐 々 木 誠<br>makotokomati@beige.plala.or.jp | 23                                   | ささき歯科医院                 | 798-1343 愛媛県北宇和郡鬼北町近永1310-5         | 0895-45-2060               | 0895-45-2060 |
| 高 知   |          | 府 県 会 長                           | 矢 野 宗 徳                                   | 9                                    | 矢野歯科医院                  | 786-0014 高知県高岡郡四万十町新開町4-10          | 0880-22-0433               | 0880-22-0433 |
| 香 川   |          | 府 県 会 長                           | 吉 田 良 二<br>yosi222@violin.ocn.ne.jp       | 5                                    | 吉田歯科医院                  | 762-0023 香川県坂出市加茂町620-21            | 0877-48-3355               | 0877-48-3225 |
| 徳 島   | 府県会長・評議員 | 野 口 圭 司                           | 2                                         | 野口歯科医院                               | 770-0937 徳島県徳島市富田橋1-27  | 088-625-4810                        | 088-625-8895               |              |
| 近畿    | 大 阪      | 府 県 会 長<br>(本部副会長)                | 石 田 哲 也<br>idc4180@nike.eonet.ne.jp       | 9                                    | 石田歯科医院                  | 583-0991 大阪府南河内郡太子町大字春日1726-1       | 0721-98-4180               | 0721-98-4401 |
|       |          | 評 議 員                             | 加 藤 秀 治<br>kato-d.c@clock.ocn.ne.jp       | 13                                   | 医療法人昭成会加藤歯科             | 563-0032 大阪府池田市石橋1-4-4-2F           | 072-762-0080               | 072-762-0116 |
|       | 京・滋      | 府 県 会 長                           | 野 村 信 人<br>nomura-shika@ric.hi-ho.ne.jp   | 6                                    | 野村歯科医院                  | 522-0023 滋賀県彦根市原町180-28             | 0749-26-5183               | 0749-26-5183 |
|       | 兵庫       | 府 県 会 長                           | 藤 田 忠 篤                                   | 2                                    | フジタ歯科医院                 | 651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通7-1-14F       | 078-291-8855               | 078-291-8856 |
|       |          | 地 区 会 会 長・<br>評 議 員               | 八 木 隆 史                                   | 1                                    | 八木歯科医院                  | 673-0552 兵庫県三木市志染町中自由ヶ丘2-411        | 0794-85-0882               | 0794-85-0882 |
|       |          | 和歌山                               | 府県会長・評議員                                  | 藤 田 知 則<br>t.fujita0924@docomo.ne.jp | 8                       | 藤田歯科診療所                             | 644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部835-4 | 0738-24-3948 |
| 奈良    | 府 県 会 長  | 上 林 融<br>kambayashi_shi@ybb.ne.jp | 3                                         | 上林歯科医院                               | 630-8113 奈良県奈良市法蓮町150-3 | 0742-35-6000                        | 0742-35-6000               |              |
| 中部    | 中 部      | 地 区 会 会 長・<br>府県会長・評議員            | 伊 藤 恒 一<br>daiichi-shika@hb.tp1.jp        | 2                                    | 中津第一歯科医院                | 508-0032 岐阜県中津川市栄町4-26              | 0573-66-1577               | 0573-66-1578 |
| 関東    | 関 東      | 地 区 会 会 長・<br>府県会長・評議員            | 中 野 裕 次<br>yuji_0603@nifty.com            | 6                                    | なかの歯科医院                 | 130-0011 東京都墨田区石原2-15-9<br>交楽堂ビル2 F | 03-3829-0008               | 03-3829-0008 |

# 会 務 報 告

自 平成29年 4 月 1 日  
至 平成30年 3 月31日

| 月日     | 曜日 | 詳 細                                       | 出 席 者                                    | 場 所              |
|--------|----|-------------------------------------------|------------------------------------------|------------------|
| 4 / 1  | 土  | 佐賀県同窓会総会                                  | 武井副会長                                    | ホテルビアントス         |
| 〃      | 〃  | 福岡看護大学開学記念式典                              | 宮口会長、武井・神田・高嶺・<br>中・岡・今田副会長、<br>白本・劉常務理事 | 福岡看護大学           |
| 4 / 7  | 金  | 入学式                                       | 宮口会長                                     | 本学園              |
| 4 / 13 | 木  | 平成28年度監査                                  | 馬場副会長、西原常務、<br>臼杵・原監事                    | 同窓会事務局           |
| 4 / 15 | 土  | 福岡県北同窓会総会・懇親会                             | 神田副会長、持山専務                               | 旧古河鉱業若松ビル        |
| 4 / 18 | 火  | 法人理事会                                     | 宮口会長                                     | 本学園              |
| 5 / 13 | 土  | 冠橋義歯学分野教授佐藤博信先生退職記念<br>祝賀会                | 宮口会長、高嶺副会長                               | 西鉄グランドホテル        |
| 5 / 14 | 日  | 平成29年度第 1 回理事会                            |                                          | 電気ビル共創館          |
| 5 / 20 | 土  | 大阪府同窓会平成29年度定例総会                          | 野口副会長、持山専務                               | サウナニュージャパン会議室    |
| 〃      | 〃  | 長崎県同窓会総会・学術講演会                            | 勝俣副会長                                    | 佐世保レオプラザホテル      |
| 5 / 21 | 日  | 神奈川歯科大学創立100周年記念式典・記<br>念コンサート・祝賀会        | 高嶺・馬場副会長                                 | 横須賀メルキュールホテル     |
| 5 / 23 | 火  | 法人理事会・評議員会・ガーデン研修会                        | 宮口会長、武井・高嶺副会長、<br>高橋顧問                   | 本学園              |
| 5 / 27 | 土  | 平成28年度地区会会長会・定時評議員会・<br>総会                | 西谷副会長                                    | ホテル日航福岡          |
| 6 / 6  | 火  | 第 6 学年激励会                                 | 岩本副会長                                    | 本学園 学生食堂         |
| 6 / 10 | 土  | 大分県同窓会総会・学術講演会                            | 武井副会長                                    | 大分トキハ会館          |
| 〃      | 〃  | 福岡県西同窓会総会・学術講演会                           | 勝俣副会長                                    | アークロイヤルホテル福岡天神   |
| 6 / 17 | 土  | 関東同窓会総会・学術講演会                             | 武井副会長                                    | 東部デパント東京         |
| 〃      | 〃  | 沖縄県同窓会平成28年度総会・懇親会                        | 高嶺・松島副会長                                 | ザ・ナハテラス          |
| 〃      | 〃  | 広島県同窓会総会                                  |                                          | リーガロイヤルホテル広島     |
| 6 / 18 | 日  | 福岡歯科大学同窓生ご子息・ご息女対象<br>オープンキャンパス           | 神田副会長                                    | 本学園              |
| 6 / 20 | 火  | 法人理事会                                     | 宮口会長                                     | 本学園              |
| 6 / 22 | 木  | 2017年度臨床スキルアップセミナー<br>「外科」                | 学術委員会                                    | 福岡県歯科医師会館 視聴覚室   |
| 7 / 1  | 土  | 関根浄治教授就任10周年記念講演会・祝賀<br>会                 | 岩本副会長                                    | 出雲ロイヤルホテル        |
| 〃      | 〃  | 福岡県南同窓会総会・学術講演会                           | 武井副会長                                    | 久留米歯科医師会         |
| 7 / 2  | 日  | 宮口巖先生長崎県歯科医師会並びに神田晋<br>爾先生福岡市歯科医師会会長就任祝賀会 |                                          | 西鉄グランドホテル        |
| 7 / 4  | 火  | 学術連絡会                                     | 岩本副会長、枋常務、重松理事                           | 福岡県歯科医師会館 1 階ロビー |
| 7 / 8  | 土  | 山口県同窓会 平成29年度長州歯会総会・<br>学術講演会・懇親会         | 持山専務                                     | セントコア山口          |
| 7 / 18 | 火  | 法人理事会・評議員会                                | 宮口会長、武井・高嶺副会長、<br>高橋顧問                   | 本学園              |

|         |     |                               |                                                                   |                   |
|---------|-----|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 7/20    | 木   | 第1回学術委員会と衛生士短大との学術講演会打ち合わせ    | 岩本副会長、香川理事、<br>升井顧問、安河内衛生士長、<br>堀部先生他                             | 春華苑               |
| 7/22    | 土   | 九州大学歯学部創立50周年記念式典・祝賀会         | 中・高嶺副会長、持山専務                                                      | ホテルオークラ福岡         |
| 7/24    | 月   | 学術委員会                         | 岩本副会長、粉・葛西常務                                                      | 福岡県歯科医師会          |
| 7/27    | 木   | 福岡歯科大学開学記念式典                  | 高嶺副会長                                                             | 本学園               |
| 7/29    | 土   | 平成28年度大阿蘇会定時総会                | 勝俣副会長                                                             | ANA クランウンプラザホテル熊本 |
| 8/3     | 木   | 法人理事会                         | 宮口会長                                                              | 本学園               |
| 8/11    | 金   | 広島県同窓会在校生対象講演会                |                                                                   | 広島県歯科医師会館         |
| 8/19    | 土   | 宮崎県同窓会夏季総会学術講演会               | 岩本副会長                                                             | エアラインホテル          |
| 8/24    | 木   | 2017年度臨床スキルアップセミナー「審美」        | 学術委員会                                                             | 福岡県歯科医師会館 視聴覚室    |
| 8/26    | 土   | 兵庫県同窓会学術講演会                   |                                                                   | グリーンヒルホテル神戸       |
| 8/26・27 | 土・日 | 第33回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会/懇親会 | 学術委員会                                                             | 福岡県歯科医師会館/稚加栄     |
| 9/2     | 土   | 九州歯科大学福岡県同窓会福岡支部レクリエーション      | 岩本・中副会長                                                           | グラナダスイート「ザプラザ」    |
| 〃       | 〃   | 平成29年度佐賀県同窓会学術講演会             |                                                                   | ホテルニューオータニ佐賀      |
| 〃       | 〃   | 鹿児島県同窓会「福歯会」平成29年度総会・学術講演会    | 武井副会長                                                             | 鹿児島県歯科医師会館        |
| 9/9     | 土   | 近畿ブロック役員連絡協議会・懇親会             | 高嶺副会長                                                             | ホテル阪神             |
| 9/11    | 月   | 第3回学術委員会                      | 学術委員会                                                             | 福岡県歯科医師会館 4階第二会議室 |
| 9/14    | 木   | 日本歯科医師会役員就任披露パーティ             | 高嶺副会長                                                             | ホテルニューオータニ        |
| 9/16    | 土   | 歯科矯正学分野教授玉置幸雄先生就任祝賀会          | 高嶺副会長                                                             | 西鉄グランドホテル         |
| 9/20    | 水   | 法人理事会                         | 宮口会長                                                              | 本学園               |
| 9/23    | 土   | 12校会議ならびに時局講演会                | 高嶺副会長、持山専務、<br>中野関東同窓会長、<br>横原関東同窓会専務、<br>竹村関東同窓会理事、<br>坂口関東同窓会監事 | ホテルグランドパレス        |
| 9/30    | 土   | 北海道大学歯学部創立50周年記念事業            | 高嶺副会長                                                             | 札幌グランドホテル         |
| 10/12   | 木   | 平成29年度第42回福岡歯科大学献体者慰霊祭        | 持山専務                                                              | 萬行寺               |
| 10/14   | 土   | 第70回九州歯科医学大会                  | 武井・岩本・高嶺副会長、<br>持山専務、吉永理事                                         | レンブラントホテル大分       |
| 10/16   | 月   | 第2回学術委員会と衛生士短大との学術講演会打ち合わせ    | 岩本副会長、粉・葛西常務、<br>香川理事、升井顧問、<br>安河内衛生士長、堀部先生他                      | 春華苑               |
| 10/19   | 木   | 法人理事会                         | 宮口会長                                                              | 本学園               |
| 10/21   | 土   | 第64回全国歯科大学同窓会・校友会懇話会          | 高嶺・野口副会長、持山専務、<br>石川岡山県同窓会長                                       | ANA クランウンプラザホテル岡山 |
| 10/22   | 日   | 四国同窓会総会                       | 武井副会長                                                             | 徳島                |
| 10/27   | 金   | 2017年度臨床スキルアップセミナー「義歯」        | 学術委員会                                                             | 福岡県歯科医師会館 視聴覚室    |
| 10/30   | 月   | 第8回 ICOI Fellowship 養成コース(1)  | 学術委員会                                                             | 本学504合議室          |
| 11/3    | 金   | 日本歯科医師会主催<br>「女性歯科医師がより輝く未来へ」 | 馬場副会長                                                             | 日本歯科医師会館 1階大会議室   |

|       |   |                                     |                                                          |                             |
|-------|---|-------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 11/15 | 水 | 6年生激励会                              | 武井副会長                                                    | 本学園 学生食堂                    |
| 11/18 | 土 | 朝日大学歯学部40周年記念事業                     | 高嶺副会長                                                    | 岐阜都ホテル                      |
| 11/20 | 月 | 第4回学術委員会                            | 学術委員会                                                    | 福岡市歯科医師会館                   |
| 11/24 | 金 | 法人理事会・評議員会                          | 宮口会長、武井・高嶺副会長、<br>高橋顧問                                   | 本学園                         |
| 11/26 | 日 | 第8回 ICOI Fellowship 養成コース(2)        | 学術委員会                                                    | 本学504合議室                    |
| 12/2  | 土 | 九州歯科大学福岡県同窓会福岡支部忘年懇<br>親会           | 持山専務                                                     | 稚加築                         |
| 12/3  | 日 | 第5回 JUC 発表会                         | 中副会長                                                     | 電機ビル「共創館」                   |
| 〃     | 〃 | 第44回福岡歯科大学学会総会・学術大会                 | 岩本副会長                                                    | 本学園                         |
| 12/18 | 月 | 第3回学術委員会と衛生士短大との学術講<br>演会打ち合わせ      | 岩本副会長、枡・葛西常務、<br>香川理事、升井顧問 他                             | 春華苑                         |
| 12/19 | 火 | 法人理事会                               | 宮口会長                                                     | 本学園                         |
| 1/15  | 月 | 第5回学術委員会                            | 学術委員会                                                    | 福岡市歯科医師会館 1階第一会<br>議室       |
| 1/20  | 土 | 「みずほの会」                             | 宮口会長、野口副会長、<br>持山専務、石田理事、<br>加藤大阪府同窓会専務、<br>中川大阪府同窓会常務理事 | リーガロイヤルホテル                  |
| 1/21  | 日 | 第8回 ICOI Fellowship 養成コース(3)        | 岩本副会長、枡常務理事                                              | 本学505合議室                    |
| 〃     | 〃 | 東京医科歯科大学歯科同窓会新年名刺交換<br>会            | 横原関東専務理事                                                 | ホテルメトロポリタン                  |
| 1/22  | 月 | 法人理事会                               | 宮口会長                                                     | 本学園                         |
| 1/28  | 日 | 第34回全国歯科大学同窓会・校友会学術担<br>当者連絡会第2回準備会 | 枡常務                                                      | 日本歯科大学生命歯学部本館2F<br>第1会議室    |
| 2/4   | 日 | 第35回臨床セミナー                          | 学術委員会                                                    | 福岡歯科大学医歯学総合病院3<br>階 第2総合診療室 |
| 2/10  | 土 | 九州5大学歯学部同窓会連絡協議会                    | 宮口会長、神田副会長、<br>持山専務、小柳常務、<br>要鹿児島県同窓会長                   | 華鹿児島県歯科医師会館/華蓮              |
| 〃     | 〃 | 熊本県同窓会平成30年大阿蘇会新年会                  | 勝俣副会長                                                    | ANA クラウンプラザホテル熊本            |
| 2/17  | 土 | 平成29年度近畿ブロック連絡協議会                   | 石田理事                                                     | 京都センチュリーホテル                 |
| 2/18  | 日 | 第8回 ICOI Fellowship 養成コース(4)        | 岩本副会長                                                    | 本学506合議室                    |
| 2/19  | 月 | 第6回学術委員会                            | 学術委員会                                                    | 福岡市歯科医師会館 1階第一会<br>議室       |
| 2/20  | 火 | 法人理事会                               | 宮口会長                                                     | 本学園                         |
| 3/3   | 土 | 第31回学術講演会前準備                        | 学術委員会                                                    | 福岡県歯科医師会 大ホール               |
| 3/4   | 日 | 第31回学術講演会                           | 学術委員会                                                    | 福岡県歯科医師会 大ホール               |
| 3/8   | 木 | 奈良県同窓会総会                            |                                                          | 百楽奈良店                       |
| 3/10  | 土 | 第40回卒業式/謝恩会                         | 勝俣副会長                                                    | 本学園/<br>ホテルニューオータニ博多        |
| 3/17  | 土 | 福岡県東同窓会平成29年度総会・学術講演<br>会           | 神田副会長、持山専務                                               | 福岡県歯科医師会館                   |
| 3/18  | 日 | 第8回 ICOI Fellowship 養成コース(5)        |                                                          | 本学507合議室                    |
| 3/21  | 水 | 中国支部代表会議                            | 西谷副会長                                                    | ホテルグランヴィア広島                 |
| 〃     | 〃 | 12校会議                               | 武井・高嶺副会長                                                 | ホテルグランドパレス                  |
| 3/26  | 月 | 法人理事会                               | 宮口会長                                                     | 本学園                         |
| 3/29  | 木 | 福岡歯科大学同窓会主催歯科医師研修医修<br>了祝賀会         | 勝俣副会長、水谷副会長                                              | 西鉄グランドホテル                   |

一般会計

平成29年度 福岡歯科大学同窓会会計収入支出決算書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

単位：円

収入の部

| 款 | 項 | 科 目        | 予 算 額      | 決 算 額      | 予算との差額     | 執 行 率  | 備 考                          |
|---|---|------------|------------|------------|------------|--------|------------------------------|
| 1 |   | 会費・入会金     | 25,500,000 | 21,125,000 | -4,375,000 | 82.8%  |                              |
|   | 1 | 会員         | 23,000,000 | 19,085,000 | -3,915,000 | 83.0%  | 会費及び入会金                      |
|   | 2 | 準会員        | 2,500,000  | 2,040,000  | -460,000   | 81.6%  | 入会金                          |
| 2 |   | 学術         | 1,720,000  | 1,366,000  | -354,000   | 79.4%  |                              |
|   | 1 | 講演会        | 1,000,000  | 757,000    | -243,000   | 75.7%  | 第31回学術講演会受講料・企業出展・協賛料        |
|   | 2 | 臨床セミナー     | 200,000    | 58,000     | -142,000   | 29.0%  | 第35回臨床セミナー                   |
|   | 3 | スキルアップセミナー | 520,000    | 551,000    | 31,000     | 106.0% | 2018年度スキルアップセミナー             |
| 3 |   | 雑収入        | 801,000    | 2,011,420  | 1,210,420  | 251.1% |                              |
|   | 1 | 預金利息       | 1,000      | 533        | -467       | 53.3%  | 一般会計分利息                      |
|   | 2 | 広告料        | 700,000    | 1,099,000  | 399,000    | 157.0% | 同窓会誌・名簿広告                    |
|   | 3 | その他        | 100,000    | 911,887    | 811,887    | 911.9% | 祝儀・同封手数料、宮口・神田先生祝賀会事務手数料、預り金 |
|   |   | 小 計        | 28,021,000 | 24,502,420 | -3,518,580 | 87.4%  |                              |
| 4 |   | 繰入金収入      | 0          | 0          | 0          |        |                              |
|   | 4 | 繰入金収入      | 0          | 0          | 0          |        |                              |
| 5 |   | 前年度繰越金     | 8,726,363  | 8,726,363  | 0          |        |                              |
|   | 1 | 前年度繰越金     | 8,726,363  | 8,726,363  | 0          |        |                              |
|   |   | 合 計        | 36,747,363 | 33,228,783 | -3,518,580 | 90.4%  |                              |

支出の部

| 款  | 項 | 科 目        | 予 算 額      | 決 算 額      | 予算との差額     | 執 行 率  | 備 考                           |
|----|---|------------|------------|------------|------------|--------|-------------------------------|
| 1  |   | 人件費        | 3,800,000  | 3,604,607  | -195,393   | 94.9%  |                               |
|    | 1 | 人件費        | 3,800,000  | 3,604,607  | -195,393   | 94.9%  |                               |
| 2  |   | 通信費        | 860,000    | 936,315    | 76,315     | 108.9% |                               |
|    | 1 | 通信費        | 860,000    | 936,315    | 76,315     | 108.9% |                               |
| 3  |   | 事務費        | 660,000    | 666,084    | 6,084      | 100.9% |                               |
|    | 1 | 事務費        | 660,000    | 666,084    | 6,084      | 100.9% |                               |
| 4  |   | 連絡会議費      | 3,400,000  | 2,872,248  | -527,752   | 84.5%  | 理事会・評議員会・総会・監査                |
|    | 1 | 連絡会議費      | 3,400,000  | 2,872,248  | -527,752   | 84.5%  |                               |
| 5  |   | 広報印刷費      | 2,170,000  | 1,998,209  | -171,791   | 92.1%  |                               |
|    | 1 | 広報印刷費      | 2,170,000  | 1,998,209  | -171,791   | 92.1%  |                               |
| 6  |   | 慶弔費        | 380,000    | 173,418    | -206,582   | 45.6%  |                               |
|    | 1 | 慶弔費        | 380,000    | 173,418    | -206,582   | 45.6%  |                               |
| 7  |   | 学術費        | 2,270,000  | 2,409,558  | 139,558    | 106.1% | 31回学術講演会、35回臨床セミナー、スキルアップセミナー |
|    | 1 | 学術費        | 2,270,000  | 2,409,558  | 139,558    | 106.1% |                               |
| 8  |   | 渉内費        | 4,500,000  | 3,609,174  | -890,826   | 80.2%  |                               |
|    | 1 | 渉内費        | 4,500,000  | 3,609,174  | -890,826   | 80.2%  |                               |
| 9  |   | 渉外費        | 4,550,000  | 4,730,346  | 180,346    | 104.0% |                               |
|    | 1 | 渉外費        | 4,550,000  | 4,730,346  | 180,346    | 104.0% |                               |
| 10 |   | 雑費         | 100,000    | 47,524     | -52,476    | 47.5%  |                               |
|    | 1 | 雑費         | 100,000    | 47,524     | -52,476    | 47.5%  |                               |
| 11 |   | 予備費        | 2,000,000  | 0          | -2,000,000 | —      |                               |
|    | 1 | 予備費        | 2,000,000  | 0          | -2,000,000 | —      |                               |
| 12 |   | 積立金        | 4,500,000  | 4,500,000  | 0          | 100.0% |                               |
|    | 1 | 名簿積立金      | 600,000    | 600,000    | 0          | 100.0% |                               |
|    | 2 | 退職金積立金     | 200,000    | 200,000    | 0          | 100.0% |                               |
|    | 3 | 備品積立金      | 200,000    | 200,000    | 0          | 100.0% |                               |
|    | 4 | 周年記念準備基金   | 1,000,000  | 1,000,000  | 0          | 100.0% | 同窓会記念事業の積立金                   |
|    | 5 | 学園改修等協力積立金 | 2,500,000  | 2,500,000  | 0          | 100.0% | 学園施設改修等・事業協力基金                |
|    |   | 小 計        | 29,190,000 | 25,547,483 | -3,642,517 | 87.5%  |                               |
| 13 |   | 預り金        |            | -571,600   |            |        |                               |
|    | 1 | 預り金        |            | -571,600   |            |        | 祝賀会会費預かり分                     |
| 14 |   | 次年度繰越金     | 7,557,363  | 8,252,900  | -695,537   | 109.2% |                               |
|    | 1 | 次年度繰越金     | 7,557,363  | 8,252,900  | -695,537   | 109.2% | 30年度繰越金                       |
|    |   | 合 計        | 36,747,363 | 33,228,783 | 3,518,580  | 90.4%  |                               |

# 平成29年度積立金会計収支決算書

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

単位：円

| 退職金積立金        |           |
|---------------|-----------|
| 過年度積立金        | 4,749,705 |
| 本年度積立金        | 200,000   |
| 利息（西日本シティ／野芥） | 21        |
| 合 計           | 4,949,726 |

| 基本財産積立金            |            |
|--------------------|------------|
| 過年度積立金             | 58,402,176 |
| 計上利息（普通・定期預金利息90％） | 4,795      |
| 合 計                | 58,406,971 |

| 周年記念準備基金      |           |        |           |
|---------------|-----------|--------|-----------|
| 収 入           |           | 支 出    |           |
| 過年度積立金        | 8,107,980 | 残高証明書  | 324       |
| 本年度積立金        | 1,000,000 |        |           |
| 利息（西日本シティ／野芥） | 68        | 合 計    | 324       |
| 合 計           | 9,108,048 | 次年度繰越金 | 9,107,724 |

| 学園改修等協力金             |            |                 |            |
|----------------------|------------|-----------------|------------|
| 過年度積立金               | 26,888,039 | 残高証明書・通知票再発行手数料 | 102        |
| 本年度積立金               | 2,500,000  |                 |            |
| 利息（ゆうちょ銀行／通常貯金4月10月） | 4          |                 |            |
| 利息（ゆうちょ銀行／定額貯金）      | 33,369     |                 |            |
| 利息（ゆうちょ銀行／定額貯金）      | 276        | 合 計             | 102        |
| 合 計                  | 29,421,688 | 次年度繰越金          | 29,421,586 |

| 備品積立金         |           |                                 |           |
|---------------|-----------|---------------------------------|-----------|
| 過年度積立金        | 1,692,320 | 東芝ノートパソコン                       | 113,400   |
| 本年度積立金        | 200,000   | レノボデスクトップPC2台                   | 218,160   |
| 利息（西日本シティ／野芥） | 13        | バッファロー外付けHD                     | 118,800   |
|               |           | ソフト（弥生・HPビルダー・office・DocuWorks） | 98,280    |
|               |           | PHILIPS ディスプレイ                  | 18,360    |
|               |           | 振込手数料                           | 864       |
|               |           | 合 計                             | 567,864   |
| 合 計           | 1,892,333 | 次年度繰越金                          | 1,324,469 |

| 名簿積立金        |           |           |           |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 過年度積立金       | 2,226,009 | 通信費       | 450,479   |
| 本年度積立金       | 600,000   | 印刷費3,600部 | 1,407,240 |
| 利息（西日本シティ／原） | 17        | 合 計       | 1,857,719 |
| 合 計          | 2,826,026 | 次年度繰越金    | 968,307   |

特別会計

平成29年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業収支決算書

(平成29年度 福岡歯科大学同窓会共催 第8回 ICOI Fellowship 養成コース)

自 平成29年4月1日  
至 平成30年3月31日

単位：円

収入の部

| 款       | 項 | 科 目 | 予 算 額     | 決 算 額     | 予算との差額     | 備 考              |
|---------|---|-----|-----------|-----------|------------|------------------|
| 1       |   | 参加費 | 5,000,000 | 2,025,000 | -2,975,000 |                  |
|         | 1 | 参加費 | 5,000,000 | 2,025,000 |            | 第8回参加費5名、特別講演会5名 |
| 2       |   | 雑収入 | 1,000     | 12        | -988       |                  |
|         | 1 | 雑収入 | 1,000     | 12        |            | 預金利息             |
| 小 計     |   |     | 5,001,000 | 2,025,012 | -2,975,988 |                  |
| 3       |   | 繰入金 | 1,308,894 | 1,308,894 |            | 前期繰越金            |
|         | 1 | 繰入金 | 1,308,894 | 1,308,894 |            |                  |
| 小 計     |   |     | 1,308,894 | 1,308,894 | 0          |                  |
| 収 入 合 計 |   |     | 6,309,894 | 3,333,906 | -2,975,988 |                  |

支出の部

| 款       | 項 | 科 目   | 予 算 額     | 決 算 額     | 予算との差額     | 備 考                              |
|---------|---|-------|-----------|-----------|------------|----------------------------------|
| 1       |   | 人件費   | 490,000   | 180,000   | -310,000   |                                  |
|         | 1 | 人件費   | 490,000   | 180,000   |            | 医局員アシスタント・手伝い（アルバイト）             |
| 2       |   | 通信費   | 100,000   | 39,406    | -60,594    |                                  |
|         | 1 | 通信費   | 100,000   | 39,406    |            | 郵送料等（一般会計より振替）                   |
| 3       |   | 会場費   | 30,000    | 0         | -30,000    |                                  |
|         | 1 | 会場費   | 30,000    |           |            | 口腔医療センター                         |
| 4       |   | 講演費   | 2,760,000 | 1,178,106 | -1,581,894 |                                  |
|         | 1 | 講師料   | 1,600,000 | 830,700   | -769,300   | 講師礼金、交通費・宿泊代                     |
|         | 2 | 材料費   | 900,000   | 151,132   | -748,868   | 材料・機材費、BLS受講料代（4名）               |
|         | 3 | 昼食費   | 100,000   | 85,050    | -14,950    | 弁当代                              |
|         | 4 | 印刷費   | 60,000    | 59,724    | -276       | 案内パンフレット印刷費                      |
|         | 5 | その他   | 100,000   | 51,500    | -48,500    | 患者様礼金・講師との懇親会費等                  |
| 5       |   | 事務費   | 500,000   | 30,000    | -470,000   |                                  |
|         | 1 | 事務費   | 500,000   | 30,000    |            | ICOIのホームページ作成料（負担金）              |
| 6       |   | 会議費   | 500,000   | 306,444   | -193,556   |                                  |
|         | 1 | 会議費   | 500,000   | 306,444   |            | ICOI会議への出張費（交通費・宿泊費）会議に係る費用      |
| 7       |   | 雑費    | 71,000    | 66,835    | -4,165     |                                  |
|         | 1 | 雑費    | 71,000    | 66,835    |            | 講演会開催に必要な消耗品・雑貨・菓子・飲み物           |
| 8       |   | 予備費   | 0         | 0         | 0          |                                  |
|         | 1 | 予備費   | 0         | 0         |            |                                  |
| 9       |   | 学会関連費 | 500,000   | 1,040,049 | 540,049    |                                  |
|         | 1 | 学会関連費 | 500,000   | 1,040,049 |            | 学会参加に係る講師料・懇親会負担分・交通費・英文翻訳・校正代など |
| 10      |   | 大学関連費 | 50,000    | 109,340   | 59,340     | 大学関係費                            |
|         | 1 | 大学関連費 | 50,000    | 109,340   |            |                                  |
| 小 計     |   |       | 5,001,000 | 2,950,180 | -2,050,820 |                                  |
| 9       |   | 繰越金   | 1,308,894 | 383,726   | -925,168   | 次年度繰越                            |
|         | 1 | 繰越金   | 1,308,894 | 383,726   |            | 西銀原支店 / NO1859079残               |
| 支 出 合 計 |   |       | 6,309,894 | 3,333,906 | -2,975,988 |                                  |

# 福岡歯科大学同窓会会則

## 第1章 総 則

### 第1条 名 称

本会は、福岡歯科大学同窓会と称する。

### 第2条 組 織

1. 本会は、福岡歯科大学（大学院を含む）を卒業（修了）した者及び福岡歯科大学在校生で組織する。
2. 本会は、各地区、学校法人福岡学園勤務の同窓との連携を計り、会務運営の円滑を期待するために地区会、学内同窓会を置くことができる。
3. 地区会の区割り及び学内同窓会、その他必要な事項については別に規則を定める。

### 第3条 目 的

本会は歯科界、並びに母校の発展に寄与し、併せて会員の福祉及び会員相互の親睦を図ることを目的とする。

### 第4条 事 業

本会は、第1章第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 母校の発展に関すること。
2. 会員の福祉増進及び親睦に関すること。
3. 歯科医学の向上に関すること。
4. その他本会の目的に関すること。

### 第5条 事務局

本会は事務局を福岡市早良区田村2丁目15-1福岡歯科大学内に置く。

## 第2章 会 員

### 第6条 会 員

本会は次の会員を以って組織する。

1. 正会員 福岡歯科大学（大学院を含む）卒業（修了）者で、第2章第7条第1項を満足するものとする。
2. 準会員 福岡歯科大学在校生。

### 第7条 会員の権利と義務

1. 会員は居住、又は就業する地域の地区会都道府県同窓会に所属することを原則とする（但

し、学内同窓会に所属する会員は、この限りではない）。

2. 会員は本会の主催する事業に参加し、本会の発行する機関誌及び印刷物の頒布を受け、若しくは購入することができる。
3. 会員は総会に出席し、意見を述べることができる。
4. 会員は、総会並びに評議員会の決定事項を遵守する義務を有する。
5. 会員は、住所を異動した場合、所属の都道府県同窓会を経由して本会に届け出なければならない。
6. 会員が死亡又は除名されたときは、本会会員の身分を失ったものとする。
7. 会員が本会を退会するときは、その旨を記載した書面を本会に提出しなければならない。
8. 正会員は、総会において議事を審議し、議決権を有する。また役員になることができる。
9. 準会員は、本校在学者とし、正会員としての権能は有しない。

## 第3章 名誉会長・名誉会員・

## 特別会員・臨床研修会員

### 第8条 名誉会長・名誉会員・特別会員・臨床研修会員

本会に名誉会長、名誉会員、特別会員、臨床研修会員を置くことができる。また、前項の会員は、本会の研修会等に出席し学術研究を発表し、あるいは本会の会誌及び刊行物の配布を受けまたは購入することができる。本条の会員は前項のほか、正会員の権利を有しない。但し、本会員の正会員で名誉会員に推薦された者はこの限りではない。

1. 名誉会長は、理事会の議決を経て会長が推薦する。任期は、会長の在任期間とする。
2. 名誉会員は、母校並びに本会に対して特に功労があった者を評議員会の議決を経て会長が推薦する。
3. 特別会員は、退職した母校の教授、または母

校並びに本会に対して特に功労があった者を理事会の議決を経て会長が推薦する。

4. 臨床研修会員は、他大学卒業の歯科医師法に定める臨床研修歯科医師で、本学で臨床研修を行っている者を会長が推薦する。また、会員の資格は臨床研修の期間とする。

## 第4章 会費及び負担金

### 第9条 会費及び負担金

1. 会員は本会所定の入会金、会費、及び負担金を本会へ納入しなければならない。
2. 入会金、会費及び負担金の額ならびに支払いの方法は、総会で決める。

### 第10条 会費の減免

本会の会員にして長期疾病及び災害等により本会所定の会費の支払いが極めて困難な者は、支部の申請に基づき理事会の議を経て、復帰するまでの期間を前提として会費を減免、またはその納入を猶予することができる。

### 第11条 会費の返還

本会に納入された入会金、年会費及び負担金はいかなる理由があっても返還しない。

### 第12条 負担金その他

本会は、評議員会、総会の承認を経て負担金を徴収することができる。

## 第5章 役員

### 第13条 役員の種別と定数

本会に次の役員を置く。

1. 会 長 1名
2. 副会長 若干名
3. 理 事 若干名
4. 監 事 3名以内

### 第14条 役員の選出

1. 会長、監事は選挙規則に従い、評議員会において正会員の中から選出する。但し、監事は他役員を兼任できない。
2. 副会長、理事、委員は会長が指名する。
3. 理事の内、1名を専務理事、若干名を常務理事とする。

### 第15条 役員の職務

1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 会長は総会、評議員会、理事会、委員会、地区会長会議を招集する。
3. 会長は、理事会の決議を要する事柄でありながら、緊急必要事項については専決することができる。但し、後日理事会へ報告しなければならない。
4. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時または欠けた時は会長の職務を代行する。
5. 専務理事は、会長の旨を受け会務を掌理し、会長及び副会長共に事故ある時または欠けた時はその職務を代行する。
6. 常務理事は、会長の旨を受けその担当業務を掌理して専務理事を補佐する。
7. 各前号に定める以外の理事は、会長の旨を受けて会務を分掌して会長を補佐する。
8. 監事は本会の業務と会計を監査し、評議員会、総会に報告しなければならない。

### 第16条 役員の任期

1. 会長、監事及び役員、委員の任期を2年とする。但し、再任を妨げない。
2. 役員は任期満了後も、後任が選出されるまでは、その職務を行う。

### 第17条 役員の補充

副会長、理事の欠員が生じた時は、本会会則5章第14条に従い補充することができる。その任期は前任者の残留任期とする。

### 第18条 顧問

本会は、顧問を置くことができる。顧問は会長が推薦し委嘱する。顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。

## 第6章 評議員

### 第19条 評議員

1. 本会に評議員を置く。
2. 評議員は第13条で規定する役員と兼ねることができない。

### 第20条 選任等

1. 評議員は正会員で地区会、学内同窓会より選出される。

2. 評議員の選任数は、地区会、学内同窓会における1月末日現在の本会会員50名までに対して1名、50名を超える場合は、50名までごとに1名の割合で加えた数の評議員を上限として選出するものとする。
3. 地区会、学内同窓会は評議員に変更がある場合は、速やかに本会に報告しなければならない。
4. 評議員の任期は2年とし、選任された年の4月1日に始まる。

#### 第21条 職務及び権能

1. 評議員は評議員会に出席し、地区会、学内同窓会の同窓会会員の意見を反映させると共に、その決定事項を地区会、学内同窓会の同窓会会員に報告しなければならない。
2. 評議員は、評議員会で会則その他の規定で定められていることを審議し、又は、本会の目的、事業について意見を述べることができる。

#### 第22条 職務代理及び代行

評議員に事故ある時または欠けた時は、当該地区より評議員会の議長宛に委任状を提出するか、または当該地区より代理人は書面をもって指定し届ける事とする。代理人は、評議員と同等の権利と義務を有する。

## 第7章 会 議

#### 第23条 会議の種類

1. 本会の会議は、総会・評議員会・常務理事会・理事会・委員会・地区会会長会議とする。但し、会長は必要に応じ会議を開催することができる。
2. 評議員会を本会の最高議決会議とする。

## 第8章 総 会

#### 第24条 構成・種別及び開催等

1. 総会は正会員を以って構成し、議決、報告及び承認する。
2. 総会は定時総会と臨時総会とする。
3. 定時総会は毎年1回原則として5月に開催する。
4. 臨時総会は、会長が必要と認めた場合に開催

する。

#### 第25条 招 集

1. 評議員の3分の2以上又は監事から、臨時総会の招集の要求があった場合は、会長はできるだけ早く臨時総会を招集しなければならない。
2. 会長は総会を招集しようとする時は、事前に日時、場所及び会議の目的を示した書面を以って会員に知らせなければならない。

#### 第26条 総会の権能

総会では、次の事項を承認又は議決し会員へ報告しなければならない。

1. 評議員会の決議承認事項
2. 会務全般にわたる事項
3. その他、総会において必要と認めた事項

#### 第27条 議長及び副議長

総会の議長及び副議長は出席正会員の中から選出する。

#### 第28条 委任規定

議事規則は、別に定める。

## 第9章 評 議 員 会

#### 第29条 構成・種別及び召集

評議員会は評議員を以って構成する決議機関である。

1. 評議員会は定時評議員会と臨時評議員会とする。
2. 定時評議員会は総会開催前に会長が招集する。
3. 臨時評議員会は会長が必要と認めた時、あるいは全評議員の4分の1以上の要求があった時に招集する。
4. 評議員会は、委任状を含む全評議員の3分の2以上の出席で成立する。

#### 第30条 意見陳述

役員は評議員会に出席して意見を述べるができるが、表決に加わることはできない。

#### 第31条 評議員会の権能と総会への上程

評議員会では次の事項を行い承認又は議決を経てこれを総会へ上程する。

1. 会則及び諸規則改正の審議
2. 会長選出

3. 前年度会計報告の審議並びに承認
4. 前年度会務及び事業報告の審議並びに承認
5. 新年度予算案の審議並びに承認
6. 役員の承認
7. 入会金、会費及び負担金の金額並びに徴収方法の決定
8. 本会の目標達成に必要な事業で経費を要するものの承認
9. その他の必要と認める事項

#### 第32条 議長及び副議長

評議員会の議長及び副議長は評議員で互選する。

#### 第33条 委任規定

議事規則は別に定める。

### 第10章 常務理事会

#### 第34条 常務理事会の構成

常務理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事を以って構成し会長が随時必要な場合にこれを招集する。

#### 第35条 権能

常務理事会は、常務会務並びに緊急を要する会務に関することを執行する機関であり、会長がこれを招集する。

1. 常務理事会で処理した事項は、理事会に報告しなければならない。

### 第11章 理 事 会

#### 第36条 理事会の構成及び招集

1. 理事会は、本会の会務全般を執行する機関であり、会長がこれを招集する。
2. 理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事、理事、委員を以って構成し、会長が随時必要な場合にこれを招集する。

#### 第37条 理事会の権能

理事会は本会の業務に必要な事項の審議を行う。

1. 総会及び評議員会の招集に関する事項とこれに付議する事項
2. 会費の減免に関する事項
3. その他本会の運営業務執行に関する事項

#### 第38条 監事の権能

監事は随時出席して意見を述べるができるが表決に加わることはできない。

### 第12章 委 員 会

#### 第39条 委員会

1. 会長は、必要に応じて理事会の同意を得て、委員会を置くことができる。
2. 委員会は、理事会の議を経て会長が委嘱した委員で構成する。
3. 委員会の種類、構成、活動は必要に応じ理事会で決定する。
4. 会長は随時必要な場合にこれを招集することができる。

#### 第40条 委員会の事業

委員会は、会務処理の円滑を図るため次の事業部を置き、常務理事が各委員会を統括する。

1. 総務
2. 福祉厚生
3. 組織
4. 広報
5. 学術
6. 企画・情報
7. 会計

#### 第41条 臨時委員会

1. 会長は、特別な行事及び重要な問題が生じた時に理事会の承認を経て臨時委員会を設置することができる。
2. 会長が委員長を指名し、会長及び委員長が必要に応じ委員を選任する。

#### 第42条 特別委員会

1. 会長は、特別な行事及び重要な問題が生じたときに評議員会の承認を経て特別委員会を設置することができる。
2. 会長が委員長を指名し、会長及び委員長が必要に応じ委員を選任する。

### 第13章 地区会会長会議

#### 第43条 地区会会長会議

本会議は、会長が必要と認めたとき随時開催することができる。

## 第14章 選挙管理委員会

### 第44条 選挙管理委員会

1. 本会に選挙管理委員会を置く。
2. 選挙管理委員会は、選挙管理委員をもって組織する。
3. 選挙管理委員会の構成及び任務その他必要なことは、選挙規則で定める。

## 第15章 会計及び財産

### 第45条 会計年度

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### 第46条 財産の構成

本会の財産は、次にあげるものをもって構成する。

1. 入会金
2. 年会費
3. 寄付金
4. 前年度の繰越金
5. その他の収入

### 第47条 財産の管理

本会の財産は、会長が代表としてこれを管理し、毎年その状況を評議員会、総会で報告しなければならない。

### 第48条 経費の支弁

本会の経費は、財産をもって支弁する。

### 第49条 委任規定

本規則に定める以外の財産の管理及び会計に関する規則は別に定める。

## 第16章 賞 罰

### 第50条 表 彰

会員で本会に功労のあった者、及び医療界に貢献した者は、評議員会の議決によって表彰することができる。

### 第51条 処 罰

会員で本会の目的趣旨に反し、またはその体面を汚したものは総会の議決によって適当な処置を講ずる。

## 第17章 会則の改正

### 第52条 会則の改正

本会則の改正には、評議員会及び総会において出席者の3分の2の賛成を以って議決されることを要する。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成20年5月24日から施行する。
3. この規則は平成23年5月28日から施行する。
4. この規則は平成26年4月1日から施行する。
5. この規則は平成29年5月27日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会地区会設置規則

第1条 本規則は本会会則第1章第2条第3項により定める。

1. 地区会は、地区会会長を選出できる。
2. 地区会に都道府県同窓会を置くことができる。

第2条 地区会の目的

1. 会務運営の円滑を期するため地区会を置く。
2. 地区会は当該地域内の都道府県同窓会、本部同窓会及び母校の発展に関する協議を行う機関とする。

第3条 地区会、都道府県同窓会の設置

各地区においては下記のように7地区（ブロック）に分割し地区の中に都道府県同窓会を置く。但し、福岡県に限っては4分割設置し、関東地区においてはこの限りでない。

福岡県地区会

（福岡県東、福岡県西、福岡県南、福岡県北）同窓会

九州地区会

（長崎県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）同窓会

中国地区会

（山口県、広島県、島根県、鳥取県、岡山県）同窓会

四国地区会

（愛媛県、高知県、香川県、徳島県）同窓会

近畿地区会

（兵庫県、大阪府、京・滋、奈良県、和歌山県）同窓会

中部地区会

（福井県、岐阜県、愛知県、三重県、石川県、富山県、長野県、静岡県）同窓会

関東地区会

（関東以北の都道府県を含む）

第4条 地区会の任務

1. 地区会は評議員を選出する。
2. 地区会は次の事項を本会に届けなければならない。

（1）役員の名簿

（2）会員の異動

（3）会員の死亡、若しくは不慮の災害が生じた場合

第5条 地区会会長

地区会会長は、地区会から選出し、本部長が指名する。地区会会長は地区会を代表して次の任務を行う。

1. 地区会会長は地区の同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 地区会会長は本部との連絡を密にし、地区会の決定事項、実施した事項及び本会本部に対する要望事項、その他必要な事項を本部長に報告しなければならない

第6条 都道府県同窓会会長

都道府県同窓会会長は、都道府県同窓会会員から選出し、本部長が指名する。都道府県同窓会会長は都道府県同窓会を代表して次の任務を行う。

1. 都道府県同窓会会長は都道府県同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 都道府県同窓会会長は地区会、本部との連絡を密にし、都道府県同窓会の決定事項、実施した事項及び地区会、本部に対する要望事項、その他必要な事項を地区会会長に報告しなければならない。

第7条 会議

1. 地区会会長は、必要に応じて会議を開催することができる。
2. 地区会会長は、会議に本部役員の出席が必要な場合、必要な役員を招聘することができる。
3. 近隣の地区会との協議が必要な場合は、合同で開催することができる。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成20年5月24日から施行する。
3. この規則は平成26年4月1日から施行する。
4. この規則は平成28年6月11日から施行する。
5. この規則は平成30年6月2日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会学内同窓会規則

第1条 本規則は本会会則第1章第2条第3項により定める。

1. 学内同窓会は、学内同窓会会長を選出することができる。

## 第2条 組織

1. 学内同窓会は、福岡歯科大学（大学院を含む）を卒業（修了）したもの、準会員及び学内勤務会員で組織する。

## 第3条 学内同窓会の目的

1. 会務運営の円滑を期するため学内同窓会を置く。
2. 学内同窓会は、本部同窓会及び母校の発展に関する協議を行う。

## 第4条 学内同窓会の任務

1. 学内同窓会は評議員を選出する
2. 学内同窓会は次の事項を本会に届けなければならない。
  - (1) 会員の名簿
  - (2) 会員の異動
  - (3) 会員の死亡、若しくは不慮の災害が生じた場合

## 第5条 会員

### 学内同窓会正会員

本会正会員で学校法人福岡学園勤務の者。

### 準会員

本会の準会員

## 第6条 学内勤務会員

学校法人福岡学園に5年以上勤務で、学内同窓会会長が推薦し本部理事会の議決を得て、会長が指名した者で、会費は正会員に準ずる。但し、正会員としての権能を有しない。

## 第7条 学内同窓会会長

学内同窓会会長は、学内同窓会会員から選出し本部の会長が指名する。学内同窓会会長は学内同窓会を代表して次の任務を行う。

1. 学内同窓会会長は学内同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 学内同窓会会長は本部との連絡を密にし、学内同窓会の決定事項、実施した事項及び本会に対する要望事項、その他必要な事項を本部長に報告しなければならない。

## 〔附 則〕

1. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会総会議事規則

## 第1章 会議の開閉

第1条 この規則は、本会会則第8章第28条に基づいて定めるものとする。

第2条 議事日程に記載した事項の議事が終わったときは、議長は散会を宣告する。会議を終わらない場合でも、議長は、過半数の賛成を得て延会又は散会をすることができる。

第3条 議長が会議を宣告する前、又は散会若しくは延会を宣告した後は、何人も議事について発言することはできない。

第4条 議事日程には、会議の日時及び会議に付する事項並びにその順序を記載しなければならない。

## 第2章 議 事

### 第1節 審 議

第5条

1. 審議中発言せんとする会員は、手を挙げ議長の許しを得て発言しなければならない。
2. 二人以上発言を求めたときは、議長はその発言の順序を決めることを要する。

第6条 すべての問答は、議長に向かってしなければならない。

第7条 一議案の審議中は、他の議案について発言することはできない。

第8条 発言は、個人の事柄にわたってはならない。

第9条

1. 会員が発議しようとするときは、その理由を付し、建議を添え、5人以上の賛成者とともに連署して会議の2週間前までに会長に提出しなければならない。
2. 動議は、5人以上の賛成者を得て提出することができる。
3. 議長は、第1項・第2項に規定する発議及び動議について議場に諮り、出席者の過半数の賛成を得た場合、これを議題とすることができる。

### 第2節 決 議

第10条 出席者は特別の理由がない限り、可否いずれかの数に加わらなければならない。

第11条 議長表決をとるときは、表決に附する事項を明らかにしなければならない。議長表決に附する事項を宣言した後は、何人も議案について発言することはできない。

第12条 賛否は出席者の過半数で決める。賛否を決める方法は、議長が適宜決める。賛否が同数のときは議長が決める。

第13条 修正案は、原案より先に賛否を決めなければならない。同一の議案について数個の修正案が提出された場合は議長が採決の順序を決める。その順序は、原案に最も遠いものから先に採決する。

第14条 修正案が全部否決されたときは、原案について賛否を決める。

第15条 修正案及び原案が共に過半数の賛成を得なかった場合は、委員会を設置して更に修正案を提出させることができる。

第16条 議決の条項中、字句の整理を議長に委任することができる。

第17条 討論終結及び散会、休憩の合議は、討論を用いないで議長が決める。

第18条 議長は、議事を妨げると認めるものがあるときは、退場を命ずることができる。

第19条 議長は、議事整理のためやむを得ないときは出席者の発言を止め又は中止することができる。

## 第3章 議 事 録

第20条 議事録には次の事項を記載する。

1. 総会の名称と開会の年月日時
2. 出席者の氏名
3. 会議に附した議案の題目
4. 議題となった動議及び発議者の氏名
5. 議決事項
6. 賛否の数を計算したときはその数
7. 議長において必要と認めた事項

第21条 議事録は、議長の指名した会員2人がこれに署名捺印しこれを本会に保管する。

### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会評議員会議事規則

## 第1章 総 則

### 第1条 趣 旨

この規則は、本会会則第9章第33条に基づいて定めるものとする。

### 第2条 氏名点呼

開議の時刻に至るときは、執行部はその席に着き、出席評議員の氏名を点呼する。

### 第3条 会議の開閉

1. 議長は、前条による氏名点呼の結果、定足数に達していることを確認したときは、開会を宣言する。
2. 会議の閉会は議長が宣言する。

### 第4条 欠席の届出

1. 評議員が欠席しようとするときは、予め議長に委任状と共に届けなければならない。
2. 評議員は、出席できないときは、その職務を代理する代理人を議長に届け出なければならない。

## 第2章 議 事

### 第5条 議題の宣言

議長は、会議に付する案件を議題とするときは、その旨を宣言する。

### 第6条 一括議題

議長は、必要があると認められるときは、2件以上の案件を一括して議題とすることができる。

### 第7条 案件の説明と質問

会議に付する案件は会議において提出者の説明を聞き、質問がある時は質問を行わせ、質問が終わった時は討論に付しその終結の後、表決に付する。

### 第8条 議決案件の条項、字句及び数字等の整理

評議員会は、議決の結果生じた条項、字句、数字、その他の整理については議長に委任することができる。

## 第3章 発 言

### 第9条 発言の許可等

1. 評議員が発言しようとするときは、挙手により議長を呼び自己の地区名と姓名を告げ、議長の許可を得なければならない。
2. 2人以上の挙手により発言を求めたときは、議長は先に挙手をした者と認めた者を指名して発言させる。
3. 評議員の発言は、すべて議長に向かってこれをなさなければならない。

### 第10条 発言内容

1. 発言はすべて簡明を旨とし、重複を避け、議題外にわたり又はその範囲を超えてはならない。
2. 議長は、その発言が前項の規定に反すると認めるときは注意をし、なお従わないときは発言を禁止することができる。
3. 評議員は、議題になっている案件に限り、質問をすることができる。

### 第11条 発言時間

1. 議長は、必要があると認めるときは予め発言時間を定めることができる。
2. 前項により、発言時間の定めをした場合に、評議員の発言がその予定時間を超えたときは、議長は注意し、又は発言の中止を命ずることができる。

### 第12条 議事進行に関する発言

1. 議事進行に関する発言は、議題に直接関係あるものについて、又は議事進行上の問題について、質問し、注意し、又は希望を述べるものでなければならない。
2. 議事進行の発言が、その趣旨に反すると認めるときは、議長は直ちに制止しなければならない。

### 第13条 議長の発言及び討論

1. 議長が討論しようとするときは、案件朗読後評議員席に着き代理者を議長席に着かせなければならない。

2. 議長が討論したときは、その議題の表決が終わるまで議長席に復することができない。

#### 第14条 質疑又は討論の終結

質問又は討論が終わったときは、議長はその終結を宣告する。

1. 発言が尽きないときは、評議員から質疑又は討論終結の動議を提出することができる。
2. 前項の動議が提出されたときは、議長は直ちに表決しなければならない。

### 第4章 議 決

#### 第15条 表決事項の宣告

議長は、議決しようとするときは、議決に付する議案又は動議の内容を宣告しなければならない。

#### 第16条 挙手による表決

表決は、挙手により議長はその多少を認定して可否を宣告する。

#### 第17条 修正案の採決の順序

1. 修正案は、原案より先に採決しなければならない。
2. 同一の議案について数個の修正案が出された場合は、議長が採決の順序を定める。その順序は原案に最も遠いものから採決する。
3. 修正案がすべて否定されたときは、原案について採決しなければならない。

### 第5章 発議と動議

#### 第18条 発 議

評議員会において評議員が議案を提出しようとするときは、提案理由を付し、5人以上の賛成者とともに連署して、開催日の2週間前までに会長に提出することができる。

#### 第19条 動 議

動議は、5人以上の賛成者を得て提出することができる。

### 第6章 議 事 録

#### 第20条 議事録の作成

議長は、評議員会の会期ごとに議事録を作成しなければならない。

#### 第21条 議事録署名人

議事録は、議長及び当日議長の指名した出席評議員2名がこれに署名捺印し、これを本会に保管する。

#### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会監査規則

## 第1章 総 則

第1条 本会会則第5章第15条第8項の規定に基づいて監事が行う監査は、この規則に定めるところによる。

第2条 監査は会務運営と財産管理の全般について、その実態を正確に把握し運営の合理化と業務の改善に資すると共に過誤を防止し、財産の保全を図ることを目的とする。

第3条 監事は、前条の目的を達成するため経理の適正と財産の保全の監査を行う。

第4条 監査は、公平不偏なる態度をもって事実に基づいて行い、想像推察によって事象を判断してはならない。

## 第2章 監査の方法・種別及び時期

第5条 監査の方法は、書類監査と実地監査とする。

第6条 監査の種別は、定時監査と臨時監査に分かれ、次の各号によることとする。

(1) 定時監査は年1回、4月に行う

(2) 臨時監査は必要と認めた場合

第7条 実地監査は年1回以上行うものとする。

第8条 監事は監査を実施するために役員又は事務局に対し、帳簿、諸報告書及び諸統計その他必要な資料の提出を命じ、又は事実の説明その他監査に必要な事項を要求することができる。

第9条 監査は、書類、帳簿、証拠書類等の記録に基づき、突合わせ、分析、実査、質問、立会い等必要と認める監査手段を選択適応して実施する。又、監査手段の選択適応については、その重要性、範囲、日数、効果等を勘案して決定する。

## 第3章 監査報告

第10条 監事は、監査の都度、監査報告書を次により作成し、会長に提出するとともに、評議員会及び総会に監査の実地状況及び結果などを総括し、文書により報告するものとする。

第11条 会長は監査の結果に基づき対策及び措置を必要とするときは、速やかに理事会にはかり措置するものとする。

第12条 監事の監査報告書は、本会の運営管理全般に関し、有効な改善を計るための重要な資料とするものである。

## 第4章 補 則

第13条 役員の任期満了の年の年度会計決算書の監査は、新任監事で行い、旧監事が立会いするものとする。

### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日より施行する。

# 福岡歯科大学同窓会財産管理及び会計規則

## 第1章 総 則

### 第1条 趣 旨

この規則は本会会則第47条に基づいて定めるものとする。

### 第2条 財産管理及び会計の責任者

1. 財産管理及び会計の最終責任者は、会長とする。
2. 会長は、財産管理及び会計について直接的責任を会員に対して負うものとし、会計担当役員がこれを補佐する。

### 第3条 予算統制

本会のすべての収入及び支出は、予算に基づいて統制を行う。

### 第4条 予算期間

予算は単年度予算とする。

### 第5条 予備費の設置

1. 不時の支出に充てるため予備費を設けることができる。

### 第6条 決算剰余金の次年度繰越

各会計年度において決算上剰余金を生じたときは、次年度に繰り越すものとする。

## 第2章 財産の管理

### 第7条 会計の資金区分

本会の会計は、次の資金区分による。

#### (1) 一般会計資金

本会の経常的な事業活動に使用される資金

#### (2) 積立会計資金

引当資金としての積立資金

#### (3) 別途会計資金

別途の事業資金

### 第8条 会計相互間の貸借の禁止

各会計相互間の貸借を禁ずる。ただし、評議員会の承認を得た場合はこの限りではない。

### 第9条 運用収益金

各会計の運用収益金は、各会計に繰り入れるものとする。

### 第10条 寄付金品の使途

使途を決めて寄付された金品はその使途に用

い、決められていないものは評議員会に諮って使途を決める。

### 第11条 取引銀行・有価証券・固定資産

1. 次の事項は、会長が理事会の議を経て行う

(1) 取引銀行の新設及び変更

(2) 有価証券（電話債券を除く）の取得、売却、貸付、入質

(3) 固定資産の購入、改良、売却、除去、賃借、入質

2. 前項の規定にかかわらず、次の事項は評議員会の承認を要する。

(1) 多額の積立金の取引銀行の新設及び変更

(2) 不動産の購入、改良、売却、除去、賃借、入質

### 第12条 金銭の定義

1. この規則で金銭とは、現金、預金および合同運用信託をいい、現金とは通貨のほか、小切手、郵便為替証書、振替貯金証書などをいう。

2. 公社債、債権などの有価証券及び手形は金銭に準ずるものとして扱う。

### 第13条 資金の範囲

本会において資金の範囲とは、次に掲げるものとする。

(1) 第12条に規定する金銭

(2) 短期間において入金或いは支払うべきことが確実な、未収、未払金等の債権債務

### 第14条 固定資産の定義

1. この規則で固定資産とは次に掲げるものをいう。ただし、時の経過によりその価値を減少する償却資産については、耐用年数が1年以上で1単位当たり取得価格が償却資産課税額のものを用いる。

(1) 有形固定資産

土地、建物（建物付属設備含む）・構築物・備品（機械装置、車両運搬具、器具含む）

(2) 無形固定資産

借地権・施設利用権・電話加入権など

2. 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる資産は、会計書類上固定資産として仕訳する。

(1) 長期預託を目的とした預金・合同運用信託、

長期保有を目的とした有価証券など。

#### 第15条 固定資産の取得価格

固定資産の取得価格は次の各号による。

- (1) 購入によるものは、購入価格に付帯費用を加算した金額
- (2) 交換によるものは、交換に際し提供した物件の帳簿金額
- (3) 贈与によるものは、評価額

#### 第16条 物品の定義

この規則で物品とは、事務用品等で耐用年数1ヶ月以上で、1単位当たり取得価格が5千円以上、償却資産課税額未満のものをいう。

### 第3章 会 費

#### 第17条 入会金及び年会費

正会員、準会員、勤務会員の入会金及び年会費は次のとおりとする。

1. 入会金 30,000円
2. 年会費 10,000円

#### 第18条 支払方法

1. 本会所定の入会金、会費並びに負担金は所属の地区会支部同窓会を経由して本会に支払わなければならない。但し、所属の地区会支部同窓会を経由することが困難な場合には、直接本部に会費を支払うことを妨げない。
2. 準会員、勤務会員は、本会所定の入会金を本会に支払わなければならない。

### 第4章 会費の減額及び免除

#### 第19条 会費の免除

1. 本会の会員にして、通算40年を経過し、本会則第2章第7条第1項の義務を果たしているものについては、当該所属地区会会長、または当該所属都道府県同窓会会長の報告により理事会の承認を経て、その会費を全額免除する。
2. 臨床研修会員は、年会費は正会員の2分の1とし、入会金は免除とする。
3. その他の特別会員・名誉会長・名誉会員は、会費、入会金は徴収しない。
4. 前項のほか会員のうち特別な事情ある者に対しては、理事会の決定により、会費を減免することができる。

### 第5章 予算の編成と執行

#### 第20条 予算編成

予算編成は、会長が理事会の議を経てこれを行う。

#### 第21条 予算科目

1. 予算は、収支の性質、目的に従い、款、項の科目に区別する。
2. 予算科目は、事業計画との関連を明瞭に表示する名称を用いる。

#### 第22条 予算の補正

規程予算の変更を必要とするときは、会長は理事会の議を経て予算の補正を行い、評議員会の承認を求める。

#### 第23条 款相互間の流用の禁止

予算の執行にあたって、各款の予算金額は、相互に流用してはならない。

#### 第24条 予算執行上の理事会付議事項

次の事項は、会長が理事会の議を経て行い、次の評議員会で報告する。

- (1) 同一款内における各項の予算の流用
- (2) 緊急の必要にもとづく軽微なる予算の変更

### 第6章 決 算

#### 第25条 決算の作成時期

会長は、毎会計年度終了後2ヶ月以内に会計担当役員に決算書類の作成を求め、会長に提出する。

会長は理事会でこの決算書類を審議、監事の認証を得て、評議員会及び総会の承認を求める。

### 第7章 補 則

#### 第26条 委 任

この規則の施行についての必要な事項は、会長が理事会の議を経て定める。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成24年5月26日から施行する。
3. この規則は平成26年4月1日から施行する。
4. この規則は平成30年6月2日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会福祉共済規則

## 第1章 総 則

第1条 この規則は、本会会則第1章第4条第2項に基づいて規定する。

第2条 本共済は、福岡歯科大学同窓会会員を以って組織し、会員相互扶助の精神に基づき、福祉厚生をはかることを目的とする。

第3条 前述の目的達成の為、次のことを行う。  
弔慰金、慰労金、会員の療養、火災、天災その他、福祉厚生に関して必要な給付を行う。

## 第2章 給 付

〈給付〉

第4条 給付の有無並びに支給額は理事会において決定する。

〈弔慰金〉

第5条 会員死亡に対しては弔慰金、弔花、弔電を贈る。但し5万円を上限とする。

第6条 名誉会員および特別会員の死亡に対しては弔慰金、弔花、弔電を贈る。

〈会員の療養〉

第7条 会員が入院加療の場合は次の通りとする。  
(入院後2ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して診断書を本部に提出)

イ. 1ヶ月以上 3万円

〈火災〉

第8条 火災見舞金は、次の通りとする。(火災発

生後6ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して本部に通知)

イ. 全焼又は総面積の50%以上 3万円

ロ. 総面積の50%未満 2万円

〈天災、その他〉

第9条 水害等の天災に対する見舞金は、次の通りとする。(災害発生後6ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して本部に通知)

イ. 全壊又は総面積の50%以上の破壊 3万円

ロ. 床上浸水又は総面積の50%未満の破壊 2万円

〈会長先決〉

第10条 会長は、緊急必要事項については応急の処分をすることができる。但し、後日理事会への報告が必要である。

〈会則改正〉

第11条 本共済の規則改正は理事会の承認を経て改正される。

## 〔附 則〕

1. この改正規則は、昭和59年5月より施行する。
2. この改正規則は、昭和61年5月より施行する。
3. この改正規則は、昭和63年5月より施行する。
4. この改正規則は、平成2年5月より施行する。
5. この改正規則は、平成10年5月より施行する。
6. この改正規則は、平成19年5月より施行する。
7. この規則は、平成22年5月29日より施行する。
8. この規則は、平成26年4月1日より施行する。

# 福岡歯科大学同窓会選挙規則

## 第1条 趣 旨

この規則は、本会会則第5章第14条第1項に基づいて定めるものとする。

## 第2条 選挙方法

選挙管理委員会が評議員会に委嘱する。

## 第3条 選挙管理組織

1. 選挙管理委員長を同窓会会長が指名し、評議員会の承認を得る。
2. 選挙管理委員長は選挙管理委員を若干指名することができる。

## 第4条 選挙管理委員長の任期

任期は2年とする。

## 第5条 選挙権

福岡歯科大学同窓会の評議員とする。

## 第6条 被選挙権

1. 福岡歯科大学同窓会正会員とする。
2. 重複立候補の禁止  
候補者は会長と監事の重複立候補はできない。
3. 選挙事務関係者の立候補制限  
選挙管理委員長、選挙管理委員は、その在職中に候補者となることはできない。立候補する場合は、その職を辞することとする。

## 第7条 選挙期日

選挙管理委員会が指定する日

## 第8条 選挙の告示

選挙は選挙期日の2ヶ月前に選挙管理委員会が告示する。

## 第9条 立候補の届出

選挙の告示から1ヶ月以内に郵送かあるいは文書で選挙管理委員会に届ける。

## 第10条 立候補の辞退

文書を選挙管理委員会の定める期日迄に選挙管理委員会に届ける。

## 第11条 当選人

1. 有効投票の最多数を得た者。

2. 得点が同数ならば（最多数同志）決選投票とする。

3. 候補者が定員数以内の場合には、投票を行わず、当該候補者をもって当選人と定める。なお、定員に足りないときには、別段の方法をとることができる。

## 第12条 当選人決定の告知及び告示

当選人が決定したら、選挙管理委員会は直ちに当選人の住所、氏名及び得票数、各候補者の得票数を会員に報告しなければならない。

## 第13条 当選の効力発生

当選人の住所、氏名の告示のあった日から生ずる。

## 第14条 選挙に際しては次の細則をもうける。

1. 選挙運動の期間  
立候補の届出より選挙の前日まで。
2. 選挙運動  
選挙管理委員会の指示に従う。
3. 選挙立会人  
候補者は選挙立会人を1人指名して、前日迄に選挙管理委員会に届け出る。
4. 開票の指定及び告示  
選挙管理委員会が指名及び告示する。

## 第15条 選挙規則の改正

選挙規則の改正は、選挙管理委員会が審議し、評議員会の承認を得るものとする。

## 〔附 則〕

1. この規約は、昭和54年3月より施行する。
2. この改正規約は、昭和58年5月より施行する。
3. この改正規約は、昭和62年5月より施行する。
4. この改正規約は、平成19年5月29日より施行する。
5. この規則は、平成22年5月29日より施行する。
6. この規則は、平成26年4月1日より施行する。

## 編集後記

いよいよ平成最後の冬となりました。ここに福岡歯科大学同窓会誌37号が刊行されたことを、編集に関わった者として大変嬉しく思っております。

今年は、1973年の福岡歯科大学開学以来、初めての卒業生の学長（高橋裕学長）が誕生したという素晴らしい年となりました。また学校法人福岡学園及び福岡歯科大学は、1972年7月に設置認可され、2022年に創立50周年を迎えます。創立50周年の節目を迎えるにあたり、これを記念して講演会や学生イベントの開催等の各種記念事業が実施される予定です。また、事業の1つには施設・設備整備として記念講堂の建設を計画しており、600名収容の大ホールとともに大小のセミナー室を配置し、学内外の様々な学会・公開講座などを催して最新の情報を発信するほか、入学式・卒業式の会場として利用する予定です。卒業生の皆様には同記念事業の趣旨にご賛同いただき、何卒、格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて今回より、NEW コーナーとして「福歯大 komachi」を新設しました。ここでは、女性歯科医師の活躍と近況報告を書いていたいただきましたのでこちらもぜひご覧ください。

最後になりましたが、編集作業の時間的制約もあり詳細な部分で不備がないか不安な面があります。この点につきましては、同窓会誌を手にとられた方々に、ご理解ご寛容いただきたくお願い申し上げます。またご多忙にもかかわらずご寄稿を頂戴した水田理事長先生をはじめ沢山の先生方、ご助言やご指導をいただいた同窓の先生方並びに編集委員の皆さんへ改めて心よりお礼申し上げます。至らないところもありましたが無事に編集を終えることができました。次号も温かく見守っていただけると嬉しく思います。

広報理事 後藤加寿子（21期）



私たちは習慣の生き物だから、今までと同じ考え方を続ける傾向がある。それを打ち破るためには、新しい考え方を取り入れるのが一番です。今回の背振37号からは、編集を短期大学の後藤加寿子先生（21期）にお願いし、初めての試みとして最先端でご活躍の女性の先生方を中心に「komachi」の欄を新設いたしました。

先日、私事ではありますが、10月7日（日）に4年前から始めた「第4回マイコン部OB会・DTP部合同懇親会」に出席した際に、「歯科大学、短期大学、看護大学」の3大学の学生さん24名とOB13名の参加した総合的な会に、初代顧問の黒水健二先生（化学）も出席され、学生時代から学生生活・大学院・開業等、現在に至るまで幅広い話し合いを持ててうれしい限りです。懇親会終了後「LINE」でつながり、来年また会うのを楽しみに解散しました。

いろんなことがチャレンジできる時代です。

改善できる点は改善し、改善できない点は今後の課題として取り組んでいこうと考えています。ご意見・ご感想などありましたら、同窓会事務局へご連絡下さい。

同窓生の会員の皆様のお役に立つことを心から願ってやみません。最後に名刺交換時に原稿依頼を心良く引き受けて頂きどうもありがとうございました。山口から休みを利用してこの脊振のために「表紙の4K写真」のご提供をして頂いた佐々木 猛先生（1期）この場をお借りしてお礼を申し上げます。

広報常務理事 劉 中憲（14期）



## 『背振』 第37号

福岡歯科大学同窓会誌

2018年12月19日発行

発行責任者 宮口 厳

編集責任者 後藤加寿子、劉 中憲

福岡歯科大学同窓会

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1

TEL (092) 863-2966 FAX (092) 863-2967

E-mail dousoukai@college.fdcnet.ac.jp

URL <http://www.fdcnet.ac.jp/col/collink/alumnus/index.html>

印刷所 大同印刷株式会社

〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20

TEL (0952) 71-8520(代) FAX (0952) 71-8528

## 会誌編集委員会

### 広報委員会

|      |            |
|------|------------|
| 常務理事 | 白本 光七（2期）  |
| 常務理事 | 劉 中憲（14期）  |
| 理事   | 佐藤 毅（3期）   |
| 理事   | 廣瀬 武尚（4期）  |
| 理事   | 三箇 正賢（18期） |
| 理事   | 後藤加寿子（21期） |
| 理事   | 廣松 亮（32期）  |
| 理事   | 石井 太郎（35期） |
| 理事   | 緒方 令（36期）  |
| 理事   | 松藤 潤（40期）  |

### 企画・情報委員会

|      |            |
|------|------------|
| 常務理事 | 小柳 進祐（12期） |
| 理事   | 田中 靖彦（12期） |
| 理事   | 荻野 真介（24期） |
| 理事   | 田代 剛（26期）  |

# 25 New 28



## 新たに、埋伏歯除去用が追加！

- 半チャックで使用していた悩みを解決！
- ロングテーパーであるため視野の確保が可能！
- 埋伏歯、メタルポスト、メタルコア、ファイバーコアなどの除去に効果を発揮！

### One Point

12万回転以下で5倍速(マイクロモーター)  
などを使用すること。

Surgical Burs  
**サージカルバー**

New MZB+

標準価格  
(4本入/ケース) **2,500円**

製造販売 **MANI**  
MANI, INC. マニー株式会社

〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地8-3  
【デンタル営業】Tel: 028-667-8591 / Fax: 028-667-8593  
Exp. Sec. / Phone: 028-667-8592 Telefax: 028-667-8596 URL: <http://www.mani.co.jp>

医療機器届出番号 09B1X0006003010  
一般医療機器 一般的名称 歯科用カーバイドバー  
販売名 マニーカーバイドバー

# ORTEXER

口腔粘膜治療剤

## オルテクサー®口腔用軟膏 0.1%

トリアムシノロンアセトニド 口腔軟膏 0.1%

後発医薬品

薬価基準収載



「効能・効果」、「用法・用量」、禁忌を含む「使用上の注意」等については、製品添付文書をご参照ください。

作成日：2018.9

Bee BEE BRAND  
MEDICO DENTAL

### ホームページのご案内

「くすりのしおり」や「つけ方」等の資料は弊社のホームページからダウンロードしてお使いいただけます。ぜひご利用ください。



(つけ方)

オルテクサー

検索

[https://www.bee.co.jp/dental/02\\_10.html](https://www.bee.co.jp/dental/02_10.html)

製造販売元 資料請求先

(株)ビーブランド・メディコーデンタル 大阪市東淀川区西淡路5-20-19 TEL:(06)6370-4182

くすりに関するご相談は「医療情報推進部」まで。 ☎(03)3295-6926  
土・日・祝日を除く 9:00~17:00

## ご存知ですか？

アサヒプリテック(株)だからできること

AMS (アサヒメタルアカウントシステム) という

金・白金・パラジウム・銀を、

それぞれ今より高く売却する方法があること

アサヒプリテック(株)の分析能力が、

世界的に評価されているということ

小さな資源を、  
あらたな資産へ



ASAHI PRETEC

アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サビアタワー TEL (03) 6270-1831 FAX (03) 6270-1825 URL : <http://www.asahipretec.com>

■営業所 / 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄

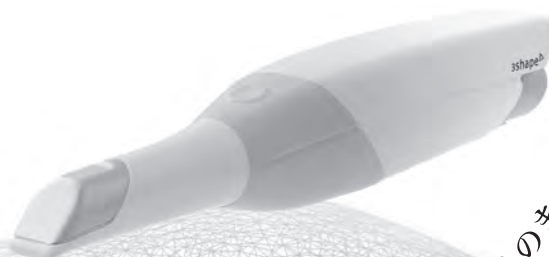


more free

# 3Shape TRIOS



Impress your patients



TRIOSがスキャン精度、速度はそのままに、  
コードがなくなり、自由になりました。

## TRIOS 3 オーラルスキャナ

モデルS2P ペングリップタイプ(ワイヤレス)

一式・・・¥6,800,000

ライセンス料金(2年目以降)・・・¥200,000/年

デジタル印象採得装置(歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット)

管理医療機器 医療機器承認番号22800BZ100042000

特定保守管理医療機器

価格は2018年11月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。



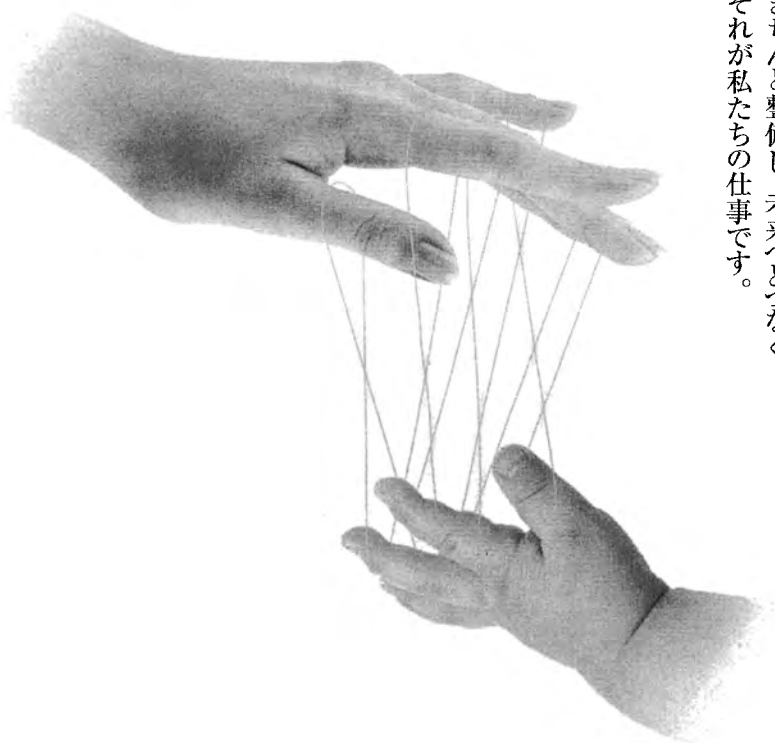
世界の歯科医療に貢献する

**株式会社 松風**

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

<http://www.shofu.co.jp>

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595



エネルギーがつくりだす  
未来の環境を  
あなたに。  
未来を明るく  
照らします。  
世の中には、いろいろな電気の道が走っています。  
その道をいろいろなカタチにしながら、  
きちんと整備し、未来へとつなぐ。  
それが私たちの仕事です。

## HOT LINE OF HUMAN RELATIONS

設計・施工/電気設備工事(屋内・屋外)、空調・給排水衛生設備工事

株式  
会社

**佐 電 工**

本 社/佐賀市天神1丁目4番3号 0952-23-4144  
福岡支店/福岡市早良区祖原21番2号 092-821-3033

弔慰金  
制度

医師  
賠償責任  
補償制度

休業  
補償制度

70歳までの  
収入あんしん  
補償制度

ファミリー  
お見舞金  
制度

個人  
賠償責任  
補償制度

学術  
講演会

傷害  
補償制度

しっかりとした  
安心を。



**医療共済会**

〒454-0011

名古屋市中川区山王1丁目7番24号 山王ビル

フリー  
ダイヤル

☎0120-351153

ホームページで  
簡単!資料請求!!

<http://www.ikyousai.jp>

医療共済会 |

検索



# SOLIO XZ MAXIM

CBCT+Pan+Ceph

## 「矯正診断をかえる」 待望のセファロモデル登場

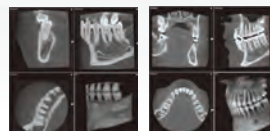
- ピクセルサイズ 76μmで実現した、朝日レントゲン史上最高画質のセファロ画像。
- ブレを防ぐ、撮影時間わずか 1.0 秒以下のワンショットセファロ撮影。
- CT撮影後に、かんたんな操作で行える、様々なCT画像再構成機能が診断の幅を広げます。



■セファロ (側面)



■パノラマ



■CT D-mode  
φ51mm×55mm(H)

■CT I-mode  
φ90mm×91mm(H)

販売名: ソリオ エックスシリーズ 認証番号: 228AABZX00061000 標準価格: ¥ 19,000,000

製造販売元 **朝日レントゲン工業株式会社** 〒601-8203 京都府京都市南区久世山町376番地の3  
TEL: 075-921-4330 FAX: 075-921-6675  
※ 日本国内の各拠点の詳細につきましては、WEBサイトに掲載しております。 ※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

<http://www.asahi-xray.co.jp>

**朝日レントゲンメールマガジン**  
最新の特典情報・展示会情報・セミナー情報等を配信いたします。  
登録方法: asahi@f.blayn.jp に空メールを送信してください。

## 医療機関向け空気浄化装置

# MEDICAL LIGHT AIR

<メディカルライトエア>

## 治療は院内の空気環境から。

治療中に発生する目に見えない物質や、来院される患者様が外部から持ち込む様々な有害物質が院内には浮遊しています。時にそれは治療の妨げや、患者様への不安要素となる場合があります。メディカルライトエアは光触媒を搭載し理想的な空気に浄化してキレイな院内空気環境をお届けします。



ニオイ  
ウイルス  
粉塵

# 光触媒

セラミックフィルター搭載



医療機関向け空気浄化装置  
「メディカルライトエア」を動画でご覧頂けます。  
▶ 詳しくはこちらで動画を観ることができます。  
<http://www.tokyogiken.com/ja/mla/>



◆実験結果 (第三者機関での除菌テスト)  
外部研究機関試験による抗菌・抗ウイルスデータ

ウイルス除去率最大 99.95%

■除菌率 (%) の計算 (一度の通過による除去率)  
価 値 : (UV 照射回数 - OUT 照射回数) ÷ (UV 照射回数 × 100)  
試験機関 : 株式会社 東京技研 先進研究センター (東京都目黒区)  
試験結果 : 細菌・ウイルスについて除去能力あり。  
※ 実使用空間での実証効果ではありません。

ウイルス : (UV 照射回数 - OUT 照射回数) ÷ (UV 照射回数 × 100)  
試験機関 : 00416 (試験実施機関: 2004.11.29~2005.3.8)  
試験空間の大きさ : 1(m<sup>3</sup>)の実験ボックス (密閉空間)

**株式会社 東京技研**  
URL: <http://www.tokyogiken.com>  
e-mail: TG@tokyogiken.com

【東京本社】〒158-0087 東京都世田谷区玉堤 1-25-13 tel: 03-3703-5581 fax: 03-3705-1760  
【横浜工場】〒224-0023 横浜市都筑区東山田 4-42-37 tel: 045-591-4441 fax: 045-591-4445  
ISO9001 ISO13485 認定工場  
■性能向上のため、製品の仕様、価格等は予告なく変更する場合があります。 ■印刷の都合上、掲載写真と実物が異なる場合があります。 ■適用機種以外や指定方法以外の取り付け、ご使用方法などによるクレームには対応いたしません。 ■本掲載商品は国内使用を前提に製造しております。日本国外にて発生したクレームは一切の受け付けできません。





## 歯科用スクラップを どうしていますか？

現在、環境問題は、地球規模となり、人々の生活に大きく関わっています。  
一人一人ができること、市や国ができること、スケールは様々ですが、  
企業ができることのひとつとして、限りある資源を大切に  
そして有効に利用していくことがあります。  
このリサイクルについて、独自のシステムを開発、構築し、  
環境保全や人々に喜ばれる事業を目指しています。

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

**(株)ICAWARYO九州**

**0120-920-942**

<http://www.kawaryo-q.co.jp> [info@kawaryo-q.co.jp](mailto:info@kawaryo-q.co.jp)

- 九州本社 / 〒860-0052 熊本県熊本市西区田崎本町10-4  
TEL 096-356-2578 FAX 096-274-1221
- 福岡営業所 / 〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎1-11-11F  
TEL 092-409-2418 FAX 092-409-2427
- 鹿児島営業所 / 〒891-0113 鹿児島県鹿児島市東谷山6丁目33-18  
TEL 099-297-6938 FAX 099-297-6935
- 沖縄営業所 / 〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古2-7-12  
TEL 098-897-4002 FAX 098-988-0248

### Kawaryo Group Organization

**(株)ICAWARYO PGM**

〒431-1105  
静岡県浜松市西区通東町5850-2F

**(株)サンコー大阪**

〒578-0911  
大阪府東大阪市中新開2-4-23

**ユタカ(株)**

〒604-8455  
京都市中京区西ノ京藤ノ木町5-8

**(株)ピージーエム・プラス**

〒770-0006  
徳島県徳島市北犬三町3-1-55

チラシ・カタログ・ポスターから専門書・自費出版物まで、  
すぐにお見積り致します。



**大同印刷株式会社**

〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20  
<http://www.daidou-jp.com>

**TEL(0952)71-8520**

FAX(0952)71-8528

Thinking ahead. Focused on life.



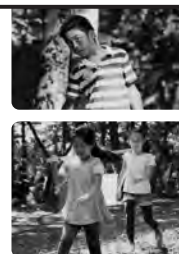
# Spaceline EX

Human Centered Design - 人が中心

変わることなく進化する、それが Spaceline のコンセプトです。  
人が中心 という不変のテーマはそのままに、ユニバーサルデザインを根幹とし、  
より一層の機能性、操作性、快適性を追求した新たな Spaceline が誕生しました。

## Debut

発売  
株式会社 モリタ  
大阪本社 大阪府吹田市豊水町3-33-18  
〒564-8650 T 06 6380 2525  
東京本社 東京都台東区上野2-11-15  
〒110-8513 T 03 3834 6161  
お問合せ お客様相談センター 資料送付・販売専用  
T 0800 222 8020 (フリーコール)  
製造販売・製造  
株式会社 モリタ製作所  
本社工場 京都府京都市伏見区東浜町680  
〒612-8533 T 075 611 2141  
販売名: スペースライン  
標準価格: 4,510,000円〜(消費税別) 2017年11月21日現在  
一般的名称: 歯科用ユニット  
用途の分類: 管理医療機器(クラスⅡ)  
特定保守管理医療機器  
治療機器認証番号: 228ACBZ000018000  
[www.dental-plaza.com](http://www.dental-plaza.com)



子どもたちに  
誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION  
**清水建設**





これまでの半世紀を

**50<sup>th</sup>**  
Anniversary

西鉄グランドホテルは  
2019年に50周年を迎えます

伝統のおもてなしをこれからも。



50周年へ向け宿泊・レストラン・婚礼にて様々な記念イベントを開催予定。  
次の半世紀へ繋ぐ西鉄グランドホテルの催しにご期待ください。

**西鉄グランドホテル**

〒810-8587 福岡市中央区大名2丁目6-60  
TEL. 092-781-0711



その先にあるもの

**30<sup>th</sup>**  
Anniversary

ソラリア西鉄ホテルは  
2019年に30周年を迎えます

洗練された空間で過ごす上質なひと時。



全客室をよりラグジュアリーな空間へリニューアル。またホテル最上階17階は  
グリル・鉄板焼・バーが揃う複合的なレストランフロアへ生まれ変わりました。

**ソラリア西鉄ホテル福岡**

〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目2-43  
TEL. 092-761-6500

**NISHITETSU HOTELS Co., Ltd.**

誰もが使いやすく機能的な歯科用レセコン登場!!



**Sunny-NORIS**

Next Online Receipt Innovation System



**sun**  
SYSTEM

**サンシステム株式会社**

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-4 oak神田鍛冶町3F

TEL: 03-3526-5352 FAX: 03-3526-5353 <https://www.sunsys.co.jp>

私たちは、患者と医院がより良いコミュニケーションを図り、健全な医院経営を行えるよう、システムを通し医療IT分野でのサービスの確立を目指します。

信頼・安心・真心のサポート



総合リスク産業  
有限会社

ファイン

代表取締役

吉村 大二郎

〒818-0132 太宰府市国分1-13-26

TEL(092)918-1230 FAX(092)918-1231

【取扱保険会社】

- ・三井住友海上火災保険(株)
- ・三井住友海上あいおい生命保険(株)
- ・メットライフ生命保険(株)
- ・オリックス生命保険(株)

リスクマネジメント業務・保険に関するコンサルティング・交通事故相談

歯科総合システム

Best Solution for Dental Clinic.

デンタルクィーン

＜生産性向上設備(ソフトウェア)認定商品＞



スピーディーな入力と安心のチェック機能！

**DENTALQueen V3**

歯科医院業務を一元管理し、快適な医院環境作りをサポート致します。



株式会社 ソフトテックス

本社 〒880-0911 宮崎市大字田吉 6307 番地 2

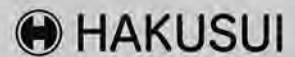
TEL : 0985-63-1456 Mail : st@softteks.com

福岡 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目4番23号 第3岡部ビル 10F

TEL : 092-436-7215

営業所 鹿児島、大阪、北陸

<http://www.softteks.com>



タービンコントラの自動洗浄／注油システム

## アシスティーナ TWIN

TWIN チャンバータイプ(2層式)の **新デザイン!**



assistina<sup>TWIN</sup>

\\スプレーチャネルの/ \\インストゥルメントの/

**洗浄・注油** わずか **10秒!**

必要なハンドピース本数を効率的かつ迅速に注油!

※1本10秒

小型高圧蒸気滅菌器

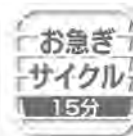
## クラス B オートクレーブ リサ

エコドライブプラス機能が乾燥時間を自動的に調節

より効率的で効果的な **滅菌!**



lisa 22L



販売名: クラスBオートクレーブ リサ 一般名: 小型蒸気滅菌器用高圧蒸気滅菌器  
医療機器認証番号: 226ALBZX000080000 認可医療機器、特許保守認可取得



白水貿易株式会社 福岡営業所

〒812-0013 福岡市博多区博多駅2-18-30 八重洲博多ビル5F  
TEL (092) 432-4618 FAX (092) 432-4617

福岡デンタル販売株式会社

〒813-0034 福岡市東区多の津4-7-5 KNセンタービル  
TEL (092) 629-1491 FAX (092) 629-1494

医歯薬で確かな合格力を!



ちから

**力**になります

通学講座

全国模試

CBT模試

ネット配信講座

IO・LEARNING

国試解説書・参考書

夏期・直前・  
必修講座

出張講座

個別指導



医療系国試対策予備校 (歯科医師・歯科衛生士・臨床検査技師・管理栄養士・医師)

模擬試験・各種講座・各種書籍



日本医歯薬研修協会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-1-15 サンライズビル

TEL: 03-5358-9211

- 東京校
- 大阪校
- 松本校



0120-55-1489

e-mail: shika@ishiyaku-k.com

https://www.ishiyaku-dental.jp

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されました。福岡歯科大学同窓会では、個人情報取扱事業者の算定には満たないものの、これに準じて皆様の個人情報の保護に努めて参ることが末永い我々の利益になるものと考えております。

本同窓会における個人情報の取得・利用・保管は、下記のルールに基づいて行っています。

皆様におかれましては、同窓会活動にご理解とご協力をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

### 「福岡歯科大学同窓会における個人情報の取扱」

1. 同窓会事務局に登録される皆様の情報は、氏名／卒業年（期）／自宅住所／自宅電話番号／勤務先／勤務先電話番号です。また、勤務先などが定まっていない若い卒業生においては、帰省先の登録が行われています。その他にメールアドレス、元所属クラブ等といったことが登録されています。
2. 収集した個人情報は、同窓生名簿の作成や同窓会会誌発送時の宛名出力など同窓会活動の付帯業務に使用する事を目的としており、それ以外の利用については、各種委員会並びに同窓会役員会との協議の上、やむを得ない事由に限定して利用いたします。
3. 提供先は、同窓会会員（在校生を含む）福岡歯科大学現・旧職員や広告主とし、原則としてそれ以外に頒布いたしません。尚、広告主様につきましても個人情報保護の観点から、慎重な取り扱いを協定いたします。
4. 収集した個人情報を第三者へ委託並びに再委託する場合は、各種委員会にて業者等を守秘義務履行を基本に選定し、理事会において決定いたします。
5. 収集した個人情報について、委託先も含め、機密保護には万全をつくします。
6. ご自分の情報は、任意です。ただし提供されない場合は、同窓会から各種案内（会誌、大学広報誌、学術案内、同期会等）が出来なくなる場合があります。また、同窓会名簿にも氏名のみ掲載となります。
7. ご自分の情報を照会したい場合は、同窓会事務局までご連絡ください。ご本人であることが確認できた場合に限り開示いたします。その際、ご自分の情報の訂正または削除を希望される場合はそれに応じます。

※この件についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

福岡歯科大学同窓会

福岡市早良区田村2丁目15-1

〒814-0193 TEL092-863-2966

FAX092-863-2967

# 「福岡歯科大学同窓生名簿」登録・変更届け

フリガナ  
氏 名

(男・女)

フリガナ  
旧 姓

卒業

期卒

所属地区名

名簿冊子上に掲載しない箇所には✓を入れてください

|                |       |                               |                                          |   |  |  |
|----------------|-------|-------------------------------|------------------------------------------|---|--|--|
| ①<br>自 宅       | 登録・変更 | 住 所                           | 〒                                        | 県 |  |  |
|                |       | Tel 番号                        |                                          |   |  |  |
|                |       | Fax 番号                        |                                          |   |  |  |
| ②<br>勤 務 先     | 登録・変更 | 住 所                           | 〒                                        | 県 |  |  |
|                |       | 勤務先名                          | 開業・勤務医・教職・大学院・研修医・その他                    |   |  |  |
|                |       | Tel 番号                        |                                          |   |  |  |
|                |       | Fax 番号                        |                                          |   |  |  |
| フリガナ<br>E-Mail |       | 登録・変更                         | ※フリガナ：例えば）「アイ」・数字の1「イチ」 英字o「オー」・数字の0「ゼロ」 |   |  |  |
| メールマガジン        |       | 1.新規希望 2.希望しない 3.登録済み 4.解除したい |                                          |   |  |  |
| 郵送物送り先         |       | ①自宅 ・ ②勤務先 ・ ③帰省先             |                                          |   |  |  |

以下は名簿に記載されません。住所等が不明になった際に郵便物を送ることがあります。

|            |        |   |   |  |
|------------|--------|---|---|--|
| ③<br>帰 省 先 | 住 所    | 〒 | 県 |  |
|            | Tel 番号 |   |   |  |
|            | Fax 番号 |   |   |  |
| 所属クラブ      |        |   |   |  |

Fax 送信 092-863-2967

## 福岡歯科大学同窓会誌用原稿用紙

FAX 092-863-2967

[illegible]